

(野草薙) 鳥越 文平 (福山)
 日本敷物株式会社 (福山)
 (由多加織) 伊丹由多加織製造所 (兵庫)

◎主要輸出者

吉田鹿之助商店 (大阪)
 浪速貿易商會 (神戸)
 河西輸出合資會社 (神戸)
 伴傳 商店 (兵庫)

一四一、テーブルクロス

卓子覆には綿製、麻製、麻綿製、毛製、絹製、絹綿製等の各種ありて裝飾用のものには絹布、絹綿布、毛天鵞絨、毛緞子、フェルト、麻布等を以て製し、四周に縁飾をなし或は總飾を附し、又は金屬線を織込み或は美麗なる刺繡をなせるもの等種々ある。形状及び寸法は一定でないが多くのものは長方形又は方形にして、方形のものは三十吋乃至六十吋角、長方形のものは長さ四十乃至九十吋、幅三十六乃至六十吋内外である。

◎主要生産者

合資會社愛工社 (横濱)
 横濱織物加工共同工場 (横濱)
 藤田 精三 (横濱)
 羽生 直助 (横濱)
 小島 正次 (横濱)
 荒井 政吉 (横濱)
 共 信 社 (横濱)
 ◎主要輸出者
 岩下 庄藏 (横濱)
 竹村 嘉造 (横濱)
 萩原徳太郎 (横濱)
 ストロング商會 (横濱)

國 産 額

年次	數量	價 額
大正10	—碼	—
11	226,673	139
12	224,876	1,935
13	—	—
14	—	—
昭和1	120,620	566
2	—	156
3	2,733,704	8,851
4	—	7,567
5	—	7,996

(フェルト製を含まざる生産額)

主要國別輸出額

年次	數量	價 額	國 名	數量	價 額
大正10	200,836打	2,346,799圓	關 東 州	164斤	27千圓
11	103,891	1,419,726	英 吉 利	2,820	671
12	61,649	624,750	北 米	425	101
13	41,444	381,224	加 奈 陀	388	68
14	65,323	536,174	喜望峰殖民地及ナタル	139	25
昭和1	105,422	676,160	濠 太 刺 利	134	53
2	86,182	813,107			
3	494,452斤	1,123,927			
4	466,853	970,632			
5	486,592	1,006,916			

(國産額不詳)

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
大 阪	95,155碼	493,500
兵 庫	2,638,549	8,429,600

エスアイザツク商會 (横濱)

◎外國競争者

テーブルクロス其他糸拔、絨り等の製品は、外國製品を模倣したるものにして、本邦に於ける生産は日尙ほ淺く、海外諸國は長年の歴史を有するを以て、英、米、佛、獨、伊及び支那等諸國産品は何れも有力競争者と稱すべく、就中支那に於ける近年の著しき發達は、國産品の輸出に對する一大脅威である。

◎輸出の主要原因

指先の器用なることは本邦人の特長にして、本品の如く手工を主とするものは本邦婦女子の最も得意とする所である。のみならず我が國に於ては此種手内職の工賃安き關係上製品は克く海外人の嗜好に合致すると共に價格低廉なるが故に、到る所に歓迎される。

◎外國品と國産品の優劣

各國製品共に一長一短ありて優劣を斷じ難いが、國産品には所謂手工製品としての特徴を有し、此の點は

段通は西洋人の特殊の趣味に依るものであるが、野草薙は價格の低廉なるが爲めに輸出さる。

◎外國品と國産品の優劣

國産品は品質概して不良である。

◎輸出増進の主要處置

品質の改良、意匠の考案等に努むると共に、取引の誠實を期して信用を回復する事が緊要である。

外國品の追隨を許さざる所である。然れども支那に於ける製品は頗る精緻巧妙にして、國産品に比して遜色を認められない。

◎國産振興の特別施設

本品の如きは我が國人に適したるものにして、而も海外の需要は頗る多く今後益々有望なるを以て、政府に於て大いに之を奨励すべし。

◎輸出増進の主要處置

本品は外國輸出を目的として横濱に於て發達せるものにして、全國各府縣に於て製作されたる材料は最後に横濱に集り、仕上整理を施したる後完全なる商品として輸出されるのが例である。故に大正十二年の大震災に依つて横濱が全滅に瀕した事は本工業に對する一大打撃にして、一時殆んど全滅の状態であつたが、その後横濱の復興に伴れて本品も亦徐々に復活し、現今に於ては倍舊の輸出を見るに至つた。今後更に輸出を増進するには、手工製品としての特徴を益々發揮し、意匠其他にも亦改善を施すことが肝要である。

一四二、リボンテープ及レース類

本項に属するもの、中輸出品として主要なるはドイリー、センター等にして、ドイリー及センターは共に装飾を目的とするが故に、刺繍、糸抜き、縫り等を施し、或は種々の色模様を現はし、テーブル、棚等の上に置く花壇其他の置物の臺敷として用ひらる。その小なるものをドイリーと云ひ、大なるものをセンターと稱す。又トリミングは衣服及附属品家具等の装飾用品である。

◎主要生産者

- 山本清太郎 (横濱)
横濱織物加工共同工場 (横濱)
伊藤森太郎 (横濱)
藤田 精三 (東京)
越前屋多崎商店 (東京)
日本製紐株式会社 (東京)
兼松 商店 (東京)
株式会社出口レース店 (大阪)
姫路製紐株式会社 (姫路)

◎主要輸出者

- 竹下 庄藏 (横濱)
竹村 嘉造 (横濱)
官部末高合名会社 (横濱)

Table with columns: 輸出額 (Quantity, Price), 産額 (Quantity, Price), 輸出額 (Quantity, Price). Includes data for years 大正10-14 and 昭和1-5.

(リボン及絹テープノ産額)

(リボン・レース其他ノ輸出額)

主要國別輸出額

Table with columns: 國名, 數量, 價額. Lists countries like 支那, 香港, 濠太刺利.

主要府縣別生産額

Table with columns: 縣名, 數量, 價額. Lists prefectures like 東京, 神奈川, 石川, 福井, 静岡, 京都.

◎外國競争者

獨逸産品、米國産品等が主たる競争者であるが、ドイリー及センターの如きは本邦特殊の製品として認められてゐる。

◎輸出の主要原因

邦人獨特の手工製品にして而も價格低廉なるがためである。唯その額は頗る微々たるものである。

◎外國品と國産品の優劣

ドイリー及センターは邦人得意の手工に依るため外國品に比して優秀且つ安價であるが、トリミングの製造は日尙ほ淺く、従つて製造技術及規模に於て獨逸、米國等に及ばず、簡易低級品を輸出するに過ぎない。

◎輸出増進の主要處置

生産設備を擴張して大量生産し、且つ當局が適當の保護をなす事。

◎主要輸出者

- 島田製織所 (岡山)
清彩社織工場 (東京)
越前屋多崎商店 (東京)
日本製紐株式会社 (東京)

一四三、ランプ芯及紐類

ランプ蔽は平紐に組みたるものを始めとし、圓筒状に織りたるもの、數條の糸を弛く撚合はしたるもの等がある。何れも綿糸を以て製し一定の寸法に切揃へたるものと數十呎連續せるものとあり、近來内地に於け

Table with columns: 出 額, 價 額. Lists values for years 大正10-14 and 昭和1-5.

(真田紐類)

輸出額

Table with columns: 量, 價 額. Lists values for years 8, 11, 14.

◎外國競争者

越前屋多崎商店 (東京)
 日本製紐株式會社 (〃)
 兼松 商店 (〃)
 株式會社出口レース店 (大阪)
 姫路製紐株式會社 (姫路)
 ◎主要輸出者
 竹下 庄藏 (横濱)
 竹村 嘉造 (〃)
 宮部末高合名會社 (〃)

一四三、ランプ蕊及紐類

ランプ蔽は平紐に組みたるものを始めとし、圓筒状に織りたるもの、數條の糸を弛く撚合はしたるもの等がある。何れも綿糸を以て製し一定の寸法に切揃へたるものと數十呎連續せるものとあり、近來内地に於ける需要は漸減しつつあるが、支那、南洋方面には尙ほ相當輸出されつゝある。

紐類には打紐、眞田紐等數種あり打紐は絹糸、人絹、毛糸、綿毛糸等を以て組製し、主として衣服及衣服附屬品の裝飾に用ひらる。眞田紐即ち平紐は金銀糸、鍍金銀糸、絹糸、人造絹糸毛糸、アルパカ糸、モヘア糸、綿糸等を材料とし機械にて組み又は織りたるものにして、衣服、帽子の縁用として、其他用途廣し。

◎主要生産者

島田製織所 (ランプ蔽)(岡山)
 清彩社織工場 (〃)
 越前屋多崎商店(紐類) (東京)
 日本製紐株式會社(〃)
 池田商店 (〃)
 小澤商店 (〃)
 松本鐵次郎商店(〃)

	國 産		輸 出	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	6,907,571反	7,461,161圓	—	560,311圓
11	6,838,473	6,692,135	—	536,675
12	10,279,246	9,417,201	—	495,286
13	10,787,552	8,023,391	—	402,315
14	13,133,838	9,707,943	—	273,756
昭和1	10,769,238	9,563,886	—	239,891
2	9,198,797	12,600,823	—	250,398
3	4,171,328	7,567,205	222,311斤	288,547
4	5,215,459	7,896,514	212,886	286,305
5	5,456,254	7,959,862	447,639	318,337

(麻眞田其他ノ編物組物ノ全産額) (絹製打紐及眞田紐類)

	國 産
	數量
大正10	—
11	—
12	—
13	—
14	—
昭和1	—
2	—
3	—
4	—
5	—

(リボン及絹テープノ産)

主要府縣別生産額			主要國別輸出額		
縣 名	數量	價 額	國 名	數量	價 額
東 京	152,866反	1,517,089圓	關 東 州	8斤	2千圓
神奈川	239,700	378,499	香 港	11	2
新 潟	1,057,004	324,507	濠 太 刺 利	14	3
靜 岡	460,200	634,591			
愛 知	1,080,892	695,768			
大 阪	—	1,174,706			
兵 庫	8,000	460,097			

主要府縣別生産額		
縣 名	數量	價 額
東 京	—	—
神奈川	—	—
石 川	—	—
福 井	—	—
靜 岡	—	—
京 都	—	—

ドイリー及センターは邦人得意の手工に依るため外國品に比して優秀且つ安價であるが、トリミングの製造は日尙ほ淺く、従つて製造技術及規模に於て獨逸、米國等に及ばず、簡易低級品を輸出するに過ぎない。

◎輸出増進の主要處置
 生産設備を擴張して大量生産し、且つ當局が適當の保護をなす事。

◎主要輸出者

島田製織所 (岡山)
 清彩社織工場 (〃)
 越前屋多崎商店 (東京)
 日本製紐株式會社 (〃)

◎外國競争者

ランプ蕊は歐洲大戰中南米、アフリカ方面にまで輸出されたが、戦後歐洲品の出廻りに依つて漸次販路を奪回され、舊來の販路たる印度、支那方面に於ても獨逸品の壓迫を受け更に近來支那内地製品も競争者として現はれつゝあるも紐類には大競争者なし。

◎輸出の主要原因

價格の低廉なるに因る。

◎外國品と國産品の優劣

外國品に對して遜色を認めず。

◎輸出増進の主要處置

ランプ蕊の如きは製造比較的容易なるため粗製濫造に陥る弊あり。此の點に留意すると共に益々價格の低廉に努むることが肝要である。

一四四、網

(漁網及繩網)

漁網は綿糸、亞麻糸又は大麻糸等を材料とし、手工又は機械を用ひて製網す。漁場の状態及び魚の種類又は捕獲方法に應じて夫々投網、敷網、曳網、建網等の各種があり、或は鯛網、鰯網其他魚類の大きさに應じて網目の大きさを異にし構造を異にしてゐる。附屬品としては綱、浮子、沈子等を要し、又防腐のために澁その他水に強き性質のものが用ひられる。繩網は鳥獸捕獲用の網にして綿糸、亞麻糸、絹糸を材料として製網す。

◎主要生産者

- 東東製網株式会社 (東京)
- 川崎製網工場 (シ)
- 東洋製網株式会社 (大阪)
- 函館製網株式会社 (函館)
- 三重製網合資会社 (三重)
- 網勘製網株式会社 (シ)
- 平田製網株式会社 (シ)
- ◎主要輸出者
- 東京製網株式会社 (東京)
- 川崎製網工場 (シ)
- 東洋製網株式会社 (大阪)

輸出額		産額		輸出額	
数量	價額	数量	價額	数量	價額
大正10	—	16,043,099圓	—	371,725斤	485,229圓
11	—	16,491,003	—	444,263	623,304
12	—	15,228,472	—	252,128	402,715
13	—	16,675,045	—	222,721	371,957
14	—	18,736,946	—	267,945	435,530
昭和1	—	24,358,350	—	411,711	632,135
2	—	22,984,435	—	851,481	1,110,616
3	—	23,761,311	—	1,235,218	1,773,947
4	—	22,969,455	—	2,701,396	3,338,675
5	—	23,128,197	—	6,229,195	6,232,024

主要府縣別生産額

縣名	數量	價額
神奈川	—	3,002,878圓
愛知	—	1,747,143
三重	—	4,596,954
大阪	—	5,224,607
兵庫	—	1,364,604
奈良	—	1,619,571
廣島	—	1,342,097

主要國別輸出額

國名	數量	價額
關東州	344斤	37千圓
海峽殖民地	135	19
蘭領印度	81	11
露領アジア	9,869	1,417
比律賓諸島	619	98
北米	323	67
加奈陀	790	105

◎外國競争者

函館製網株式会社 (函館)
漁太商店 (名古屋)

英國産品、和蘭産品、獨逸産品等は國産網の有力競争者にして、需要地に對し近距離にあるのみならず、その取引方法に於て長期貸付制度などの便利あるため、國産品は常に壓迫を蒙りつゝある。

◎輸出の主要原因

國産品は材料その他の關係上價格低廉なることが輸出の主因である。

◎外國品と國産品の優劣

一般の製網技術に於ては國産品が優つてゐるが、撚掛の技術に於ては外國品に一日の長あり。又原料の質に於ても國産品は外國品に及ばざるものが少くない。

◎輸出増進の主要處置

輸出品に對する金融の便を圖り、歐米の同業者がなせる如く代金長期貸付に備へしめ、運賃割引の特典を與へる事等が必要である。

一四五、ホース及機械用ベルチング (布製)

ホースの大なるものは消防用その他の送水管として用ひられ、小なるものは園藝用その他の撒水用として用ひらる。何れも綿糸を以て縫目なしの袋織になしたるものにして、内面に防漏のためゴムを引きたるものと、單に織製のまゝのものがある

出 額	價 額
4斤	256,224圓
8	260,685
0	226,856
2	183,578
3	229,725
5	204,703
1	179,149
5	249,889
7	294,865
2	228,894

出 額	價 額
41斤	62千圓
86	167
88	4
76	13

◎外國競争者

羽田調帶株式会社 (シ)
阪東式調帶株式会社 (神戸)
大正製麻株式会社 (富山)

需要地は主として支那方面にして該地方に於ける有力競争者は、英、

東洋製網株式会社 (大阪)
 函館製網株式会社 (函館)
 三重製網合資會社 (三重)
 網勘製網株式会社 (〃)
 平田製網株式会社 (〃)

◎主要輸出者

東京製網株式会社 (東京)
 川崎製網工場 (〃)
 東洋製網株式会社 (大阪)

國 産
 數量

大正10	—	1
11	—	1
12	—	1
13	—	1
14	—	1
昭和1	—	2
2	—	2
3	—	2
4	—	2
5	—	2

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
神奈川	—	3,0
愛 知	—	1,7
三 重	—	4,5
大 阪	—	5,2
兵 庫	—	1,3
奈 良	—	1,6
廣 島	—	1,3

優つてゐるが、撚掛の技術に於ては外國品に一日の長あり。又原料の質に於ても國産品は外國品に及ばざるものが少くない。

◎輸出増進の主要處置

輸出品に對する金融の便を圖り、歐米の同業者がなせる如く代金長期貸付に備へしめ、運賃割引の特典を與へる事等が必要である。

一四五、ホース及機械用ベルチング (布製)

ホースの大なるものは消防用その他の送水管として用ひられ、小なるものは園藝用その他の撒水用として用ひらる。何れも綿糸を以て縫目なしの袋織になしたるものにして、内面に防漏のためゴムを引きたるものと、單に織製のまゝのものがある。機械用ベルチング即ち布製調帯は綿糸、亞麻糸、黃麻糸等を以て織製したる帆布の極く厚地を數枚合せ、更に塗料を以て防水法を施して帶狀に製したるものにして、水、熱及び空氣、蒸氣等の作用に依つて侵されず強靱なる性質を有す。調車、滑車等に架け、機械の運轉に使用され用途廣し。

◎主要生産者

(麻製ホース)
 帝國製麻株式会社 (東京)
 大正製麻株式会社 (富山)
 (綿製ベルチング)
 羽田調帶株式会社 (東京)
 阪東式調帶株式会社 (神戸)
 ◎主要輸出者
 帝國製麻株式会社 (東京)

國 産 額 輸 出 額
 數量 價 額 數量 價 額

大正10	—	1,897,569圓	183,204斤	256,224圓
11	—	4,441,310	118,738	260,685
12	—	5,961,884	102,600	226,856
13	—	6,056,431	87,662	183,578
14	—	8,505,937	159,843	229,725
昭和1	—	4,319,745	104,485	204,703
2	—	6,460,889	114,611	179,149
3	—	3,778,346	170,925	249,889
4	—	3,946,513	222,867	294,865
5	—	4,563,298	145,082	228,894

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
東 京	—	459,320圓
神奈川	—	294,030
京 都	—	115,059
大 阪	—	1,211,329
兵 庫	—	1,507,516

主要國別輸出額

國 名	數量	價 額
支 那	341斤	62千圓
關 東 州	1,186	167
英領印度	88	4
露領アジア	76	13

◎外國競争者

羽田調帶株式会社 (〃)
 阪東式調帶株式会社 (神戸)
 大正製麻株式会社 (富山)

◎輸出の主要原因

支那方面に對しては、本邦は諸他の生産國よりも近距離にあり、從つて運賃等安く且つ早急の註文に應じ得ることが主因である。

◎外國品と國産品の優劣

從來支那方面へ輸出されたる國産ホース及ベルチングは、歐米品に比して品質は幾分劣つてゐたが、近來製造技術長足の進歩をなし、外國品に比し些の遜色を見ざるに至つた。

◎輸出増進の主要處置

需要各國に於ては歐米品優良の先入觀念に捉はれてゐる。故に先づ此の觀念を打破し、良品廉價主義を事實に於て徹底せしむる要あり。

一四六、綿囊及麻囊

綿製及麻製の囊は、共に穀類、種子、粉等の貯藏及び運搬用として用ひらる。綿囊は綿布を一定の長さに截切り、その兩邊を麻糸又は綿糸にて縫合せたるものにして、特別なるものとしては發電機冷却用の空気を濾過する目的を以て、綿帆布を用ひて作りたる空氣濾過囊がある。麻囊はガンニー囊とも謂ひ、黄麻糸を以て縫目なしに織製したるものと、黄麻を截切りて縫合せたるものとの二種がある。

◎主要生産者

- (綿囊) 日清製粉株式会社 (東京)
 - 日本製粉株式会社 (シ)
 - 増田製粉所 (神戸)
 - 日本精米製粉株式会社 (シ)
 - 松本米穀製粉株式会社 (埼玉)
 - 名古屋製粉株式会社 (名古屋)
 - 大阪製粉株式会社 (大阪)
 - (麻囊) 大阪製麻株式会社 (大阪)
 - 小泉製麻株式会社 (兵庫)
 - 東洋麻糸紡績株式会社 (大阪)
- 此外臺灣及滿州の各製麻會社

	國 産 額		輸 出 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	35,657千個	4,365,410圓	5,496千個	1,079,605圓
11	34,689	4,500,957	10,788	1,800,379
12	36,528	4,748,640	6,733	1,159,361
13	37,820	4,916,600	5,563	1,090,625
14	36,720	4,773,600	8,042	1,853,811
昭和1	38,596	4,856,219	4,809	1,055,820
2	37,189	4,712,377	4,663	996,446
3	37,568	4,256,298	7,654	1,722,485
4	38,459	4,658,221	7,512	1,559,104
5	38,964	4,544,397	7,033	1,356,063

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
埼玉	—	39,053圓
三重	—	326,091
東京	—	1,318,251
大阪	—	1,108,873
廣島	—	151,634
岡山	—	688,292

主要國別輸出額

國 名	數量	價 額
支 那	2,968個	614圓
關 東 州	4,257	991
香 港	127	45
英領印度	114	20
蘭領印度	99	29
露領アジア	19	4
比律賓諸島	35	7

◎主要輸出者

- 三井物産株式会社 (東京)
- 三菱商事株式会社 (シ)
- 淺野物産株式会社 (シ)
- 安宅商會 (神戸)
- 兼松商店 (シ)
- 山口商店 (シ)
- 合資會社芳賀商店 (大阪)
- 株式會社濱崎商店 (シ)
- 中村浩造商店 (廣島)

◎外國競争者

本品は穀類の包装として輸出されるものにして、單獨に囊のみを輸出される場合は殆んどなし。競争者としては英、獨、米印度産品等がある

◎輸出の主要原因

穀粉輸出に最も便利なるが故なり

◎外國品と國産品の優劣

米國品及英國品に及ばず。

◎輸出増進の主要處置

穀粉の輸出増加を圖れば勢ひ本品の輸出も増加す。

一四七、ワイシャツ・カラー及カフス

ワイシャツは純白の綿布、亞麻布

亞麻綿交織布、又は是等の捺染布等を以て製せるもの大部分なるも、近來各種材料が用ひられ、又その型にもカフス及カラーを附着せるものと然らざるもの等種々あり。カラー及カフスは主として薄地優等の綿布、

出 額	價 額
打	122,701圓
	159,968
	148,706
	314,110
	346,756
	140,772
	160,245
	372,241
	423,073
	1,064,313

輸出額

量	價 額
10打	95千圓
10	138
7	14
14	79
1	10
1	5

ワイシャツ、カラー及びカフスは元來歐米がその主産地である。故に國産品は輸出仕向地の到る所に於て該地産品と競争せざるを得ない。就中米國産品の如きは最も有力なる競争者である。

- 増田製粉所 (神戸)
- 日本精米製粉株式會社 (〃)
- 松本米穀製粉株式會社 (埼玉)
- 名古屋製粉株式會社 (名古屋)
- 大阪製粉株式會社 (大阪)
- (麻糰)
- 大阪製麻株式會社 (大阪)
- 小泉製麻株式會社 (兵庫)
- 東洋麻糸紡績株式會社 (大阪)
- 此外臺灣及滿州の各製麻會社

一四七、ワイシャツ・カラー及カフス

ワイシャツは純白の綿布、亞麻布、亞麻綿交織布、又は是等の捺染布等を以て製せるもの大部分なるも、近來各種材料が用ひられ、又その型にもカフス及カラーを附着せるものと然らざるもの等種々あり。カラー及カフスは主として薄地優等の綿布、亞麻布、亞麻綿交織等を材料とし、糊及臘を施して固め且つ光澤を附したるものにして、大部分は純白である。

- ◎主要生産者
- 大和屋シャツ合名會社 (横濱)
- 蝶矢シャツ製造所 (東京)
- 株式會社村上シャツ工場 (〃)
- 河井富彌シャツ工場 (大阪)
- キリン屋シャツ工場 (〃)
- 辻市シャツ工場 (〃)
- 港屋シャツ工場 (神戸)
- ◎主要輸出者
- 大和屋シャツ合名會社 (横濱)
- 蝶矢シャツ製造所 (東京)
- 村上商店 (〃)
- ◎外國競争者

	國 産 額		輸 出 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—	1,520,063圓	4,876打	122,701圓
11	—	1,961,088	7,229	159,968
12	—	2,959,235	6,211	148,706
13	—	2,261,613	10,008	314,110
14	—	1,102,746	19,082	346,756
昭和1	—	4,200,656	22,273	140,772
2	—	4,319,995	18,990	160,245
3	—	5,026,815	48,769	372,241
4	—	5,255,453	82,426	423,073
5	—	4,956,324	174,676	1,064,313

	國 産	
	數量	價 額
大正10	35,657千個	4
11	34,689	4
12	36,528	4
13	37,820	4
14	36,720	4
昭和1	38,596	4
2	37,189	4
3	37,568	4
4	38,459	4
5	38,964	4

主要府縣別生産額			主要國別輸出額		
縣 名	數量	價 額	國 名	數量	價 額
東 京	—	310,354圓	支 那	10打	95千圓
神奈川	—	156,780	關 東 州	10	138
大 阪	—	3,457,036	英領印度	7	14
兵 庫	—	366,320	蘭領印度	14	79
愛 媛	—	178,635	露領アジア	1	10
			其他アフリカ諸國	1	5

主要府縣別生産額	
縣 名	數量
埼 玉	—
三 重	—
東 京	—
大 阪	—
廣 島	—
岡 山	—

◎輸出の主要原因
穀粉輸出に最も便利なるが故なり

◎外國品と國産品の優劣
米國品及英國品に及ばず。

◎輸出増進の主要處置
穀粉の輸出増加を圖れば勢ひ本品の輸出も増加す。

◎輸出の主要原因
ワイシャツは價格の低廉なること及び縫方の丁寧なること等の外、本邦の特産たる富士絹、羽二重、縞絹等を材料とせる點に於て各地に歡迎さる。又カラー及カフスは材料その他の關係上比較的低廉に輸出し得るが故に相當の販路を有す。

◎外國品と國産品の優劣
國産品は截斷法及び體裁等に於て幾分外國品に及ばざる觀があるが、ワイシャツの如きは本邦獨特の生地を使用せる點に於て外國品に優る。

◎國産振興の主要處置
國産品は外國品の輸入關稅に依つて辛うじて自給自足を維持し得る状態なるを以て、截斷、裁縫、材料の選擇等に意を用ひ價格の低下を圖るに非れば輸出増進は望み難し。

ワイシャツ、カラー及びカフスは元來歐米がその主産地である。故に國産品は輸出仕向地の到る所に於て該地産品と競争せざるを得ない。就中米國産品の如きは最も有力なる競争者である。

一四八、綿メリヤス製シャツ及ツボン下

シャツ及ズボン下は氣候の寒暖及需要に應じて、厚地、薄地、裏面に起毛を施したるものと然らざるもの等の各種あり。又その仕立方も長袖短袖或はコンビネーションシャツ、胸部を左右に開き鈕釦止となしたるものベスト、レース類を以て縁取をなしたるもの、ポケットを附したるもの等の各種がある。輸出向シャツ及ズボン下の内最も輸出額多きは綿メリヤス製である。

◎主要生産者

- 東京メリヤス株式会社 (東京)
株式会社白金メヤリス製造所 (〃)
株式会社堀川メリヤス製造所 (〃)
丸松合資會社 (大阪)
西松メリヤス株式会社 (〃)
金貨メリヤス株式会社 (〃)
大徳合資會社 (〃)
寺阪メリヤス株式会社 (〃)
日本メリヤス株式会社 (〃)
石井メリヤス工場 (〃)
村岸メリヤス合資會社 (〃)
合名會社猪村商會 (名古屋)
朝日メリヤス合資會社 (〃)
村岡勝 (〃)

一四九、綿縮及絹製シャツ・ツボン下

綿縮製シャツ及ツボン下は専ら夏期用に供せられ、其の仕立方に依つて長袖、半袖、或はコンビネーションシャツ、ベスト等の各種がある。絹製シャツは大部分婦人用にして仕立方に依つて長袖、半袖、コンビ

Table with columns: 國産額 (数量, 價額), 輸出額 (數量, 價額). Rows include years from 大正10 to 昭和5.

主要府縣別生産額

Table with columns: 縣名, 數量, 價額. Lists prefectures like 東京, 愛知, 大阪, etc.

主要國別輸出額

Table with columns: 國名, 數量, 價額. Lists countries like 支那, 英領印度, 蘭領印度, etc.

◎主要輸出者

- 株式會社兼松商店 (神戸)
山本博一商店 (大阪)
田村貿易會社 (〃)
丸松合資會社 (〃)
石井メリヤス工場 (〃)

◎外國競争者

- ワルセー (英國)
トーマス・エンド・ヒル會社 (〃)
アツシユフオード (〃)
ジーガー會社 (〃)
フルブルーフメリヤス會社 (米)
ゼラルト・エンド・フォチャ (佛國)
兄弟商會 (佛國)

◎輸出の主要原因

國産品は主として下級品を低廉に供給する故である。

◎外國品と國産品の優劣

品質は外國品に稍劣る。

◎輸出増進の主要處置

現今に於て本品は海外より輸入されつゝあるを以て、先づ輸入を防遏し然る後輸出に努力すべし。

◎主要輸出者

- 秋田源七商店 (横濱)
大和屋商會 (〃)
株式會社奥澤商店 (〃)
後藤惣兵衛 (〃)
同志貿易株式會社 (〃)

Table with columns: 出額 (價額). Lists values from 678,209 to 910,700.

Table with columns: 出額 (價額). Lists values from 103千圓 to 147.

- 西松メリヤス株式会社 (〃)
- 金貨メリヤス株式会社 (〃)
- 大徳合資會社 (〃)
- 寺阪メリヤス株式会社 (〃)
- 日本メリヤス株式會社 (〃)
- 石井メリヤス工場 (〃)
- 村岸メリヤス合資會社 (〃)
- 合名會社猪村商會 (〃)
- 朝日メリヤス合資會社 (〃)
- 村岡勝 (〃)

國 産

年次	數量	價 額
大正10	—打	—
11	2,886,912	17
12	2,684,536	16
13	2,663,278	17
14	3,802,686	23
昭和 1	3,979,924	24
2	5,153,601	28
3	5,376,347	27
4	5,896,215	27
5	5,992,456	26

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
東 京	267,720打	2,2
愛 知	431,284	3,3
三 重	142,736	5
大 阪	4,481,496	19,5
奈 良	304,663	6
和歌山	89,670	6
廣 島	33,459	1

國産品は主として下級品を低廉に供給する故である。

◎外國品と國産品の優劣

品質は外國品に稍劣る。

◎輸出増進の主要處置

現今に於て本品は海外より輸入されつゝあるを以て、先づ輸入を防遏し然る後輸出に努力すべし。

一四九、綿縮及絹製シャツ・ツボン下

綿縮製シャツ及ツボン下は専ら夏期用に供せられ、其の仕立方に依つて長袖、半袖、或はコンビネーションシャツ、ベスト等の各種がある。絹製シャツは大部分婦人用にして仕立方に依つて長袖、半袖、コンビネーションシャツ、ベスト等の各種があること、諸他のシャツ類と異ならず。高價なるがため一部貴婦人用として輸出されるに過ぎざるを以てその額は僅少である。

◎主要生産者

- (綿縮製) 株式会社奥澤商店 (横濱)
- 秋田源七商店 (〃)
- 勝倉商店 (〃)
- 紀岡商店 (〃)
- 内藤直清商店 (〃)
- 丸山商店 (〃)
- 松屋シャツ店 (〃)
- 大和屋シャツ合名會社 (〃)
- (絹製) 山本直次郎 (横濱)
- 後藤惣兵衛 (〃)
- 中澤京二 (〃)
- 内藤直清 (〃)

輸 出 額

年次	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—打	—圓	158,015打	678,209圓
11	2,152,167	1,722,833	136,382	506,403
12	2,579,079	1,544,915	148,109	468,207
13	2,638,308	1,602,113	212,213	684,992
14	3,150,165	1,721,680	290,879	847,676
昭和 1	4,223,654	1,856,219	534,219	1,297,175
2	4,354,219	1,845,969	620,121	1,841,964
3	4,756,298	1,923,514	311,825	1,085,316
4	4,821,056	1,464,968	445,769	1,247,662
4	4,990,017	1,865,165	298,100	910,700

主要國別輸出額

國 名	數量	價 額
支 那	31打	103千圓
英領 印度	82	251
海峽殖民地	26	82
蘭領 印度	168	464
比律賓諸島	30	84
英領 印度	1	33
喜望峰殖民地及ナタル	1	147

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
東 京	—	56,219圓
大 阪	—	236,574
神奈川	—	124,246
愛 知	—	656,814
和歌山	—	12,313
岡 山	—	22,569

◎輸出の主要原因

生地綿縮及絹布は本邦の特産品にして、而も工賃その他の關係上價格比較的廉價なるが故である。

◎外國品と國産品の優劣

截斷等に於ては稍々外國品に及ばざる點あるも、生地優良及價格の低廉は國産品の特長である。

◎輸出増進の主要處置

截斷、體裁等に意を用ひ品質の統一を圖れば前途有望である。

◎主要輸出者

- 秋田源七商店 (横濱)
- 大和屋商會 (〃)
- 株式会社奥澤商店 (〃)
- 後藤惣兵衛 (〃)
- 同志貿易株式會社 (〃)
- 南里貿易株式會社 (〃)
- 加藤合名會社 (〃)
- 野澤屋輸出店 (〃)
- 丹波商會 (〃)

一五〇、メリヤス製手袋

防寒用として又は禮裝用、舞踏用等として用ひられる手袋には、革製メリヤス製、ゴム製等の各種がある。メリヤス製には絹又は綿入、毛製、綿製、毛綿製、亞麻製、綿亞麻製等數種あり、色は一定ならず、又その體裁には手首に於て止めゴム及び鉤子の附着せるものと然らざるものがある。特殊のものとしては解剖用及電氣職工用のゴム製手袋、炊事用手袋等がある。尚ほ指先を覆はざる半手袋等がある。尚ほ指先を覆はざる半手袋即ちミット、拇指のみ分れる他の四指は指頭を有せざるミッテン等がある。

◎主要生産者

- 堀川商店 (東京)
- 伊藤メリヤス合資會社 (三重)
- 山福商店 (大阪)
- 大由商店 (〃)

◎主要輸出者

- 近文商店 (横濱)
- 平山商店 (大阪)

◎外國競争者

年	國産額		輸出額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—打	—圓	143,048打	302,579圓
11	1,120,476	2,922,941	172,639	356,028
12	1,141,459	2,214,086	221,995	396,060
13	1,104,969	3,023,727	227,622	427,743
14	1,214,048	2,868,544	203,511	445,754
昭和1	1,678,319	2,483,371	280,152	505,425
2	1,488,238	2,103,019	293,368	507,520
3	1,661,193	2,415,342	252,332	467,731
4	2,495,328	3,150,934	323,221	602,309
5	2,685,497	3,867,009	457,863	644,362

主要國別輸出額

國名	數量	價額
支那	140打	2,404千圓
關東州	62	137
英領印度	19	34
露領アジア	22	36
英吉利	2	4
加奈陀	2	3
濠太利	2	3

主要府縣別生産額

縣名	數量	價額
北海道	399,981圓	467,925圓
埼玉	110,533	134,426
東京	209,114	294,118
愛知	390,265	373,634
大阪	352,690	704,778
福岡	421,165	462,659

メリヤス製手袋に限らず、革製以外の手袋の生産國としては英國最も現はれ、國産メリヤス製手袋の輸出仕向地に於ける有力競争者も亦英國産品である。

◎輸出の主要原因

英國製は品質優良であるが價格高く、一般の需要に副ひ難い傾向がある。然るに國産メリヤス手袋は品質に於て英國製に及ばざるも、價格頗る低廉にして大衆向きであるため各地に於て歓迎されてゐる。

◎外國品と國産品の優劣

普通品は品質に於て又價格に於ても外國品に優る。高級品は品質體裁共に英國産その他の外國産に及ばざるものが多い。

◎國産振興の主要處置

本邦に於けるメリヤス製造工業は今尚ほ大部分小規模にして多くは家内工業の域を出でざるため、大量生産に依る價格の低廉並に製品の統一を期し難き状態に在る。故に先づ完全なる製造工場を設置し、大規模の生産を圖ることが急務である。

一五一、メリヤス製靴下

靴下には單に靴の下履きとして用ふるものと、防寒を兼ねたるものあり。又ホース或はストッキングと稱する長きものと、半ホース或はストックと呼ぶ短きものとの二種ありて、メリヤス製には絹製又は絹入りものを始め、綿製、亞麻製、綿亞

年	數量	價額
98打	1,742,807圓	
00	1,604,725	
18	1,968,268	
22	1,662,708	
85	2,486,337	
39	2,323,993	
14	2,949,976	
98	4,817,614	
47	5,810,354	
71	5,217,900	

別輸出額

年	數量	價額
51打	160千圓	
611	1,059	
49	99	
981	1,447	
86	125	
53	112	
86	131	
56	132	
361	695	

◎外國競争者

- ジーガー會社 (英國)
- ウォールセー會社 (〃)
- ウエルセマンゲーシヨン(〃)
- アイ・エンド・オールモレー(〃)
- インターウーブリンホジエリー會社 (米國)

一五一、メリヤス製靴下

靴下には單に靴の下履きとして用ふるものと、防寒を兼ねたるものあり。又ホース或はストッキングと稱する長きものと、半ホース或はストックと呼ぶ短きものとの二種ありて、メリヤス製には絹製又は絹入りものを始め、綿製、亞麻製、綿亞麻製、毛製、毛綿製の各種がある、色は黒色、褪色其他種々ありて、婦人用のものには刺繍を施したるもの或はレース等を用ひて裝飾せるものがある。

◎主要生産者

- 横濱メリヤス株式会社 (横濱)
- 内外編物株式会社 (名古屋)
- 鐘淵紡績山科工場 (京都)
- 伊藤メリヤス工場 (四日市)
- ◎主要輸出者
- 平山商店 (大阪)
- 池尾洋行 (〃)
- 近文商店 (横濱)
- 大和屋シャツ合名会社 (〃)
- 柿本商店 (神戸)
- 横濱メリヤス株式会社 (横濱)
- 内外編物株式会社 (名古屋)

	國 産 額		輸 出 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—打	—圓	669,898打	1,742,807圓
11	7,078,777	7,497,545	750,000	1,604,725
12	2,550,026	6,283,734	1,086,618	1,968,268
13	3,549,125	10,121,701	830,322	1,662,708
14	4,253,385	10,433,723	1,151,985	2,486,337
昭和 1	4,025,664	8,038,212	1,308,239	2,323,993
2	4,496,276	9,994,079	1,639,914	2,949,976
3	5,197,296	10,215,701	2,768,698	4,817,614
4	5,647,741	9,788,914	2,954,847	5,810,354
5	5,976,535	9,424,268	3,641,771	5,217,900

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
東 京	1,210,646打	2,418,050圓
愛 知	454,157	732,471
滋 賀	109,920	272,806
大 阪	1,248,344	2,301,490
兵 庫	1,681,262	2,336,069
奈 良	231,855	388,033
廣 島	78,881	142,137

主要國別輸出額

國 名	數量	價 額
關 東 州	51打	160千圓
英 領 印 度	611	1,059
蘭 領 印 度	49	99
英 吉 利	981	1,447
獨 逸	86	125
北 米	53	112
加 奈 陀	86	131
智 利	56	132
埃 及	361	695

- 堀川商店 (東京)
- 伊藤メリヤス合資会社 (三重)
- 山福商店 (大阪)
- 大由商店 (〃)
- ◎主要輸出者
- 近文商店 (横濱)
- 平山商店 (大阪)
- ◎外國競争者

	國 産	
	數量	價 額
大正10	—打	—圓
11	1,120,476	2,418,050
12	1,141,459	2,336,069
13	1,104,969	2,301,490
14	1,214,048	2,418,050
昭和 1	1,678,319	3,356,118
2	1,488,238	3,016,556
3	1,661,193	3,322,386
4	2,495,328	5,013,656
5	2,685,497	5,370,996

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
北海道	399,981圓	800,000
埼 玉	110,533	221,066
東 京	209,114	418,228
愛 知	390,265	780,530
大 阪	352,690	705,380
福 岡	421,165	842,330

◎國産振興の主要處置

本邦に於けるメリヤス製造工業は今尙ほ大部分小規模にして多くは家内工業の域を出でざるため、大量生産に依る價格の低廉並に製品の統一を期し難き状態に在る。故に先づ完全なる製造工場を設置し、大規模の生産を圖ることが急務である。

◎外國競争者

- ジエーガー會社 (英國)
- ウォールセー會社 (〃)
- ウエルセマンゲーション(〃)
- アイ・エンド・オールモレー(〃)
- インターウーブロンホジエリー會社 (米國)

◎輸出の主要原因

國産靴下は品質も優良、而も價格低廉なるが故に歓迎さる。

◎外國品と國産品の優劣

各種メリヤス製靴下の中、國産綿製品は價格に於て諸外國品より概ね安價である。絹製品は原料その他の關係上殆んど國産品に匹敵すべきものがない。唯毛製品に於ては品質價格共に外國品と競争し得る域に達してゐない。

◎國産振興の主要處置

靴下は國産品を以て自給自足し得るに拘らず、尙毎年海外より輸入されつゝあるを以て、大いに國産品を宣傳して先づ輸入を防遏し、然る後輸出増進を圖るべきである。

一五二、肩

掛

肩掛は防寒と裝飾を兼ねたる婦人用品にして、防寒用のものは起毛布羅紗、カシミア、絹プラツシユ、綿プラツシユ、毛皮、毛糸等を以て製し、その形状、寸法等は種々雑多である。輸出向きとしては絹製がその大部分を占めてゐる。

◎主要生産者

- 中西儀兵衛商店 (東京)
- 吉村孫三郎商店 (〃)
- 西村貿易店 (〃)
- 京都織物株式会社 (京都)
- 多羅尾商店 (大阪)

◎主要輸出者

- 六島喜合名會社 (大阪)
- 西村貿易店 (東京)

◎外國競争者

輸出肩掛の大部分は絹製品にして佛、獨、瑞西等の諸國に於ては國産絹製肩掛の模倣品を製し、或は人造絹糸製を以て對抗しつゝあるが、國産品には及ばない。唯近來人絹の發達著しく、本品の如きは人絹を以て代用し易きため逐年人絹製品の普及

一五三、靴

靴には革製、ゴム製、布製の各種あり、又その形状に依り長靴、短靴に二分別されるが、我が國に於ては長靴、半長靴及短靴の三種に區別され、外に深編上げ、半編上げ等の別がある。更に之を用途別にすれば、常用靴の外に豊式用、夜會用、獵用

出 額	價 額
打	398,371圓
3	66,095
1	103,987
5	104,128
3	145,523
2	90,941
3	195,212
5	152,567
7	157,217
8	162,488

國 産 額		輸 出 額	
數量	價 額	數量	價 額
大正10	—枚	—圓	—圓
11	1,767,931	53,587打	748,670圓
12	2,276,121	62,690	794,987
13	2,259,147	27,692	418,925
14	2,259,147	17,956	242,574
14	1,832,963	40,949	887,922
昭和 1	1,171,651	63,868	1,040,130
2	1,049,308	57,248	738,579
3	1,039,845	63,831	895,729
4	863,930	65,397	919,497
5	980,764	76,600	669,851

(毛布及膝掛ヲ含ム)

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
東 京	95,743枚	302,076圓
岐 阜	36,879	257,260
愛 知	108,684	771,124
大 阪	456,290	1,806,742
兵 庫	137,194	968,427
和歌山	10,814	49,862

主要國別輸出額

國 名	數量	價 額
英領印度	2,452打	28千圓
蘭領印度	4,488	59
比律賓諸島	8,595	164
暹 羅	3,689	30
北 米	5,476	92
加 奈 陀	13,453	144
其他北米諸國	12,657	189
其他南米諸國	5,690	70

しつゝあるは輕々に看過すべからざる現象である。

◎輸出の主要原因

外國製絹肩掛はその材料に於て國産品に及ばず、人絹製は次第に普及せるも本邦獨特の絹に對しては外人の嗜好減せず、而も國産品は材料工賃等の關係上價格比較的低廉なるが爲めである。

◎外國品と國産品の優劣

國産肩掛の中毛織生地製品は地風光澤及び肌觸り等の諸點より見て外國製に及ばず、且つ型、柄行、色合等に於て殆んど千變一律にして時代の流行に副はず、シル、モヘア等の製品は外國製と同様の材料を用ふるに拘らず出來上りに於て外國品に及ばない。獨り絹製は品質、價格共に外國製に優る。

◎輸出増進の主要處置

一般肩掛に就ては製作技術の進歩を圖り、型、柄行、色合等常に外國人の趣味嗜好及び流行に應ずる様考察研究することが肝要である。

◎外國競争者

米國産品、獨逸産品

◎輸出の主要原因

支那方面及シベリア方面は靴の生産不足にして、本邦は地理的に有利

◎外國競争者

輸出肩掛の大部分は絹製品にして佛、獨、瑞西等の諸國に於ては國産絹製肩掛の模倣品を製し、或は人造絹糸製を以て對抗しつゝあるが、國産品には及ばない。唯近來人絹の發達著しく、本品の如きは人絹を以て代用し易きため逐年人絹製品の普及

西村貿易店

(東京)

一五三、

靴

靴には革製、ゴム製、布製の各種あり、又その形状に依り長靴、短靴に二分別されるが、我が國に於ては長靴、半長靴及短靴の三種に區別され、外に深編上げ、半編上げ等の別がある。更に之を用途別にすれば、常用靴の外に禮式用、夜會用、獵用、防寒用、乘馬用、運動用、雨天用、軍隊用等の各種がある。材料は山羊牛、犢牛、ガンロー等の各種革類、ゴム、布帛等を用ふ。輸出靴の主要なるものはゴム靴にして、革靴の輸出は近來振はない。

◎主要生産者

- 三田土ゴム製造株式会社(東京)
- 櫻組製靴株式会社(シ)
- 日本製靴株式会社(シ)
- 亞細亞製靴株式会社(名古屋)
- 神戸屋製靴株式会社(神戸)
- ◎主要輸出者
- 三井物産株式会社(東京)
- 三菱商事株式会社(シ)
- 櫻組工業株式会社(シ)
- 南里貿易株式会社(横濱)

	國 産 額		輸 出 額	
	數 量	價 額	數 量	價 額
大正10	—	—	6,857打	398,371圓
11	—	14,181,758圓	1,513	66,095
12	—	12,838,131	3,801	103,987
13	—	15,121,006	5,075	104,128
14	—	18,166,034	9,506	145,523
昭和1	—	19,090,285	7,152	90,941
2	—	20,676,102	11,276	195,212
3	—	21,290,786	7,745	152,567
4	—	21,114,524	6,457	157,217
5	—	20,598,419	7,198	162,488

國 産

	數 量	
大正10	—枚	
11	1,767,931	5
12	2,276,121	8
13	2,259,147	9
14	1,832,963	7
昭和1	1,171,651	4
2	1,049,308	5
3	1,039,845	4
4	863,930	4
5	980,764	5

(毛布及膝掛ヲ含ム)

主要府縣別生産額

縣 名	數 量	價 額
北海道	—	692,043圓
東京	—	5,539,025
神奈川	—	471,258
静岡	—	520,924
愛知	—	1,297,256
京都	—	1,232,835
大阪	—	3,044,990
兵庫	—	965,845

主要國別輸出額

國 名	數 量	價 額
支 那	602打	11千圓
關 東 州	4,840	78
海峽殖民地	813	10
蘭領印度	600	5
露領アジア	457	43

主要府縣別生産額

縣 名	數 量	
東京	95,743枚	3
岐阜	36,879	2
愛知	108,684	7
大阪	456,290	1,8
兵庫	137,194	9
和歌山	10,814	

◎外國競争者

米國産品、獨逸産品

◎輸出の主要原因

支那方面及シベリア方面は靴の生産不足にして、本邦は地理的に有利なる立場に在るが爲めである。又南洋、シヤム方面に對するゴム靴の輸出は品質良好にして價格低廉なるが故である。

◎外國品と國産品の優劣

革製品の内軍隊靴は技術の點に於て、又價格の低廉なる點に外國品に優るが、普通靴は材料を海外より輸入する關係上米、獨等の製品に比して幾分高價である。ゴム靴は品質、價格共優に海外品と競争し得る。

◎輸出増進の主要處置

シベリヤ、支那、南洋等各方面の需要は逐年激増しつゝあるを以て、先づ大いに國産品を紹介宣傳して新販路を開拓し、更に米、獨等に對抗するため設備を改善して大量生産に依る價格低下に努力すべし。

◎輸出増進の主要處置

一般肩掛に就ては製作技術の進歩を圖り、型、柄行、色合等常に外國人の趣味嗜好及び流行に應ずる様考案研究することが肝要である。

の製品は外國製と同様の材料を用ふるに拘らず出來上りに於て外國品に及ばない。獨り絹製は品質、價格共に外國製に優る。

一五四、スリツパー

スリツパーはその形状區々にして指先のみ甲を有するもの、全部に淺き甲を有するもの、踵を有するものと踵を有せざる平底のもの等種々ある。一般向きのスリツパーは底に革フェルト、模造革、布帛等を用ひ、甲はラシヤ、フェルト、革、蘭、布帛等を用ひて製し、婦人用スリツパーは絹ブラツシュ、絹繻子、ラシヤ等を用ひ、刺繡を施したるものも少くない。各種共に逐年輸出の増加を見つゝある。

◎主要生産者

- 梶田組 (東京)
- 平野重照商店 (シ)
- 阪本常次郎商店 (大阪)
- 中川合資會社 (シ)

◎主要輸出者

- 長谷川辰藏商店 (東京)
- 阪本常次郎商店 (大阪)
- 中川合資會社 (シ)

◎外國競争者

エガ1會社 (米國)
此の外各種類共競争者頗る多し。

年次	國産額		輸出額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—	920,256圓	98,397打	509,590圓
11	—	896,564	79,958	367,654
12	—	898,256	67,401	258,104
13	—	926,456	113,577	417,764
14	—	1,456,219	143,300	489,192
昭和1	—	1,363,224	146,412	484,728
2	—	1,219,333	187,235	510,783
3	—	1,451,226	193,851	557,373
4	—	1,359,214	250,123	674,659
5	—	1,421,266	—	—

主要府縣別生産額

縣名	數量	價額
北海道	—	54,365圓
東京	—	356,249
神奈川	—	98,295
静岡	—	101,154
愛知	—	99,568
京都	—	53,024
大阪	—	124,569
兵庫	—	95,461

主要國別輸出額

國名	數量	價額
支那	14,224打	57千圓
關東州	8,867	39
海峽殖民地	18,633	36
蘭領印度	31,033	79
北米	12,867	50
其他北米諸國	13,201	33
布哇	28,850	89

◎輸出の主要原因

國産スリツパーは各種類共概して品質粗悪であるが、價格も亦外國品に比して低廉なるが故に、香港、上海、ハルピン、南洋方面に於ける下層階級に歡迎される。

◎外國品と國産品の優劣

製造技術は外國に劣らず、従つて高級優秀品の生産は容易であるが、高級品を作るに於ては海外品と競争し難いため、低級にして廉價なる製品が大部分を占めてゐる。故に外國品に比して品質は遙かに劣等であるが、安價品を歡迎する支那南洋方面に國産品獨特の販路を有す。

◎國産振興の主要處置

スリツパーの生産額は逐年激増しつゝあり、而も海外に於ける需要頗る多きを以て此の趨勢を逸せず益々獎勵保護の必要を認む。

◎輸出者の意見

本品は粗製濫造の弊甚しきを以て速かに之を除去する事肝要である。

一五五、靴紐

靴の鳩目を通し合せる紐には平紐と丸紐の二種があるが、大部分は平紐である。平紐は普通グレイズドヤーンと稱する強く糊を施したる綿糸を材料として組製、又は織製したるものであるが、モヘア糸及び絹糸製のものもある。普通靴には綿製又は

年次	數量	價額
大正10	—	530,606圓
11	—	591,421
12	—	470,534
13	—	644,672
14	—	727,727
昭和1	—	547,922
2	—	826,069
3	—	585,901
4	—	489,057
5	—	418,187

年次	數量	價額
大正10	—	118打
11	—	25
12	—	79
13	—	19
14	—	13
昭和1	—	78

◎輸出の主要原因

本品の輸出先は支那、滿洲、印度、南洋方面にして、南洋に對しては上海市場を経て再輸出するのが

◎主要輸出者

長谷川辰藏商店 (東京)
 阪本常次郎商店 (大阪)
 中川合資會社 (〃)

◎外國競爭者

エガ1會社 (米國)
 此の外各種類共競爭者頗る多し。

一五五、靴

紐

靴の鳩目を通し合せる紐には平紐と丸紐の二種があるが、大部分は平紐である。平紐は普通グレイズドヤーンと稱する強く糊を施したる綿糸を材料として組製、又は織製したるものであるが、モヘア糸及び絹糸製のものもある。普通靴には綿製又は毛製が用ひられ、禮式靴及婦人靴には主として絹製が用ひらる。

◎主要生産者

日本製紐株式會社 (東京)
 小澤信重 (〃)
 岡製紐工場 (大阪)
 姫路製紐株式會社 (姫路)
 江本製紐株式會社 (大阪)
 大澤工場 (京都)

◎主要輸出者

服部商店 (横濱)
 永井商店 (〃)
 宮崎商店 (東京)
 岡繁藏商店 (大阪)
 小澤商店 (東京)

◎外國競爭者

米國産品、英國産品及び獨逸産品

	國 産		輸 出 額	
	數 量	價 額	數 量	價 額
大正10	—	956,214圓	—	530,606圓
11	—	944,256	—	591,421
12	—	1,050,287	—	470,534
13	—	1,656,232	—	644,672
14	—	1,332,412	—	727,727
昭和1	—	1,552,443	301,519哥	547,922
2	—	1,462,514	483,782	826,069
3	—	1,686,597	394,812	585,901
4	—	1,766,597	373,913	489,057
5	—	1,564,299	393,238	418,187

國 産

	數 量
大正10	—
11	—
12	—
13	—
14	—
昭和1	—
2	—
3	—
4	—
5	—

主要府縣別生産額

縣 名	數 量	價 額
東 京	—	83,154圓
愛 知	—	98,046
大 阪	—	121,366
岡 山	—	56,452
京 都	—	38,569

主要國別輸出額

國 名	數 量	價 額
支 那	118打	121千圓
關 東 州	25	40
英 領 印 度	79	141
海峽殖民地	19	24
秘 露	13	17
濠 太 刺 利	78	135

主要府縣別生産額

縣 名	數 量
北海道	—
東 京	—
神奈川	—
靜 岡	—
愛 知	—
京 都	—
大 阪	—
兵 庫	—

等にして、國産品は常に壓迫せられつゝある。

◎輸出の主要原因

本品の輸出先は支那、滿洲、印度濠洲、南洋方面にして、南洋に對しては上海市場を経て再輸出するのが通例である。歐洲大戰中は是等各地方は勿論、英、米、露等の諸國へ輸出されたが、戦後は米、獨、英等諸國品の出廻りに依つて歐米市場より驅逐され、爾來東洋市場に於ても漸次歐米品に壓倒され、現在に於ては價格廉價なるため下層階級の需要を維持するに過ぎず、輸出額は逐年減少の傾向に在る。

◎外國品と國産品の優劣

國産品は安價なる低級品を主とするため、高級品は英、米等の産品に比して品質稍劣る。

◎輸出増進の主要處置

本品は概ね小規模組織に依つて生産されるため、製品不統一にして品質の向上を期し難し。故に先づ規模設備を改善する事が急務である。

◎國産振興の主要處置

スリツパーの生産額は逐年激増しつゝあり、而も海外に於ける需要頗る多きを以て此の趨勢を逸せず益々獎勵保護の必要を認む。

◎輸出者の意見

本品は粗製濫造の弊甚しきを以て速かに之を除去する事肝要である。

一五六、貝鈕卸

ボタンには圓形、扁圓形、球状等の各種あり。又その材料には金屬、貝類、骨角、エボナイト、セルロイド、硝子、陶磁、紙、木、アイボリーナット等が用ひられるが、輸出向としては貝製が最も巨額を占めてゐる。貝製ボタンの材料として最も多く使用されるは高瀬貝、新高瀬貝、蝶貝、南光貝、鮑貝、蝶螺貝、淡水貝等である。

◎主要生産者

- 的場貝卸製造所 (大阪)
 - 松尾貝卸工場 (〃)
 - 中川貝卸工場 (〃)
 - 東洋卸株式會社 (神戸)
 - 大野竹松工場 (〃)
 - 川越治三郎工場 (〃)
 - 攝津卸工場 (〃)
 - 共三貝卸合資會社 (岡山)
 - 六車貝卸工場 (香川)
- ◎主要輸出者
- 中村儀助商店 (大阪)
 - 佐川商店 (神戸)
 - 東洋卸株式會社 (〃)
 - 的場貝卸製造所 (大阪)

年次	國産額		輸出額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—	2,004,940圓	5,288,504哥	3,221,949圓
11	—	1,410,667	10,714,729	5,493,771
12	—	1,496,922	10,208,137	6,500,928
13	—	1,997,866	10,663,213	7,857,920
14	—	2,731,193	14,490,057	7,745,274
昭和1	—	2,092,558	14,552,765	7,627,563
2	—	2,314,324	16,374,470	8,652,930
3	—	1,982,991	16,773,696	6,533,046
4	—	2,333,547	17,256,964	6,173,332
5	—	2,121,365	13,756,025	4,684,153

主要府縣別生産額

縣名	數量	價額
三重	—	43,410圓
大阪	—	567,342
兵庫	—	384,382
奈良	—	284,396
和歌山	—	464,801
鳥取	—	120,113
香川	—	38,330

主要國別輸出額

國名	數量	價額
支那	676哥	545千圓
英領印度	1,734	563
英吉利	3,398	1,219
佛蘭西	577	221
獨逸	1,442	519
和蘭	1,687	395
伯刺西爾	813	303
亞爾然丁	967	449

◎外國競争者

本品は各國共に相當の生産額あるも、多くは自給自足の域に達せざるため、國産卸は歐米及び東洋、南洋の各國に輸出され、國産品に對抗する有力競争者として認むべきもの少く、殆んど獨り舞臺の觀がある。

◎輸出の主要原因

大部分手工製品なるが故に本邦人の得意とする所にして、品質も良好且つ價格も低廉なるが故に世界各地に歡迎さる。

◎外國品と國産品の優劣

國産貝卸の大部分は副業的に生産されるため、價格は外國品に比して低廉であるが、品質不統一を免れず又仕上げに於て外國品に及ばざるものも少なくない。

◎國産振興の主要處置

從來の如き副業的乃至小規模の生産組織に於ては、品質の統一及び向上を期し難きを以て、規模を擴張し設備を改善する必要がある。

一五七、金屬製鈕卸

金屬製鈕卸の大部分は金、銀等を鍍金したるものにして、主として學生服、軍服、制服等に使用さる。而して國産品は糸にて縫付ける部分の鍍付法が外國産に見ざる特殊のものにして、支那その他へ輸出されて好評を博してゐる。

年次	輸出額
4哥	249,575圓
4	312,047
4	260,141
5	259,315
3	202,761
6	237,144
0	283,413
2	253,153
1	224,649
3	221,941

輸出額

年次	數量	價額
356哥	—	154千圓
160	—	49
29	—	13
21	—	16
17	—	13

一種類のものを大量生産する方針である。従つて支那の如く種類頗る多く而も同一種類の需要少き國に對しては、國産の如く家内工業的に生産され種類多きものが適當である。是れ國産品が支那へ多額の輸出を見る主因である。

一五七、金屬製鈕釦

金屬製鈕釦の大部分は金、銀等を鍍金したるものにして、主として學生服、軍服、制服等に使用さる。而して國産品は糸にて縫付ける部分の鍍付法が外國産に見ざる特殊のものにして、支那その他へ輸出されて好評を博してゐる。

◎主要生産者

- 岡田釘店 (東京)
- 越前屋 (〃)
- 金丸澤之助 (大阪)
- 中村儀助商店 (〃)

◎主要輸出者

- 中村儀助商店 (大阪)
- 岡田釘店 (東京)

◎外國競争者

獨逸製プレス鈕は支那、南洋、印度等の各地に於て國産鈕の競争者であるのみならず同品は本邦にも輸入されつゝあるが、その數量は比較的僅少にして恐るゝる足りない。

◎輸出の主要原因

外國製品は大部分大規模の工場に於て生産されるため、その型少く同

- 攝津釘工場 (〃)
- 共三貝釘合資會社 (岡山)
- 六車貝釘工場 (香川)
- 中村儀助商店 (大阪)
- 佐川商店 (神戸)
- 東洋釘株式會社 (〃)
- 的場貝釘製造所 (大阪)

	國 産		輸 出	
	數 量	價 額	數 量	價 額
大正10	—	577,435圓	529,324哥	249,575圓
11	—	442,600	499,654	312,047
12	—	259,676	441,064	260,141
13	—	366,303	503,445	259,315
14	—	366,651	457,573	202,761
昭和1	—	446,242	568,646	237,144
2	—	540,853	721,660	283,413
3	—	750,046	592,592	253,153
4	—	790,143	542,511	224,649
5	—	801,269	667,713	221,941

	國 産
	數 量
大正10	—
11	—
12	—
13	—
14	—
昭和1	—
2	—
3	—
4	—
5	—

主要府縣別生産額

縣 名	數 量	價 額
千 葉	—	12,000圓
東 京	—	208,039
愛 知	—	18,540
大 阪	—	500,288
岡 山	—	8,000

主要國別輸出額

國 名	數 量	價 額
支 那	356哥	154千圓
關 東 州	160	49
香 港	29	13
蘭 領 印 度	21	16
英 吉 利	17	13

主要府縣別生産額

縣 名	數 量
三 重	—
大 阪	—
兵 庫	—
奈 良	—
和 歌 山	—
鳥 取	—
香 川	—

低廉であるが、品質不統一を免れず又仕上げに於て外國品に及ばざるものも少くない。

◎國産振興の主要處置

從來の如き副業的乃至小規模の生産組織に於ては、品質の統一及び向上を期し難きを以て、規模を擴張し設備を改善する必要がある。

◎外國品と國産品の優劣

一種類のものを大量生産する方針である。従つて支那の如く種類頗る多く而も同一種類の需要少き國に對しては、國産の如く家内工業的に生産され種類多きものが適當である。是れ國産品が支那へ多額の輸出を見る主因である。

獨逸産は概して本邦産よりも品質優良であるが、露國産は本邦産よりも劣等である。且つ獨逸産は國産とは殆んど別途の需要を有し、國産品と同様のものは殆んど生産されない又糸にて縫付ける部分の鍍付法は本邦獨特のものとして支那方面に特別の販路を有するは、國産金屬製鈕の強味である。

◎輸出増進の主要處置

支那、南洋方面に於ける從來の販路を維持すると共に、印度及南米方面の新販路を開拓すれば頗る有望であるが、該方面には獨逸製品が多年に亘り確乎たる信用あるを以て、該品と競争するため品質の向上、及同業者の結果が必要である。

一五八、骨角製其他各種鈕釦

國産鈕釦の主たるものは貝製にして、之に次ぐは骨角製である。骨角製は牛、馬その他各種獸類の骨及角を材料とするものにして、歐洲大戰中は盛んに輸出されたが、現今に於ては貝製の十分ノ一内外である。此の外アイボリーナット製、エボナイト製、セルロイド製、硝子製、陶磁器製、紙製、木製、煉り物製等の各種あり、何れも支那、印度、關東州方面へ輸出されつゝあるが、その額は骨角製よりも僅少である。

◎主要生産者

骨角製鈕釦は大阪、奈良、兵庫、廣島等の諸府縣に於て生産されるが大工場組織の生産者は殆んど無く、殆んど全部家内工業である。故に特掲すべき生産者なし。

(アイボリーナット製)

永松鉦工場

(東京)

(陶磁器製)

日本鉦株式會社

(大阪)

此の他の各種鈕釦はその生産額少く、且つ殆んど全部家内工業なるを以て、大工場なく、特掲すべき生産者なし。

國産額		輸出額	
數量	價額	數量	價額
大正10	597,609圓	—	312,487圓
11	434,279	—	223,620
12	860,310	—	195,296
13	493,973	—	406,269
14	556,831	—	331,558
昭和1	622,683	—	185,638
2	308,988	—	227,670
3	417,695	—	308,388
4	470,235	—	356,766
5	491,146	1,465,265哥	713,282

(金屬製及貝製以外の總産額)

主要府縣別生産額

縣名	數量	價額
神奈川	—	47,871圓
京都	—	16,488
大阪	—	217,180
奈良	—	117,256
香川	—	14,400

主要國別輸出額

國名	數量	價額
支那	—	146千圓
關東州	—	46
香港	—	15
英領印度	—	38
蘭領印度	—	26
英吉利	—	15

◎主要輸出者

本品の一部は生産者に依つて直接輸出され、一部は横濱及神戸より支那、南洋貿易商の手を経て副業的に輸出さる。

◎外國競争者

チエツコスロバキヤ產品及獨逸產品はアイボリーナット製品に對し、獨逸產品は骨角製、陶磁器製その他各種に對して、有力競争者である。

◎輸出の主要原因

國產品は主として家庭工業又は副業的の生産にして、一部の工程に簡單なる機械を使用する外大部分は手工に依る。故に本邦人に適し、技術的に優秀にして價格も比較的低廉なるが故である。

◎外國品と國產品の優劣

國產品は概して製品不揃ひである

◎國産振興の主要處置

増率増進の加工機械を用ひ、製品の統一と價格低下を圖る事が急務。

一五九、セルロイド製櫛

本品は適宜に壓延したるセルロイド板を所要の大きさに切断して製したるものにして、梳髮用、束髮用等の各種がある。色は黒、琥珀色、鼈甲模造の斑紋入り等各種あり、何れも主として關東州、支那方面へ輸出さる。

出額	價額
3哥	384,603圓
6	847,659
6	492,771
8	466,040
7	696,956
9	602,797
2	715,358
5	785,663
3	963,454
8	631,527

輸出額

量	價額
70哥	157千圓
9	31
25	142
32	260
6	52
1	17
4	51

◎外國競争者

歐洲大戰當時は英國へ多額の輸出あり、英國は之を各地に再輸出したが、戦後獨、佛、伊、米、英等諸國

小山勝之助 (シ)

日本セルロイド製品株式會社(シ)

アイボリーナット製
 (東京)
 永松卸工場
 (陶磁器製)
 (大阪)
 日本卸株式会社
 此の他の各種鈕釦はその生産額少
 く、且つ殆んど全部家内工業なるを
 以て、大工場なく、特掲すべき生産
 者なし。

年	数量	産 額
大正10	—	—
11	—	—
12	—	—
13	—	—
14	—	—
昭和1	—	—
2	—	—
3	—	—
4	—	—
5	—	—

(金屬製及貝製)

一五九、セルロイド製櫛

本品は適宜に壓延したるセルロイ
 ド板を所要の大きさに切斷して製し
 たるものにして、梳髮用、束髮用等
 の各種がある。色は黒、琥珀色、鼈
 甲模造の斑紋入り等各種あり、何れ
 も主として關東州、支那方面へ輸出
 さる。

◎主要生産者

- 上田彦二郎 (大阪)
- 日本セルロイド製品株式会社 (〃)
- 大阪セルロイド加工株式会社 (〃)
- 西田文七 (〃)
- 小山勝之助 (〃)
- 片山秀治 (〃)
- 田中光藏 (〃)
- 浦山商店 (〃)
- 辰巳信雄 (〃)
- 宮本甲藏 (〃)
- 東京セルロイド株式会社 (東京)
- 萩村商店 (〃)
- 三浦商店 (〃)
- ◎主要輸出者
- 上田彦二郎 (大阪)
- 浦山商店 (〃)
- 辰巳信雄 (〃)

年	國 産 額		輸 出 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—	2,521,206圓	36,083哥	384,603圓
11	—	3,147,335	60,796	847,659
12	—	10,355,251	45,316	492,771
13	—	4,555,277	45,988	466,040
14	—	3,440,340	62,507	696,956
昭和1	—	3,988,732	77,159	602,797
2	—	3,125,764	99,502	715,358
3	—	3,825,784	158,125	785,663
4	—	4,218,633	204,363	963,454
5	—	4,609,775	153,348	631,527

(玩具以外のセルロイド製品産額)

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
東 京	—	933,859圓
愛 知	—	56,620
三 重	—	5,385
大 阪	—	2,824,120

主要國別輸出額

國 名	數量	價 額
支 那	70哥	157千圓
香 港	9	31
英領印度	25	142
比律賓諸島	32	260
北 米	6	52
亞爾然丁	1	17
濠太刺利	4	51

主要府縣別生産額

縣 名	數量
神奈川	—
京 都	—
大 阪	—
奈 良	—
香 川	—

外國品と國産品の優劣
 國産品は概して製品不揃ひである
 増率増進の加工機械を用ひ、製品
 の統一と價格低下を圖る事が急務。

◎國産振興の主要處置

國産品は概して製品不揃ひである
 増率増進の加工機械を用ひ、製品
 の統一と價格低下を圖る事が急務。

◎外國競争者

歐洲大戰當時は英國へ多額の輸出
 あり、英國は之を各地に再輸出した
 が、戦後獨、佛、伊、米、英等諸國
 に於ける生産額増加して歐洲地方へ
 の國産品輸出は殆んど中絶の状態と
 なり、更に東洋及南洋市場に於ても
 是等歐米産品に壓迫されつゝある。

◎輸出の主要原因

本邦は世界唯一の樟腦國にして、
 之を原料とするセルロイドの製造は
 近時益々隆盛となり、従つてセルロ
 イド製品は比較的安價に供給し得る
 が爲めである。

◎外國品と國産品の優劣

製造技術に於て諸外國に遜色なく
 原料の豊富なる點、小企業に適する
 點等に於て諸外國に優る。故に國産
 品は低廉にして品質優良である。

◎國産振興の主要處置

本工業は本邦に最適せるを以て政
 府は大いに保護獎勵する必要あり。

一六〇、帶及帶子

帶類は本邦の特産品にしてその大部分は内地の需要に依るものであるが、海外在留邦人の需要及び一部外人の副裝飾用として輸出さる。材料及び織り方に依つて種類多し。帶子は帶形の絹又は綿布を以て製したるものにして一名腿子と呼び、支那人が足部を纏卷するに用ふるものである。

◎主要生産者

- (帶類) 西陣織物株式会社 (京都)
- 西陣商會 (〃)
- 川島甚兵衛 (東京)
- 龍村平藏商店 (京都)
- 丸居商店 (〃)
- (帶子) 内藤織物株式会社 (岡山)
- 尾崎邦藏 (〃)
- 柏野菊太郎 (〃)
- 高橋工場 (香川)
- ◎主要輸出者 西陣織物株式会社 (京都)
- 龍村平藏商店 (〃)
- 川島甚兵衛 (東京)

年次	國産額		輸出額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—	—	—	797,047圓
11	—	48,406,413圓	—	584,514
12	—	40,018,613	—	525,130
13	—	43,014,569	—	733,050
14	—	36,819,522	—	788,899
昭和1	—	49,209,872	—	509,994
2	—	54,167,304	—	490,098
3	—	56,392,069	—	539,731
4	—	61,087,129	—	786,214
5	—	63,108,542	365,122打	851,550

(帶類の産額にして帶子は不詳)

主要府縣別生産額

縣名	數量	價額
栃木	—	865,296圓
群馬	—	1,965,468
東京	—	455,412
福井	—	965,219
京都	—	2,568,564
大阪	—	1,865,249
福岡	—	598,362
愛知	—	1,165,464

主要國別輸出額

國名	數量	價額
支那	—	119千圓
關東州	—	114
香港	—	49
蘭領印度	—	173
布哇	—	24

◎外國競争者

内藤織物株式会社 (岡山)
釜下商店 (大阪)

◎輸出の主要原因

帶は海外在留邦人の需要、及び外人の副裝飾工藝品の地切用として輸出さる。帶子は支那産品よりも品質優良なるが爲めである。

◎外國品と國産品の優劣

帶は優劣を比較すべきものなく、帶子は支那品より品質優良である。

◎輸出増進の主要處置

帶に就てはその必要なし。帶子に就ては輸出業者に金融の便を與へ、又検査を嚴重にすべし。

◎外國競争者

日本人の特用品なるが故に外國競争者無し。

◎輸出の主要原因

本邦人は習慣上さるるを必要とす。

一六一、メリヤス製さるるまた

本品は綿糸、毛糸、紡績絹糸、亞麻糸等を材料とし、メリヤス機械に依つて編製したるものにして、材料糸の大小に依つて地合の厚薄あり、又裏面に起毛を施したるものと然らざるものとあり。輸向のものは大

輸出量	價額
266打	89,946圓
769	98,254
20	120,481
202	56,335
83	99,241
24	103,157
45	506,163
82	637,394
99	625,563
00	753,626

別輸出額

數量	價額
10打	29千圓
7	32
15	32
73	347
3	17
25	101
3	13

一六一、メリヤス製さるまた

本品は綿糸、毛糸、紡績絹糸、亞麻糸等を材料とし、メリヤス機械に依つて編製したるものにして、材料糸の大小に依つて地合の厚薄あり、又裏面に起毛を施したるものと然らざるものとあり。輸向のものは大分海外在留邦人の需要に依るものにして色は白色、又は染色無地が大部分を占めてゐる。

◎主要生産者

- 西松メリヤス株式会社 (大阪)
- 金貨メリヤス株式会社 (〃)
- 丸松合資会社 (〃)
- 大徳合資会社 (〃)
- 日本メリヤス株式会社 (〃)
- 寺阪メリヤス株式会社 (〃)
- 村岸メリヤス合資会社 (〃)
- 石井莫大小工場 (〃)
- 合資会社猪村商店 (名古屋)
- 朝日メリヤス合資会社 (〃)
- ◎主要輸出者
- 山本博一商店 (大阪)
- 田村貿易会社 (〃)
- 丸松合資会社 (〃)
- 兼松商店 (神戸)

	國 産 額		輸 出 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	185,663打	886,910圓	24,266打	89,946圓
11	192,653	726,883	24,769	98,254
12	84,646	374,214	30,620	120,481
13	820,517	4,830,504	16,202	56,335
14	229,217	1,158,125	27,883	99,241
昭和1	266,870	1,233,114	31,224	103,157
2	267,812	956,685	106,845	506,163
3	229,220	804,130	153,382	637,394
4	256,387	846,513	194,199	625,563
5	261,568	831,698	237,000	753,626

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
東 京	104,164打	371,643圓
愛 知	40,128	149,593
大 阪	84,928	282,894

主要國別輸出額

國 名	數量	價 額
支 那	10打	29千圓
關 東 州	7	32
英領印度	15	32
英 吉 利	73	347
秘 露	3	17
喜望峰殖民地及ナタル	25	101
新 西 蘭	3	13

主要府縣別生産額

縣 名	數量
栃 木	—
群 馬	—
東 京	—
福 井	—
京 都	—
大 阪	—
福 岡	—
愛 知	—

◎外國品と國産品の優劣

帯は優劣を比較すべきものなく、帯子は支那品より品質優良である。

◎輸出増進の主要處置

帯に就てはその必要なし。帯子に就ては輸出業者に金融の便を與へ、又検査を嚴重にすべし。

◎外國競争者

日本人の特用品なるが故に外國競争者無し。

◎輸出の主要原因

本邦人は習慣上さるまたを必要とするに拘らず、外國にはその生産なきため、國産品を輸入するの外なく従つて本品の輸出先は邦人の多數在住せる支那、關東州、海峽殖民地等が主たるものである。

◎外國品と國産品の優劣

外國には國産さるまたと同様のものなく、従つて優劣を比較すべきものがない。

◎國産振興の主要處置

各種メリヤス製品と同様、大量生産組織に改善して生産能率の増進及び生産費の低下を圖る必要あり。

◎輸出増進の主要處置

本品の如きは在外邦人の需要に依る特殊のものなるが故に、特に輸出の増加を圖る必要なかるべし。

國 産

	數量	價 額
大正10	—	—
11	—	—
12	—	—
13	—	—
14	—	—
昭和1	—	—
2	—	—
3	—	—
4	—	—
5	—	—

(帶類の産額にして)

◎主要輸出者

- 内藤織物株式会社 (岡山)
- 尾崎邦藏 (〃)
- 柏野菊太郎 (〃)
- 高橋工場 (香川)
- 西陣織物株式会社 (京都)
- 龍村平藏商店 (〃)
- 川島甚兵衛 (東京)

一六二、洋服

毛織物、綿織物、麻織物、絹織物等を材料とする洋服は、元來歐米諸國より輸入され近年に至るまで外國製品が盛んに輸入されつゝあつたが現在に於ては原料を除いては殆んど輸入されず、反つて工場用作業服其他を輸出するに至つた。

◎主要生産者

- 島村商店 (東京)
森居保商店 (大阪)
森居幸商店 (大阪)

◎主要輸出者

- 島村商店 (東京)
森居幸商店 (大阪)
森居保商店 (大阪)

◎外國競争者

歐米諸國は本品の原産地にして多年の経験と材料の豊富等に因り、優良品を各地に輸出しつゝある。故に國産洋服輸出先の至る所に於てその壓迫を免れざる状態にして、就中獨逸産品、ベルギー産品、米國産品及び上海品等は最も有力なる競争者である。

Table with columns: 國産額 (Quantity, Price), 輸出額 (Quantity, Price). Rows include years from 大正10 to 昭和5.

主要國別輸出額

Table with columns: 國名, 數量, 價額. Rows include 支那, 關東州, 香港, 露領アジア, 英吉利, 北米, 加奈陀.

主要府縣別生産額

Table with columns: 縣名, 數量, 價額. Rows include 北海道, 埼玉, 東京, 神奈川, 京都, 大阪, 兵庫, 岡山.

◎輸出の主要原因

本品は以前露國及支那方面へ輸出されつゝあつたが、關稅その他の關係上近來漸次不振に陥り、爲替關係相場の變動等特殊の事情に依つて有利なる場合に限つて小額の輸出を見らるるに過ぎざる状態となつた。

◎外國品と國産品の優劣

國産品は近來技術の進歩に依り品質に於ては外國品に比して遜色を認めざるに至つたが、材料豊富にして而も生産規模の大なる外國に比して本邦斯業は材料乏しく規模狭小なるため、勢ひ生産量少く且つ生産費高價なるを免れず。従つて現在に於ては海外市場に於て堂々外國品と競争し得る域に達してゐない。

◎國産振興の主要處置

本品の大部分は現在家内工業に依つて生産されつゝある。是れ國産品が外國品に對抗し得ざる最大原因なるを以て、政府は適當なる保護獎勵策を樹立し、大規模の工場工業として發展せしむべきである。

◎外國競争者

本邦の特産品なるが故に競争者と見做すべきものはなく。

◎輸出の主要原因

本邦の特産品にして、東洋趣味を

一六三、きもの

輸指向きものは普通の和服を外人の嗜好に應じて仕立てたるものにして、外人は邦語をその儘きものと稱し、又法被の如きはハツピーコートと呼んで珍重する風がある。而して輸指向きものは絹製にありては羽二重、縮緬、壁織等を用ひ、綿製にありては捺染縮の類を用ひて製す。

Table with columns: 輸出額 (Quantity, Price). Rows of numerical data.

Table with columns: 別輸出額 (Quantity, Price). Rows of numerical data.

森居保商店

◎外國競争者

歐米諸國は本品の原産地にして多年の経験と材料の豊富等に因り、優良品を各地に輸出しつゝある。故に國産洋服輸出先の至る所に於てその壓迫を免れざる状態にして、就中獨逸産品、ベルギー産品、米國産品及び上海品等は最も有力なる競争者である。

一六三、きもの

輸指向きものは普通の和服を外人の嗜好に應じて仕立てたるものにして、外人は邦語をその儘きものと稱し、又法被の如きはハツピーコートと呼んで珍重する風がある。而して輸指向きものは絹製にありては羽二重、縮緬、壁織等を用ひ、綿製にありては捺染縮の類を用ひて製す。

◎主要生産者

- 株式会社岩井田商店 (横濱)
- 加藤合名會社 (〃)
- 株式會社野澤屋 (〃)
- 株式會社竹村商會 (〃)
- 吉川商店 (〃)
- 西村貿易店 (京都)
- 大丸一商店 (〃)
- 大名物産株式會社 (神戸)
- 神谷商店 (〃)
- 寺西商店 (〃)

◎主要輸出者

上記生産者は何れも輸出の目的を以て製造する者にして、大部分は生産者自ら直接に輸出するが、一部分は横濱、神戸等の輸出商の手を経て輸出さる。

年次	國 産 額		輸 出 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—	2,767,461圓	—	2,254,632圓
11	—	3,104,879	—	2,219,444
12	—	3,527,767	—	1,057,163
13	—	3,077,290	—	1,744,175
14	—	3,048,700	—	2,510,169
昭和1	—	3,228,372	—	1,847,203
2	—	3,301,535	—	1,543,584
3	—	3,192,718	—	1,700,810
4	—	3,286,542	—	1,959,116
5	—	3,234,216	—	3,717,385

年次	國 産 額		輸 出 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—	4,300,000	—	4,300,000
11	—	4,700,000	—	4,700,000
12	—	5,000,000	—	5,000,000
13	—	6,400,000	—	6,400,000
14	—	7,500,000	—	7,500,000
昭和1	—	8,300,000	—	8,300,000
2	—	9,100,000	—	9,100,000
3	—	10,500,000	—	10,500,000
4	—	9,500,000	—	9,500,000
5	—	9,200,000	—	9,200,000

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
神奈川	—	128,015圓
愛 知	—	130,445
大 阪	—	141,645
兵 庫	—	59,340
岡 山	—	19,373
福 岡	—	115,700
熊 本	—	138,501

主要國別輸出額

國 名	數量	價 額
英領 印度	—	262千圓
海峽殖民地	—	68
蘭領 印度	—	153
北 米	—	238
喜望峰殖民地及ナタル	—	63
東部アフリカ	—	41
濠太 刺利	—	62
布 哇	—	44

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
北海道	—	290
埼 玉	—	270
東 京	—	1,160
神奈川	—	380
京 都	—	430
大 阪	—	2,150
兵 庫	—	890
岡 山	—	960

◎國産振興の主要處置

本品の大部分は現在家内工業に依つて生産されつゝある。是れ國産品が外國品に對抗し得ざる最大原因なるを以て、政府は適當なる保護獎勵策を樹立し、大規模の工場工業として發展せしむべきである。

◎外國競争者

本邦の特産品なるが故に競争者と見做すべきものはない。

◎輸出の主要原因

本邦の特産品にして、東洋趣味を愛し日本風俗を好む一部歐米人士の需要に依つて大部分輸出さる。

◎外國品と國産品の優劣

本邦の特産品にして優劣を比較すべき對象なし。

◎輸出増進の主要處置

本品は日本獨特の趣味を愛好する人々に依つて需要されるものにして實用品ではない。故に價格の如きは左程大なる影響を有せざるを以て、常に流行及び時代の變遷に應じて意匠染色等に留意し、歐米人の趣味慾を満足せしめることに努めると共に實用的に需要ある絹製寝衣の如きは其の品質の向上、仕立、價格等に意を用ひて實用化の宣傳に努め以て確乎たる販路の開拓に努力すれば前途益々有望である。

一六四、フェルト製帽子

フェルト製帽子には、俗に山高帽と呼ぶ硬帽と、中折帽と通稱する軟帽との兩種がある。兩者とも色は黒色、灰色、茶褐色等種々あるが、山高帽は黒色が普通とされてゐる。原料には兎毛、海狸毛、羊毛等の各種が用ひらる。

◎主要生産者

- 帝國製帽株式会社 (濱松)
- 東京帽子株式会社 (東京)
- 大日本製帽株式会社 (大阪)
- 日本帽子株式会社 (大阪)
- 三浦製帽合資會社 ()
- 高野製帽株式会社 ()
- 株式會社高橋製帽所 ()
- 濱谷帽子株式会社 ()
- 吉安商店 (東京)
- 橋本直一 ()
- 北條寅吉 ()
- 株式會社淺野長商店 (大阪)
- 濱谷帽子株式会社 ()
- 株式會社樋口商店 ()
- 竹内製帽所 ()
- 樋口帽子輸出部 ()

◎主要輸出者

年次	國 産 額		輸 出 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	325,863打	6,686,591圓	82,102打	1,160,621圓
11	375,181	6,873,585	194,793	1,876,403
12	203,717	4,859,748	207,244	1,954,912
13	282,462	6,286,014	187,013	1,763,577
14	245,014	6,150,517	214,775	2,298,517
昭和1	275,117	6,656,722	222,843	2,326,158
2	246,352	5,523,918	243,396	2,244,796
3	281,113	6,449,647	250,497	2,244,402
4	285,477	6,021,245	221,389	1,859,433
5	291,024	5,958,245	249,390	1,610,841

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
東 京	60,853打	1,294,644圓
靜 岡	31,700	1,091,431
滋 賀	8,000	80,000
大 阪	110,975	2,381,789
兵 庫	73,199	1,163,321

主要國別輸出額

國 名	數量	價 額
支 那	78,906打	917千圓
關 東 州	51,923	557
香 港	24,243	151
海峽殖民地	12,380	89
蘭領印度	45,332	305
暹 羅	29,042	191

◎外國競争者

- クリステイ會社 (英國)
- グリーン會社 ()
- バウタースビー會社 ()
- ブリス・エンド・ムーアス會社 ()
- ウキルソン會社 ()
- トレス會社 ()
- ワールド會社 ()
- ラック會社 ()
- ハーデマン會社 (米國)
- ステットソン會社 ()
- ノックス會社 ()
- ヘンリーヒース會社 ()
- ジービーボルサリノ會社(伊太利)

◎輸出の主要原因

國産品は主として價格低廉なるが爲めに輸出さる。

◎外國品と國産品の優劣

高級品は外國製に及ばず。低級品は外國製よりも價格低廉である。

◎輸出増進の主要處置

高級品の輸出を敢行し、日本品は粗悪なりとの悪評打破に努める事。

一六五、麥稈帽子

本品は麥稈眞田を材料とし縫機械を以て縫合せ、通常一文字型に作り糊を強く施して仕上げたるものにして、輸出向小兒用及婦人用には薄絹又はレース類を用ひて裝飾す。

◎主要生産者

年次	數量	價 額
95打	547,333圓	
71	518,028	
30	284,956	
22	435,074	
21	1,411,785	
69	1,356,696	
64	1,613,065	
49	960,052	
66	558,001	
90	311,611	

輸出額

年次	數量	價 額
4,834打	329千圓	
6,062	59	
7,323	112	
9,143	64	
6,644	50	
7,012	169	
6,038	43	

◎外國品と國産品の優劣

國産品は外國品に比して製造技術勝れ、價格も概して低廉である。

競争の地位に立つが、國産品に對抗するに足る有力なるものは殆んどなく、無競争に近き状態である。

◎主要輸出者

濱谷帽子株式会社 ()
 吉安商店 (東京) ()
 橋本直一 ()
 北條寅吉 ()
 株式会社淺野長商店 (大阪) ()
 濱谷帽子株式会社 ()
 株式会社樋口商店 ()
 竹内製帽所 ()
 樋口帽子輸出部 ()

國 産

	數量	價 額
大正10	325,863打	6,6
11	375,181	6,8
12	203,717	4,8
13	282,462	6,2
14	245,014	6,1
昭和 1	275,117	6,6
2	246,352	5,5
3	281,113	6,4
4	285,477	6,0
5	291,024	5,9

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
東 京	60,853打	1,294
靜 岡	31,700	1,091
滋 賀	8,000	80
大 阪	110,975	2,38
兵 庫	73,199	1,16

國産品は主として價格低廉なるが爲めに輸出さる。
 ◎外國品と國産品の優劣
 高級品は外國製に及ばず。低級品は外國製よりも價格低廉である。

◎輸出増進の主要處置

高級品の輸出を敢行し、日本品は粗悪なりとの悪評打破に努める事。

一六五、麥 稈 帽 子

本品は麥稈眞田を材料とし縫機械を以て縫合せ、通常一文字型に作り糊を強く施して仕上げたるものにして、輸出向小兒用及婦人用には薄絹又はレース類を用ひて裝飾す。

◎主要生産者

吉安商店 (東京) ()
 近文商店 (横濱) ()
 株式会社高橋製帽所 (大阪) ()
 株式会社樋口商店 ()
 濱谷帽子株式会社 ()

◎主要輸出者

吉安商店 (東京) ()
 近文商店 (横濱) ()
 株式会社淺野長商店 (大阪) ()
 株式会社樋口商店 ()
 濱谷帽子株式会社 ()

◎外國競争者

麥稈製帽子は元來外國産品にして本邦は以前之を輸入に仰ぎつゝあつたが、近年長足の進歩を遂げて内地需要を充すは勿論、海外各國に輸出するに至つた。輸出仕向地に於ては夫々自國品あり、勢ひ國産輸出品と

國 産 額 輸 出 額

	數量	價 額		數量	價 額
大正10	988,476打	5,642,299圓	69,795打	547,333圓
11	926,526	5,448,648	73,171	518,028
12	896,836	5,014,262	33,730	284,956
13	901,391	5,048,895	42,322	435,074
14	931,071	5,371,904	121,121	1,411,785
昭和 1	983,457	5,127,257	147,569	1,356,696
2	1,114,089	5,074,914	193,164	1,613,065
3	1,079,398	4,512,672	125,749	960,052
4	1,079,459	4,633,146	92,466	558,001
5	1,103,215	4,749,878	62,390	311,611

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
東 京	138,213打	856,057圓
神奈川	22,580	308,160
愛 知	330,405	1,012,611
大 阪	86,061	586,176
兵 庫	18,695	149,115
香 川	68,890	412,998
愛 媛	48,370	210,578
福 岡	46,140	175,174

主要國別輸出額

國 名	數量	價 額
支 那	34,834打	329千圓
關 東 州	6,062	59
香 港	17,323	112
蘭 領 印 度	9,143	64
英 吉 利	6,644	50
北 米	27,012	169
濠 太 刺 利	5,038	43

◎外國品と國産品の優劣

國産品は外國品に比して製造技術勝れ、價格も概して低廉である。

◎輸出の主要原因

國産品は大部分既製品として輸出されるが、仕向地の關稅等の關係上リボン、縁取等を爲さず半製品として輸出する場合も少くない。何れにするも品質に於て勝れ而も廉價なるが故に到る所に歡迎さる。

◎輸出増進の主要處置

需要地に於ける流行の變遷、趣味嗜好等を絶えず調査研究し、是れに應じて體裁等を適宜に改め、又原料の選擇、生産費の低下等に努め、良品廉價主義を以て新販路の開拓に努力すれば、本品の前途は實に有望である。生産業者及輸出業者が一致團結し、政府も亦本品の製造及輸出に對し適當の保護獎勵をなすべきである。

一六六、模造パナマ帽子

パナマ帽子は南米に産するスクリユーパインと稱する木の若葉を細かく裂きて編製したるものにして、パナマより各國に輸出されたるためパナマ帽子と呼ばれるに至つた。夏帽子中の最高級品として世界的に名聲を博してゐる。模造パナマ帽子は棕櫚の若葉及び是れと類似せる植物の纖維を材料として編製せるものにして、一見パナマ帽子の如く、中折型と巻型の二種がある。

◎主要生産者

臺灣及沖繩は本品の主産地にして所謂臺灣パナマの名あり。その主要生産者左の如し。

元泰商行 (臺灣)
 源和商會 (沖繩)
 泉徳商會 (沖繩)
 株式會社共三組 (神戸)
 土岐次郎 (沖繩)
 紙捻にセルロイド塗料を施せる

「東洋パナマ」生産者次の如し。

日本夏帽株式會社 (東京)
 太陽製帽株式會社 (沖繩)
 合資會社ミカド商會 (神戸)
 合資會社平和商會 (兵庫)

	國 産 額		輸 出 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	65,715打	1,149,520圓	109,692打	784,805圓
11	102,142	1,246,717	318,430	1,902,181
12	32,507	547,417	98,031	654,554
13	59,300	920,733	190,280	1,318,545
14	81,845	1,219,405	381,426	2,957,366
昭和1	139,950	2,095,961	466,663	4,660,869
2	77,239	1,073,837	294,801	2,677,773
3	109,955	1,498,912	286,545	3,055,951
4	174,721	2,356,784	729,746	8,727,455
5	184,569	2,259,614	542,975	4,429,447

(内地のみの産額にして臺灣その他を含まず)

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
東 京	29,315打	523,025圓
靜 岡	806	77,126
大 阪	4,700	63,900
兵 庫	23,623	279,880
岡 山	19,487	254,174
廣 島	6,890	90,440
沖 繩	86,185	1,012,364

主要國別輸出額

國 名	數量	價 額
支 那	6,598打	86千圓
英 吉 利	80,055	699
佛 蘭 西	49,701	572
獨 逸	53,614	487
北 米	58,345	757
亞 爾 然 丁	8,476	132
濠 太 刺 利	9,466	77

◎主要輸出者

株式會社共三組 (神戸)
 關西眞田株式會社 (沖繩)
 株式會社信友組 (沖繩)
 ジャデンマジソン (沖繩)

◎外國競争者

國産模造パナマと同種類のものには上海産品、マニラ産品、瓜哇産品等あり、類似のものには伊太利産品等あり、又パナマストロウ及類似製品としては米、佛、英等の産品があつて、何れも有力競争者である。唯紙捻の東洋パナマに對しては競争者が殆んどない。

◎輸出の主要原因

低廉にして供給豊富なる事。

◎外國品と國産品の優劣

概して國産品が優良である。

◎輸出増進の主要處置

生産を調節し濫賣をなさざる事、海外の流行に留意する事、臺灣人を内地に聘して製法を改善する事等が急務である。

一六七、印刷用紙

印刷用紙は優等紙より下等紙に至るまで品質に數等の差あり、其の種類も亦頗る多し、その製法及材料も等級及種類に依つて夫々異つてゐるが、大體に於て上等紙は亞硫酸法及曹達法の木原紙料に襤褸、藁等の纖維を混入し、下等紙は碎木原紙料に

出 額	價 額
8擔	7,388,690圓
4	6,074,588
9	6,031,881
2	6,960,831
0	8,859,742
7	8,224,665
8	7,964,852
4	12,938,228
7	13,073,674
4	14,954,275

輸出額	價 額
731擔	10,052千圓
138	1,421
051	1,053
953	394
557	7

◎外國競争者

中井商店は支那方面へ輸出す

アートペーパーは英、獨及米國産品、其他の一般印刷料紙は英、獨、スエーデン、ノルウェー等の産品が競争者である。

元泰商行 (臺灣)
 源和商會 (〃)
 泉徳商會 (〃)
 株式會社共三組 (神戸)
 土岐次郎 (沖繩)
 紙撚にセルロイド塗料を施せる
 「東洋バナマ」生産者次の如し。
 日本夏帽株式會社 (東京)
 太陽製帽株式會社 (〃)
 合資會社ミカド商會 (神戸)
 合資會社平和商會 (兵庫)

一六七、印刷用紙

印刷用紙は優等紙より下等紙に至るまで品質に數等の差あり、其の種類も亦頗る多し、その製法及材料も等級及種類に依つて夫々異つてゐるが、大體に於て上等紙は亞硫酸法及曹達法の木原紙料に襤褸、藁等の纖維を混入し、下等紙は碎木原紙料に亞硫酸法木原紙料を少量加へて抄造す。

◎主要生産者

- 王子製紙株式會社 (東京)
- 富士製紙株式會社 (〃)
- 三菱製紙株式會社 (〃)
- 樺太工業株式會社 (〃)
- 北越製紙株式會社 (長岡)
- 日本紙業株式會社 (東京)
- 日本加工製紙株式會社 (大阪)
- 乾製紙株式會社 (〃)
- 株式會社西野製紙所 (福井)

◎主要輸出者

- 三井物産株式會社 (東京)
- 富士製紙株式會社 (〃)
- 株式會社中井商店 (〃)
- (三井物産株式會社は樺太工業の製品を一手に販賣し、富士製紙及

	國 産 額		輸 出 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	317,992,353封度	33,253,473圓	325,118擔	7,388,690圓
11	355,206,387	38,370,138	339,314	6,074,588
12	576,092,795	71,179,387	347,449	6,031,881
13	630,348,759	72,084,476	418,222	6,960,831
14	775,978,361	97,217,701	491,570	8,859,742
昭和1	808,140,393	98,621,144	443,987	8,224,665
2	765,654,101	86,699,014	478,778	7,964,852
3	782,752,509	90,171,967	827,964	12,938,228
4	865,459,287	91,566,219	865,077	13,073,674
5	946,513,299	89,966,543	1,096,624	14,954,275

	國 産	
	數量	價 額
大正10	65,715打	1,1
11	102,142	1,2
12	32,507	5
13	59,300	9
14	81,845	1,2
昭和1	139,950	2,0
2	77,239	1,0
3	109,955	1,4
4	174,721	2,3
5	184,569	2,3

(内地のみの産額にして臺灣その)

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
北海道	317,191,188封度	26,904,240圓
東京	172,408,757	24,531,638
富山	28,911,667	3,469,400
静岡	53,286,815	6,574,451
大阪	27,988,482	4,464,587
兵庫	19,401,596	2,751,214
福岡	36,597,000	5,489,550
熊本	58,201,640	6,652,481

主要國別輸出額

國 名	數量	價 額
支 那	647,731擔	10,052千圓
關 東 州	89,138	1,421
香 港	70,051	1,053
露領アジア	19,953	394
暹 羅	557	7

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
東京	29,315打	52
静岡	806	7
大阪	4,700	6
兵庫	23,623	27
岡山	19,487	23
廣島	6,890	9
沖繩	86,185	1,0

低廉にして供給豊富なる事。

◎外國品と國産品の優劣

概して國産品が優良である。

◎輸出増進の主要處置

生産を調節し濫賣をなさざる事、海外の流行に留意する事、臺灣人を内地に聘して製法を改善する事等が急務である。

中井商店は支那方面へ輸出す)

◎外國競争者

アートペーパーは英、獨及米國産品、其他の一般印刷料紙は英、獨、スエーデン、ノルウェー等の産品が競争者である。

◎輸出の主要原因

印刷料紙は内地需要を充すに足らずして巨額の輸入を見つゝある。然るに支那方面其他へ輸出されるは爲替關係、相場の變動等特殊の事情に基くものである。

◎外國品と國産品の優劣

普通印刷用紙に於ては外國品に比して殆んど遜色なく、且つその生産額も多くして自給自足し得る状態に在る。高級品に至つては未だ幾分外國品に劣る。

◎國産振興の主要處置

品質を改善して上等印刷用紙に至るまで完全に輸入を防遏し、然る後生産費の低下に努めて海外輸出に轉ずべく、政府の保護獎勵を要す。

一六八、煙草用紙

煙草用紙即ちライスペーパーは卷煙草の巻紙に使用するものにして、無臭無毒且つ中味の煙草と同じ程度に燻焼し、燻焼後の灰分白色にして少量なるものが上等品である。最優等の薄葉紙を以て製し、その原料としては良質の麻、亞麻及木綿襪襦等を用ひるが、下等品には木纖維原料及び藁原料を混用す。燻焼性を附するため炭酸マグネシアを加へて抄造するは本品の特徴にして、抄造後型付機に依つて漉入模様の線を附するものと、然らざるものとがある。

◎主要生産者

王子製紙株式会社 (東京)
三島製紙株式会社 (静岡)

◎主要輸出者

王子製紙株式会社 (東京)
東洋葉煙草株式会社 ()
東亞煙草株式会社 ()

◎外國競争者

本品の輸出仕向地は支那及南洋方面にして、該地方に於ける有力なる競争者は英國産品、佛國産品、伊太

年次	國 産 額		輸 出 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—	—	23,981擔	1,812,893圓
11	—	—	26,935	2,529,704
12	17,916,734封度	4,763,746圓	28,140	2,542,896
13	34,137,337	3,920,059	22,231	2,035,436
14	5,543,780	395,665	47,962	2,103,908
昭和1	14,604,701	5,224,314	22,037	1,647,882
2	16,254,774	5,186,125	21,675	1,481,688
3	16,295,811	4,192,205	28,421	2,191,019
4	16,989,264	4,212,356	43,130	3,412,885
5	17,258,456	4,156,324	19,396	14,954,275

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
千 葉	2,035,731封度	265,000圓
靜 岡	2,515,574	793,441
大 阪	2,240,506	1,613,164
兵 庫	9,504,000	1,520,600

主要國別輸出額

國 名	數量	價 額
支 那	20,032擔	1,673千圓
關 東 州	1,842	157
香 港	1,246	84
海峽殖民地	519	31
比律賓諸島	4,423	220
暹 羅	203	10

利産品及オーストラリア産品等である。

◎輸出の主要原因

本品の國內に於ける生産は國內需要を充して尙ほ過剰多きため、當業者は過剰處分方法として海外販路の開拓に努めた。その結果支那、南洋等本邦より比較的距離に在り、運賃その他の關係上有利なる地方に輸出を見るに至つた。

◎外國品と國産品の優劣

世界各國の製品中に於て、佛及奧太利品は從來最優良のものとして定評があつたが、數年來英國品は品質優良且つ廉價なる點に於て兩國品を凌駕し、世界隨一の觀がある。國産品は品質に於て是等諸國品に劣らず英國品と競争しつゝあるが、價格は英國品より稍々高價なるため輸出額は同地方に於ける需要額の一割に過ぎざる状態である。

◎輸出増進の主要處置

品質の改良と生産費の低減が急務と見做されてゐる。

一六九、雁皮紙及薄葉紙

雁皮紙及薄葉紙は共に瑞香料に屬する灌木雁皮を原料として抄造せるものにして、その質強靱、且つ光澤あり。雁皮紙は一號判、二號判、並判等の種類ありて、主要生産地は高知縣である。薄葉紙は多く複寫用に

出 額	價 額
444,227圓	
452,121	
659,078	
882,769	
717,557	
446,946	
499,166	
768,307	
741,681	
551,320	

輸出額

量	價 額
40擔	57千圓
42	14
00	19
92	145
26	38
13	368
53	21

- 上瀧貿易株式会社 (横濱)
- 合名會社松井商店 (岐阜)
- 兩洋商會 (大阪)
- 丸三合名會社 ()
- 株式會社岩井商店 ()
- 島貿易株式会社 ()

◎主要輸出者

王子製紙株式会社 (東京)
 東洋葉煙草株式会社 (〃)
 東亞煙草株式会社 (〃)

◎外國競争者

本品の輸出仕向地は支那及南洋方面にして、該地方に於ける有力なる競争者は英國産品、佛國産品、伊太

一六九、雁皮紙及薄葉紙

雁皮紙及薄葉紙は共に瑞香料に屬する灌木雁皮を原料として抄造せるものにして、その質強靱、且つ光澤あり。雁皮紙は一號判、二號判、並判等の種類ありて、主要生産地は高知縣である。薄葉紙は多く複寫用に供せらる。

◎主要生産者

本品には手漉と機械漉との二種ありて、高知縣及岐阜縣下の生産者は概ね手漉に依り、従つてその規模大なるものなく特掲すべきものがない機械漉の主要生産者は次の如し。

日本紙業株式会社 (東京)
 吉永製紙株式会社 (静岡)
 又模造紙及チツシュペーパーの生産者は次の諸社である。
 富士製紙株式会社 (東京)
 王子製紙株式会社 (〃)
 樺太工業株式会社 (〃)
 三菱製紙株式会社 (〃)

◎主要輸出者

三井物産株式会社 (東京)
 日本紙業株式会社 (〃)
 株式会社中井商店 (〃)

	國 産 額		輸 出 額	
	數 量	價 額	數 量	價 額
大正10	—	1,602,679圓	3,309擔	444,227圓
11	—	1,649,783	3,672	452,121
12	—	1,909,556	5,882	659,078
13	—	2,241,960	7,056	882,769
14	—	2,665,826	6,295	717,557
昭和 1	—	2,459,612	4,122	446,946
2	—	2,553,296	4,502	499,166
3	—	2,469,372	6,703	768,307
4	—	2,689,243	6,209	741,681
5	—	2,355,227	5,369	551,320

國 産

	數 量	價 額
大正10	—	—
11	—	—
12	17,916,734封度	4,...
13	34,137,337	3,...
14	5,543,780	—
昭和 1	14,604,701	5,...
2	16,254,774	5,...
3	16,295,811	4,...
4	16,989,264	4,...
5	17,258,456	4,...

主要府縣別生産額

縣 名	數 量	價 額
東 京	—	87,369圓
大 阪	—	96,845
岐 阜	—	156,218
高 知	—	149,836
靜 岡	—	45,662
愛 知	—	65,863

主要國別輸出額

國 名	數 量	價 額
支 那	740擔	57千圓
香 港	342	14
蘭 領 印 度	300	19
英 吉 利	1,092	145
獨 逸	226	38
北 米	2,813	368
伯 刺 西 爾	153	21

主要府縣別生産額

縣 名	數 量	價 額
千 葉	2,035,731封度	20,...
靜 岡	2,515,574	79,...
大 阪	2,240,506	1,61,...
兵 庫	9,504,000	1,52,...

◎外國競争者

上瀧貿易株式会社 (横濱)
 合名會社松井商店 (岐阜)
 兩洋商會 (大阪)
 丸三合名會社 (〃)
 株式會社岩井商店 (〃)
 島貿易株式会社 (〃)

◎輸出の主要原因

本邦の特産品にして、價格も比較的低廉なる事がその主因である。

◎外國品と國産品の優劣

雁皮紙及薄葉紙は比較すべきものなく、模造紙及チツシュペーパーは概して外國品が優良である。

◎國産振興の主要處置

原料の不足を告げつゝあるを以てその増産を圖る事が急務である。

凌駕し、世界隨一の觀がある。國産品は品質に於て是等諸國品に劣らず英國品と競争しつゝあるが、價格は英國品より稍々高價なるため輸出額は同地方に於ける需要額の一割に過ぎざる状態である。

◎輸出増進の主要處置
 品質の改良と生産費の低減が急務と見做されてゐる。

一七〇、吉野紙及典具帖

吉野紙は奈良縣吉野郡地方の原産なるが故に此の名稱がある。色白く極く薄くして軟かである。典具帖は美濃國武儀郡地方に主として産する楮紙の一種にして、色白く、極く薄くして強靱である。本品は共に内地に於ては主として漆を漉す紙として用ひられ、外國に於ては貴金屬、寶石類の包紙として用ひらる。兩者共に百枚を一束、六束を一切、五切を一本として取引さる。

◎主要生産者

日本紙業株式會社 (東京)

本品は奈良、岐阜及高知の三縣が主要産地であるが、其の大部分は家内工業にして工場の規模大なるものが尠く。

◎主要輸出者

日本紙業株式會社 (東京)
合名會社松井商店 (岐阜)

◎外國競争者

本品は我が國の特産品にして外國には是れと類似のものがなく、従つて競争者絶無である。

輸 出 額		國 産 額	
價 額	數 量	價 額	數 量
187,874圓	589擔	565,374圓	—
288,253	887	512,695	—
283,526	1,233	763,382	—
468,380	1,715	829,932	—
384,006	1,933	1,070,760	—
513,827	1,881	1,215,342	—
488,267	1,857	1,368,299	—
464,608	1,871	1,401,234	—
633,331	2,142	1,322,296	—
1,610,904	12,958	1,214,368	—

主要府縣別生産額

縣 名	數 量	價 額
奈 良	—	156,783圓
岐 阜	—	186,514
高 知	—	146,296
東 京	—	23,146
大 阪	—	11,295

主要國別輸出額

國 名	數 量	價 額
英 吉 利	730擔	188千圓
佛 蘭 西	116	28
獨 逸	36	15
和 蘭	38	10
北 米	670	145
白 刺 西 爾	229	66

◎外國品と國産品の優劣

本邦の特産物なるが故に優劣を比較すべき對象物が無い。

◎輸出の主要原因

本邦の特産物にしてその用途廣く且つ比較的低廉なるが故である。

◎國産振興の主要處置

本品は國內に於ける需要も逐年増加し、且つ海外輸出も相當有望なるに拘はらず、原料の植付反別は増加せず従つて原料不足を告ぐる場合が少くない。故に政府に於て原料栽培を奨励して安價に且つ豊富に供給し得る様にする事が急務である。

◎輸出増進の主要處置

海外に於ては競争品なく、獨特の販路を有するを以て、價格の低下に努めれば需要は益々増加の見込みがある。故に原料増植、生産方法の機械化等適當の施設を講じて生産費の低減に努め、又販路の如きも新方面の開拓に意を用ひ實物宣傳を爲すことが必要である。

一七一、鳥ノ子紙

鳥ノ子紙は楮皮と雁皮を原料として製したるものにして、白色のものもあるが大部分は卵色であるために此の名がある。強靱にして光澤あり封筒、書翰紙、辭令紙、免狀等に用ひらる。輸出向のものは紙面の大小

出 額	價 額
1,164,381圓	—
905,814	—
789,587	—
758,658	—
803,183	—
1,022,832	—
1,252,818	—
1,279,376	—
998,369	—
1,328,671	—

出 額	價 額
6擔	751千圓
5	285
0	43
5	11
1	83
6	5
6	78

◎輸出の主要原因

く、従つて本品の輸出を脅すが如き競争者はない。

本邦の特産品にして紙質の強靱なること諸他の紙類の遠く及ばざる所

◎主要輸出者
日本紙業株式會社 (東京)
合名會社松井商店 (岐阜)

◎外國競爭者
本品は我が國の特産品にして外國には是れと類似のものがなく、従つて競爭者絶無である。

國 産
數 量

大正10	—
11	—
12	—
13	—
14	—
昭和1	—
2	—
3	—
4	—
5	—

◎輸出増進の主要處置

海外に於ては競爭品なく、獨特の販路を有するを以て、價格の低下に努めれば需要は益々増加の見込みがある。故に原料増植、生産方法の機械化等適當の施設を講じて生産費の低減に努め、又販路の如きも新方面の開拓に意を用ひ實物宣傳を爲すことが必要である。

一七一、鳥ノ子紙

鳥ノ子紙は楮皮と雁皮を原料として製したるものにして、白色のものもあるが大部分は卵色であるために此の名がある。強靱にして光澤あり封筒、書翰紙、辭令紙、免狀等に用ひらる。輸已向のものは紙面の大小に依つてC、D、E、F、Gの五種に區別され、一連の重量は三十封度乃至三十六封度である。

◎主要生産者

本品は越前國丹生郡及敦賀地方が主産地であるが、概ね家内工業にして大規模工場に乏しい。

株式會社三立製紙場 (静岡)
西野製紙場 (福井)

◎主要輸出者

株式會社三立製紙場 (静岡)
西野製紙場 (福井)

本品は大生産者が直接輸出するもの多く、又一部は神戸、大阪等の雜貨輸出業者に依つて取扱はる。

◎外國競爭者

本品は我が國の特産物にして、外國には是れと類似せるもの殆んどな

輸 出 額
數 量 價 額

大正10	—	1,769,379圓	23,850擔	1,164,381圓
11	—	1,595,375	23,362	905,814
12	—	1,362,350	29,797	789,587
13	—	1,372,125	20,900	758,658
14	—	1,380,265	23,320	803,183
昭和1	—	1,653,293	35,635	1,022,832
2	—	1,986,514	39,888	1,252,818
3	—	1,865,215	49,166	1,279,376
4	—	1,687,794	47,294	998,369
5	—	1,543,211	77,476	1,328,671

◎輸出の主要原因

く、従つて本品の輸出を脅すが如き競爭者はない。

本邦の特産品にして紙質の強靱なること諸他の紙類の遠く及ばざる所である。従つて本品獨特の用途あり而も價格は比較的低廉なるが爲め、各國に於て歓迎されてゐる。

◎外國品と國産品の優劣

本品と同様のものは他になく、従つて優劣を比較すべき適當なるものがないが、紙質の強靱なることは本品の特徴にして、他の類似品の及ばざる所である。

◎國産振振の主要處置

本品の製造方法は概ね舊來傳統の方法に依り、機械力を應用すること少く科學的に進歩の跡見るべきものが殆んどない。故にその生産額の激増、生産能率の向上に依る生産費の低廉を期し難き觀あるを以て、當業者は先づ此の點に改善を加ふると共に、その強靱なる特質を利用すべき新用途の研究が肝要である。

◎國産振振の主要處置

主要府縣別生産額

縣 名	數 量	價 額
福 井	—	465,433圓
靜 岡	—	47,564
東 京	—	65,296
大 阪	—	18,965
兵 庫	—	27,544
愛 知	—	46,519

主要國別輸出額

國 名	數 量	價 額
支 那	32,386擔	751千圓
關 東 州	12,645	285
香 港	1,940	43
暹 羅	545	11
佛 蘭 西	401	83
伊 太 利	166	5
北 米	416	78

主要府縣別生産額

縣 名	數 量
奈 良	—
岐 阜	—
高 知	—
東 京	—
大 阪	—

一七二、連史紙

連史紙は元來支那の特産品にして機械製抄紙の一種である。國產連史紙は主として支那の需要に充つるため、支那連史紙を模倣して製したるものであるが、現在に於ては支那製よりも品質優良にして廉價なるため盛んに輸出されるに至つた。品種及寸法は各製造所に依つて多少異つてゐるが、普通一枚の大きさは幅二十五吋、長さ四十四吋、又は幅二十五吋、長さ五十三吋である。九十六枚を以て一刀とし、十五刀を以て賣買單位とし其の重量は六十五封度内外が普通である。支那に於ては印刷用包装袋或は壁張用等に本品を使用す

◎主要生産者

富士製紙株式会社 (東京)
中央製紙株式会社 (岐阜)

◎主要輸出者

富士製紙株式会社 (東京)
中央製紙株式会社 (岐阜)
三井物産株式会社 (東京)
株式會社岩井商店 (大阪)

◎外國競争者

一七三、板紙

板紙にはミルポールド、カウチポールド、ペーストポールドの三種あり、ミルポールドは抄紙法に依つて抄造したるもの、カウチポールドは抄造して濕れる紙を合せ強壓したるもの、ペーストポールドは抄造した

出 額	價 額
1,545,677圓	
975,951	
1,281,363	
800,258	
1,855,993	
1,399,031	
1,786,945	
2,661,668	
2,797,329	
2,892,873	

	國 産 額		輸 出 額	
	數 量	價 額	數 量	價 額
大正10	4,666,750封度	641,479圓	898,740斤	844,339圓
11	4,041,390	520,565	490,593	414,615
12	28,413,978	3,415,261	869,785	642,806
13	4,841,000	573,494	859,492	610,827
14	4,554,298	704,763	1,482,289	1,218,908
昭和1	5,478,782	723,416	1,667,758△	1,409,326
2	12,148,874	1,457,927	1,488,029△	1,055,735
3	5,729,254	687,511	3,378,206	566,756
4	7,856,412	798,563	2,314,178	403,599
5	6,965,753	732,149	13,156擔	193,823

(△印は九十六枚包)

出額	價 額
3擔	1,291千圓
0	373
7	273
4	75
1	506
6	88
8	28

主要府縣別生産額

縣 名	數 量	價 額
東 京	1,214,729封度	145,768圓
靜 岡	4,514,525	541,743
岐 阜	765,342	94,216

主要國別輸出額

國 名	數 量	價 額
支 那	17,532擔	279千圓
關 東 州	14,983	261
香 港	1,016	21
露領アジア	180	3

連史紙は生産消費共に支那獨特のものであつたが、獨逸は夙に本品の模造に着手し明治三十年頃まで殆んど一手に支那各地へ輸出しつゝあつた。然るに明治三十年前後に於ける歐米の紙價暴騰のため獨逸の輸出は困難となり、支那に於ては本品の供給難を告ぐるに至つた。茲に於て本邦製紙家は本品の製造に着手し、明治三十二年頃より輸出を開始した。其の結果は豫想外に良好にして逐年輸出額増加し現在に於ては殆んど國産品の獨り舞臺となり競争者を見ざる状態となつた。

◎輸出の主要原因

國産品は支那製よりも概して價格低廉なるが爲めである。

◎外國品と國産品の優劣

支那内地品及び獨逸其他の産品に比し、國産品は品質優良である。

◎輸出増進の主要處置

常に價格の騰貴を抑制し、生産費の低減に努める事が肝要である。

◎主要輸出者

三井物産株式会社 (東京)
米國貿易株式会社 ()
富士製紙株式会社 ()
王子製紙株式会社 ()

- ◎主要輸出者
- 富士製紙株式會社 (東京)
 - 中央製紙株式會社 (岐阜)
 - 三井物産株式會社 (東京)
 - 株式會社岩井商店 (大阪)
- ◎外國競爭者

一七三、板

板紙にはミルポールド、カウチポールド、ペーストポールドの三種あり、ミルポールドは抄紙法に依つて抄造したるもの、カウチポールドは抄造して濕れる紙を合せ強壓したるもの、ペーストポールドは抄造したる紙を貼合したるものである。此の他ミルポールドとカウチポールドとを貼合したるものをカイドポールドと稱す。漂白したる碎木原紙料を原料とせる白色優等品は名刺、歌留多繪葉書、寫真臺紙等に用ひられ、褐色木原紙料、紙屑、麻等を原料とせる普通品、及び藁、麥稈等を原料とせる所謂馬糞紙等は書籍表紙の蕊紙函、包装用等に用ひらる。大きさは普通幅二十三吋長さ三十吋、幅二十五吋長さ三十七吋、幅二十七吋長さ三十七吋等である。

- ◎主要生産者
- 富士製紙株式會社 (東京)
 - 王子製紙株式會社 (〃)
 - 西成製紙株式會社 (大阪)
 - 大正製紙株式會社 (〃)
 - 北越製紙株式會社 (長岡)
 - 岡山製紙株式會社 (岡山)

國産	
數量	價額
大正10	4,666,750封度
11	4,041,390
12	28,413,978
13	4,841,000
14	4,554,298
昭和1	5,478,782
2	12,148,874
3	5,729,254
4	7,856,412
5	6,965,753

國産		輸出額	
數量	價額	數量	價額
大正10	105,012,244封度	159,139擔	1,545,677圓
11	198,017,856	97,356	975,951
12	148,484,180	114,428	1,281,363
13	226,534,973	77,225	800,258
14	242,826,296	159,339	1,855,993
昭和1	253,443,352	122,959	1,399,031
2	249,499,534	177,987	1,786,945
3	294,216,319	234,594	2,661,668
4	305,686,395	274,365	2,797,329
5	312,488,965	323,609	2,892,873

紙

主要府縣別生産額

縣名	數量
東京	1,214,729封度
静岡	4,514,525
岐阜	765,342

主要國別輸出額

國名	數量	價額
支那	79,798擔	1,291千圓
關東州	29,650	373
香港	33,097	273
海峽殖民地	7,514	75
英領印度	68,011	506
比律賓諸島	10,286	88
暹羅	3,668	28

主要府縣別生産額

縣名	數量	價額
東京	40,991,474封度	2,198,790圓
新潟	28,817,600	1,543,800
富山	34,876,320	1,686,853
静岡	34,523,503	3,678,234
滋賀	6,680,000	650,000
岡山	37,204,200	1,682,395
廣島	13,415,250	612,353
佐賀	22,731,520	849,244

◎外國品と國産品の優劣
支那内地品及び獨逸其他の産品に比し、國産品は品質優良である。

◎輸出増進の主要處置
常に價格の騰貴を抑制し、生産費の低減に努める事が肝要である。

◎主要輸出者

- 三井物産株式會社 (東京)
- 米國貿易株式會社 (〃)
- 富士製紙株式會社 (〃)
- 王子製紙株式會社 (〃)
- 西成製紙株式會社 (大阪)
- 大正製紙株式會社 (〃)
- 株式會社岩井商店 (〃)
- 島貿易株式會社 (〃)

◎外國競爭者

スエーデン、ノルウエー、獨逸、及び和蘭産品。

◎輸出の主要原因

優等品は海外より輸入し、下等品は價格低廉なるため輸出さる。

◎外國品と國産品の優劣

普通品は品質上外國品と大差はないが、高級品及び黄ボールは外國品が優良である。

◎輸出増進の主要處置

品質の向上を圖り、生産額の増加を圖ることが急務である。

一七四、半紙及美濃紙

半紙は本邦古來の特産品にして、筑後國柳川産は最優良品として好評を博してゐるが、其他各府縣に生産し各産地の名を冠して岩國半紙、土佐半紙、石州半紙、木の川半紙、大洲半紙、高松半紙、駿河半紙等がある。又是等を普通半紙及び改良半紙の二種に大別す。

美濃紙は美濃國武儀郡が原産地であるため此の名があるが、現今に於ては土佐、駿河、因州、信州、磐城等の諸國に産す。美濃産には大美濃及び本場美濃の二種あり、兩者とも品質に於て依然他國産に優る。

◎主要生産者

三菱製紙高砂工場 (兵庫)
半紙及美濃紙の製造は概ね古來の製法を繼承し、家内工業の範疇を出でざるもの多きため、特掲すべき大生産者が無い。之を生産地別に見れば半紙は高知、兵庫、愛媛、静岡の諸縣、美濃紙は高知、愛媛、茨城、岐阜の諸縣が主産地にして、改良半紙は愛媛、静岡二縣、普通半紙は高知縣が主産地である。岐阜縣の美濃紙は品質随一であるが産額は高知、

一七五、包装用紙

包装用紙はマニラ麻、黄麻等の纖維、又は亞硫酸法木原紙料を以て抄造し、使用の目的に依つて其の種類多く品質、色相、大きさ等を異にする下等品は紙屑、原料屑、襪の塵屑等を原料とし、多くは青色、灰色等

出 額	價 額
擔	1,114,025圓
	1,400,258
	1,059,972
	909,496
	1,138,910
	1,182,761
	930,577
	1,284,155
	883,029
	638,867

	國 産 額		輸 出 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	4,482,111締	24,205,399圓	5,937擔	399,895圓
11	4,427,410	21,772,985	4,906	375,952
12	4,016,513	17,848,687	4,639	307,891
13	4,882,024	18,802,767	8,901	510,266
14	4,874,897	17,802,938	6,721	442,196
昭和 1	5,165,298	18,516,129	6,123	392,209
2	6,921,468	20,544,321	4,830	271,757
3	6,225,196	19,563,219	20,428	1,341,129
4	6,324,346	18,956,547	13,007	1,009,895
5	6,443,759	18,432,459	5,715擔	494,752

輸出額	價 額
量	872千圓
17擔	209
95	94
48	58
97	7
301	8
94	13
207	

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
高 知	445,219締	2,325,298圓
岐 阜	765,245	4,002,514
島 根	125,363	801,577
長 野	46,516	923,541
宮 城	96,382	65,724
東 京	185,297	123,765
愛 知	173,215	101,459
兵 庫	98,324	68,165

主要國別輸出額

國 名	數量	價 額
支 那	1,580擔	92千圓
關 東 州	6,820	392
香 港	1,230	601
比律賓諸島	289	14
英 吉 利	1,499	129
獨 逸	1,801	136
北 米	6,629	468

愛媛等に及ばない。

◎主要輸出者

三菱製紙株式會社
大部分神戸、横濱等の貿易業者に依つて輸出される。

◎外國競争者

半紙及美濃紙の生産のものは本邦の特産品にして、外國競争者と認むべきものはないが、近來和紙生産者も漸次機械漉に轉じつゝあるため、生産の生産額及輸出額は次第に機械漉に蠶食せられて不振である。

◎輸出の主要原因

主として海外在留邦人の需要に依つて輸出さる。

◎輸出増進の主要處置

在外邦人の需要に基き而もその需要は漸減しつゝあるを以て、輸出の増進は困難であるが、品質を改善し價格の低下に努めれば現状維持は必ずしも至難ではない。

◎輸出の主要原因

フィンランド、加奈陀、及び英國等の産品は何れも國産品の輸出先に於ける有力競争者である。

輸出の主要仕向地たる支那に對し歐米諸國より遙かに近距離に在るた

製法を繼承し、家内工業の範疇を出でざるもの多きため、特掲すべき大生産者が無い。之を生産地別に見れば半紙は高知、兵庫、愛媛、静岡の諸縣、美濃紙は高知、愛媛、茨城、岐阜の諸縣が主産地にして、改良半紙は愛媛、静岡二縣、普通半紙は高知縣が主産地である。岐阜縣の美濃紙は品質隨一であるが産額は高知、

一七五、包装用紙

包装用紙はマニラ麻、黄麻等の纖維、又は亞硫酸法木原紙料を以て抄造し、使用の目的に依つて其の種類多く品質、色相、大きさ等を異にする下等品は紙屑、原料屑、襤褸の塵屑等を原料とし、多くは青色、灰色等に着色す。上等品は概ね褐色なるが故に褐色紙と呼び、又その原料に因んでマニラ紙とも稱せられ質頗る強靱である。

◎主要生産者

- 富士製紙株式会社 (東京)
- 王子製紙株式会社 (シ)
- 樺太工業株式会社 (シ)
- 中央製紙株式会社 (岐阜)
- 中國製紙株式会社 (廣島)

◎主要輸出者

- 富士製紙株式会社 (東京)
- 王子製紙株式会社 (シ)
- 三井物産株式会社 (シ)
- 中央製紙株式会社 (岐阜)
- 中國製紙株式会社 (廣島)

◎外國競争者

スエーデン、ノルウエー、獨逸、

	國 産 額		輸 出 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	15,802,133封度	2,046,158圓	35,407擔	1,114,025圓
11	29,480,444	2,582,837	66,624	1,400,258
12	77,763,652	10,899,263	49,617	1,059,972
13	39,347,662	3,600,803	43,422	909,496
14	21,872,971	2,513,818	34,906	1,138,910
昭和 1	27,885,085	2,846,394	49,766	1,182,761
2	45,853,155	5,068,141	45,368	930,577
3	39,029,035	4,007,070	64,260	1,284,155
4	41,256,324	4,124,543	47,933	883,029
5	42,566,514	4,025,779	38,295	638,867

	國 産 量	
	數量	價 額
大正10	4,482,111締	
11	4,427,410	
12	4,016,513	
13	4,882,024	
14	4,874,897	
昭和 1	5,165,298	
2	6,921,468	
3	6,225,196	
4	6,324,346	
5	6,443,759	

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
北海道	10,993,644封度	979,336圓
東 京	860,393	98,946
岐 阜	1,568,700	75,072
靜 岡	8,366,160	874,138
大 阪	1,942,513	159,785
兵 庫	2,226,165	229,497
熊 本	11,045,132	1,412,278

主要國別輸出額

國 名	數量	價 額
支 那	44,917擔	872千圓
關 東 州	10,595	209
香 港	4,848	94
英領印度	2,597	58
蘭領印度	301	7
露領アジア	194	8
北 米	207	13

主要府縣別生産額

縣 名	數量
高 知	445,219締
岐 阜	765,245
島 根	125,363
長 野	46,516
宮 城	96,382
東 京	185,297
愛 知	173,215
兵 庫	98,324

◎輸出増進の主要處置

在外邦人の需要に基き而もその需要は漸減しつつあるを以て、輸出の増進は困難であるが、品質を改善し價格の低下に努めれば現状維持は必ずしも至難ではない。

フィンランド、加奈陀、及び英國等の產品は何れも國產品の輸出先に於ける有力競争者である。

◎輸出の主要原因

輸出の主要仕向地たる支那に對し歐米諸國より遙かに近距離に在るため、運賃安く、従つて價格も外國競争品に比して比較的低廉なる場合は輸出さる。

◎外國品と國產品の優劣

普通品は外國品に比して甚だしき遜色を見ざるも、クラフト紙の如きは本邦に於ては近年の生産に係るため外國品に及ばず。又本品の原料は大部分海外より輸入するため生産費高價となり、特殊の場合を除いて海外国より高價である。故に本品の輸出は爲替關係その他特殊なる事情ある場合に限られ、常時輸出されるものではない。

◎輸出増進の主要處置

品質の向上と價格の低下は急務であるが、當業者が一致團結して確乎たる地盤を築く必要がある。

一七六、塵紙

塵紙は各種紙類中最も下等品にして、反古、古新聞、下等紙の截屑等の廢物を漉返して製す。本品の製造は比較的簡易なるため殆んど全國各地に於て製造され、支那、南洋方面に輸出さる。

◎主要生産者

- 日本紙業株式會社 (東京)
- 堀内製紙所 (〃)
- 永川下工場 (〃)
- 東製紙株式會社 (〃)
- 二光社 (〃)
- 吉濱製紙工場 (神奈川)
- 福山製紙所 (福山)
- 關製紙工場 (高知)
- 下野製紙株式會社 (栃木)
- 六信舎 (静岡)
- 丸八製紙會社 (〃)
- 堀野製紙所 (〃)
- 丸共製紙所 (〃)
- ◎主要輸出者
- 日本紙業株式會社 (東京)
- 福山製紙所 (福山)
- 關製紙工場 (高知)
- 吉濱製紙工場 (神奈川)

年次	國 産 額		輸 出 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—	7,727,976圓	6,503擔	388,838圓
11	—	5,351,368	7,044	344,007
12	—	5,473,588	7,245	380,335
13	—	7,150,203	7,191	319,536
14	—	5,648,417	6,412	359,095
昭和 1	—	6,568,912	10,055	421,919
2	—	6,856,257	11,293	453,767
3	—	6,354,129	17,731	483,982
4	—	5,896,929	11,125	415,725
5	—	5,686,298	11,200	354,800

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
北海道	—	277,285圓
東 京	—	654,298
神奈川	—	34,569
靜 岡	—	583,219
岐 阜	—	278,965
奈 良	—	614,598
福 岡	—	653,298
高 知	—	259,364

主要國別輸出額

國 名	數量	價 額
支 那	1,762擔	75千圓
關 東 州	10,764	372
香 港	107	6
蘭 領 印 度	140	6
布 哇	179	6

◎外國競争者

本品は在外邦人の需要に依つて輸出されるものであるが、輸出仕向地は支那及關東州、布哇等にして外國競争者は絶無である。

◎輸出の主要原因

専ら在外邦人の需要に因る。近來支那人の本品を使用する者漸次増加せるため、需要漸増の傾向であるが現今に於ては猶ほ未だ微々たるものである。

◎外國品と國産品の優劣

本品の類似品なく、又輸出先に於ける競争者なきを以て優劣を比較すべきものなし。

◎國産振興の主要處置

生産設備を擴張し大量生産をなし、生産費の低下を期して待つべし。

◎輸出増進の主要處置

廉價主義を發揮し支那人の需要を喚起する事が良策である。

一七七、帳簿及手帳

帳簿には白紙製と罫紙製の二種あり、又日本紙製と洋紙製の兩種がある。洋紙製には表装に厚紙、布帛、又は革を用ひたるものありて、學生用、銀行會社及商店用計算簿、記録簿等が主たるものである。

出 額	價 額
443,065圓	
383,653	
325,352	
335,620	
375,911	
438,056	
452,538	
426,891	
428,080	
298,550	

輸出額

量	價 額
71斤	81千圓
75	187
97	8
33	33
63	42
33	8
09	18

◎外國競争者

或る特殊なるものに對しては米國産品の競争があるが、一般帳簿類に對しては競争者が少い。

◎輸出の主要原因

一七七、帳簿及手帳

帳簿には白紙製と野紙製の二種あり、又日本紙製と洋紙製の兩種がある。洋紙製には表装に厚紙、布帛、又は革を用ひたるものありて、學生用、銀行會社及商店用計算簿、記録簿等が主たるものである。

◎主要生産者

- 伊東屋 (東京)
- 文祥堂 (大阪)
- 中屋印刷所 (大阪)
- 一色活版所 (大阪)
- 東京製本合資會社 (東京)
- 伊勢吉商店 (横濱)
- 文壽堂 (横濱)
- 中村洋手帳製造所 (大阪)
- 谷口印刷株式會社 (大阪)
- 日本手帳製造株式會社 (大阪)

◎主要輸出者

- 中村洋手帳製造所 (大阪)
- 谷口印刷株式會社 (大阪)
- 日本手帳製造株式會社 (大阪)
- 文壽堂 (横濱)
- 東京製本合資會社 (東京)
- 伊東屋 (東京)
- 一色活版所 (大阪)

	國 産 額		輸 出 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—	—	—	443,065圓
11	—	—	—	383,653
12	16,543,481封度	3,649,948圓	—	325,352
13	1,181,262	240,017	—	335,620
14	22,178,578	4,074,987	—	375,911
昭和 1	8,692,125	1,738,513	—	438,056
2	8,762,143	1,504,981	—	452,538
3	9,547,968	1,411,214	635,424斤	426,891
4	9,866,297	1,435,296	671,958	428,080
5	9,921,295	1,495,487	477,857	298,550

(筆記用紙及圖畫用紙の産額)

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
千 葉	1,794,583封度	251,200圓
大 阪	1,114,405	163,714
兵 庫	6,634,000	995,100

主要國別輸出額

國 名	數量	價 額
支 那	1,171斤	81千圓
關 東 州	3,075	187
香 港	97	8
海峽殖民地	533	33
蘭領印度	663	42
比律賓諸島	133	8
亞爾然丁	109	18

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
北海道	—	2
東 京	—	6
神奈川	—	—
靜 岡	—	5
岐 阜	—	2
奈良	—	6
福 岡	—	6
高 知	—	2

◎國産振興の主要處置

生産設備を擴張し大量生産をなし、生産費の低下を期して待つべし。

◎輸出増進の主要處置

廉價主義を發揮し支那人の需要を喚起する事が良策である。

◎外國競争者

或る特殊なるものに對しては米國產品の競争があるが、一般帳簿類に對しては競争者が少い。

◎輸出の主要原因

本品の輸出は海外各地在住本邦商人の註文に應じて生産輸出するものにして、國産品は價格低廉なるがため輸出される。

◎外國品と國産品の優劣

一般帳簿に對しては外國品の競争なく、従つて優劣を比較すべきものがないが、ルーブリックに於ては外國品は金具の開閉、表紙の技巧その他に於て國産品よりも優秀である。従つて國産品は品質に於ては對抗し得ないが、價格は外國品に比して頗る低廉なるため、低級品として外國品とは別の販路を有してゐる。

◎輸出増進の主要處置

單に低級品のみを輸出に甘んぜず各種類を通じて一般商品としての販路開拓に努むることが必要である。

一七八、封筒

書狀等の發送に用ふる封筒は、強靱なる筆記用紙、マニラ紙、又は特に封筒用として製したる粗布を裏貼りしたるもの等を以て製し、一端に糊を塗布す。輸已向き封筒には方形のもの、長方形のもの等種々あり、その大きさ及び色相等にも亦數十種類ある。

◎主要生産者

- 吉川四郎商店 (東京)
- 東山堂 (〃)
- 東京紙工株式会社 (〃)
- 武藏野製袋株式会社 (〃)
- 合名會社村上商店 (神戸)
- 鎌田榮續堂 (大阪)

◎主要輸出者

- 東京紙工株式会社 (東京)
 - 合名會社村上商店 (神戸)
 - 鎌田榮續堂 (大阪)
 - 武藏野製袋株式会社 (東京)
- 此の外、神戸、大阪、横濱等の輸出業者の手を経て輸出されるものもあるが、多くは前記生産者が海外在住商人より注文を受けたる都度輸出するに過ぎざる状態である。従つて

輸出額		輸出額	
数量	價額	数量	價額
大正10	—	64,130千枚	173,748圓
11	—	78,394	176,291
12	—	76,780	129,696
13	—	73,885	148,065
14	—	73,028	129,797
昭和1	1,756,249圓	65,164	127,998
2	1,766,288	72,449	129,610
3	1,789,452	54,154	103,938
4	1,566,254	59,576	98,809
5	1,449,298	43,352	71,289

主要府縣別生産額

縣名	數量	價額
東京	—	346,564圓
愛知	—	124,516
大阪	—	562,533
兵庫	—	166,914
岐阜	—	96,128
岡山	—	87,254
高知	—	67,568

主要國別輸出額

國名	數量	價額
支那	12個	20千圓
關東州	37	71
海峽殖民地	2	3
暹羅	2	2

◎外國競争者

數年前までは本品は海外より輸入される額尠少でなかつたが、今や殆んど輸入品の影を留めず國內の需要の殆んど全部は國産品を以て充し得る状態である。然れども海外輸出先に於ては、米國産品、獨逸産品等が有力競争者にして國産品は絶えず壓迫を蒙りつゝある。

◎輸出の主要原因

國産品は價格比較的低廉なるが故に、在外邦商は必要に應じて本邦生産者に注文を發す。

◎外國品と國産品の優劣

一般的には大差ないが、高級品は外國製が技巧及び紙質に於て國産品よりも優秀である。價格に於ては各種共國産品が低廉である。

◎輸出増進の主要處置

一般商品として輸出増進を圖ることとは至難である。

一七九、煙草用吸口

煙草用紙製吸口は紙片を圓錐形に巻き、下端を蠟液中に軽く浸して蠟付けをなしたるものにして、バットエーアシップ等の如き兩切の巻煙草に添付す。その大きさは煙草に依つて一定せざれども、我が專賣局指定のもの長さ一寸、口の内圍三十五

出額	價額
千個	53,284圓
	93,335
	56,125
	84,355
	139,531
	152,383
	125,368
	121,334
	151,395
	96,191

輸出額

數量	價額
50個	118千圓
7	1

◎輸出の主要原因

きものがない。

本品の輸出額は微々たるものにして、輸出の主要原因としては東亞煙草株式會社その他が兩切紙巻煙草の

◎主要輸出者

東京紙工株式会社 (東京)
 合名會社村上商店 (神戸)
 鎌田榮續堂 (大阪)
 武藏野製袋株式会社 (東京)
 此の外、神戸、大阪、横濱等の輸出業者の手を経て輸出されるものもあるが、多くは前記生産者が海外在住商人より注文を受けたる都度輸出するに過ぎざる状態である。従つて

一七九、煙草用吸口

煙草用紙製吸口は紙片を圓錐形に巻き、下端を蠟液中に軽く浸して蠟付けをなしたるものにして、バットエーアシツプ等の如き兩切の巻煙草に添付す。その大きさは煙草に依つて一定せざれども、我が專賣局指定のものは長さ一寸、口の内圍三十五ミリメートルと一定されてゐる輸出向のものは專賣局指定の寸法より稍長く、各輸出先に依つて異つてゐる包装は五個宛重ねたるもの二千個をボール箱入とす。

◎主要生産者

日本紙工株式会社 (京都)
 日吉株式会社 (〃)
 日本紙管合名會社 (東京)
 豊盛社 (〃)

◎主要輸出者

東亞煙草株式会社 (東京)
 東洋葉煙草株式会社 (〃)

◎外國競争者

本品の輸出先は支那を第一とし、關東州、露領アジア其他へ輸出されるが、その額少く、競争者と認むべ

	國 産		輸 出	
	數 量	價 額	數 量	價 額
大正10	—	256,834圓	285,000千個	53,284圓
11	—	365,298	598,520	93,335
12	—	24,056	342,165	56,125
13	—	956,298	584,771	84,355
14	—	126,257	937,178	139,531
昭和1	—	244,237	969,650	152,383
2	—	223,516	825,300	125,368
3	—	324,563	862,850	121,334
4	—	364,526	968,530	151,395
5	—	331,269	800,360	96,191

主要府縣別生産額

縣 名	數 量	價 額
京 都	—	25,189圓
東 京	—	42,516
兵 庫	—	16,298
神奈川	—	8,569
岡 山	—	2,564
愛 知	—	3,445

主要國別輸出額

國 名	數 量	價 額
支 那	850個	118千圓
關 東 州	7	1

主要府縣別生産額

縣 名	數 量	價 額
東 京	—	34
愛 知	—	12
大 阪	—	56
兵 庫	—	16
岐 阜	—	9
岡 山	—	8
高 知	—	6

◎外國品と國産品の優劣

一般的には大差ないが、高級品は外國製が技巧及び紙質に於て國産品よりも優秀である。價格に於ては各種共國産品が低廉である。

◎輸出増進の主要處置

一般商品として輸出増進を圖ることは至難である。

きものがない。

◎輸出の主要原因

本品の輸出額は微々たるものにして、輸出の主要原因としては東亞煙草株式会社その他が兩切紙巻煙草の製造を爲すが故に本品の必要が生じ勢ひ輸出されるに過ぎざるものと見做すべく、特に輸出の主因として掲ぐべきものがない。

◎外國品と國産品の優劣

外國人は紙巻吸口を多く使用せず國産紙製吸口の輸出に對しても殆んど競争品絶無であるため、優劣を比較すべきものがない。

◎國産振興の主要處置

本品の如きは兩切煙草に比例して増減すべきものなるが故に、特に本品のみの生産を奨励保護するの必要はないが、當業者に於て品質の改良を圖ることは必要である。

◎輸出増進の主要處置

特に本品のみの輸出増進を圖る必要なかるべし。

一八〇、紙製ナプキン

紙製ナプキンは天具帳、鉛紙等の如き薄紙を材料とし、花鳥その他の模様或は文字を印刷し、四吋乃至五吋内外の方形に截断したるものにして、輸出品は園遊會の食卓用等に用ひらる。

◎主要生産者

本品には手漉しの天具帳ナプキン紙を以て製したるものと、機械漉ナプキン紙を以て製したるものありて手漉ナプキン紙は岐阜縣及高知縣がその主産地であるが、大規模のものは殆んどない。機械漉ナプキン紙の主要生産者は左の如し。

- 原田製紙株式会社 (静岡)
- 三島製紙株式会社 (シ)
- 佐野熊ナプキン工場 (シ)
- 日本紙業株式会社 (東京)
- 臺灣紙店 (シ)
- 田中商店 (神戸)
- ◎主要輸出者
- 日本紙業株式会社 (東京)
- 臺灣紙店 (シ)
- 高砂商店 (横濱)
- 勅使河原合資會社 (岐阜)

年次	國 産 額		輸 出 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—	—	161,054千枚	246,715圓
11	—	—	222,551	342,672
12	—	1,265,443圓	203,015	302,302
13	—	1,305,298	195,277	285,112
14	—	1,124,516	220,110	303,136
昭和1	—	1,256,384	242,232	324,330
2	—	956,298	357,930	403,416
3	—	956,455	250,761	283,189
4	—	1,211,438	285,821	292,259
5	—	986,294	261,673	244,486

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
東 京	—	78,569圓
神奈川	—	12,564
靜 岡	—	22,584
愛 知	—	36,519
岐 阜	—	10,544
大 阪	—	69,765
神 戸	—	39,564

主要國別輸出額

國 名	數量	價 額
支 那	8個	10千圓
關 東 州	13	15
蘭 領 印 度	10	12
比 律 賓 諸 島	45	49
英 吉 利	9	18
亞 爾 然 丁	42	38
濠 太 刺 利	42	43

◎外國競争者

佐野熊ナプキン工場 (静岡)
 日東國産株式会社 (神戸)
 河西輸出合資會社 (シ)

◎輸出の主要原因

天具帳ナプキンは本邦の特産品たる觀を呈し外國競争者を見ないが、之を除きたる一般の洋紙を原料とするものに對しては、各仕向地に於て夫々競争者がある。

◎外國品と國産品の優劣

天具帳紙製は獨特のものであるがその他のものも概して國産品が優秀である。

◎輸出増進の主要處置

天具帳ナプキンは價格の低下に努め、その他のものは品質を向上せしめ、又一般に生産額の増加を圖ることが肝要である。

一八一、骨 牌

骨牌には「百人一首」「いろはかるた」「花合せ」「トランプ」等の各種あり。輸向きのものは大部分在外邦人の需要に依る。

◎主要生産者

出 額	價 額
133,455圓	47,354
43,135	122,909
123,859	157,559
123,562	128,949
122,965	144,951

輸出額

量	價 額
5斤	81千圓
11	11
11	11
7	7
3	3
4	4

用トランプも歐洲大戰當時歐米諸國の輸出杜絶せるを好機として販路を獲得し、一時相當盛んに輸出された現在に於てはトランプの輸出は殆んどなく、在外邦人向花カルタ、歌カルタ等が輸出されるに過ぎず、その

一八一、骨 牌

- ◎主要輸出者
- 三島製紙株式会社 (東京)
 - 佐野熊ナプキン工場 (東京)
 - 日本紙業株式会社 (東京)
 - 臺灣紙店 (東京)
 - 田中商店 (神戸)
 - 日本紙業株式会社 (東京)
 - 臺灣紙店 (東京)
 - 高砂商店 (横濱)
 - 勅使河原合資會社 (岐阜)

國 産		數量	價 額
大正	10	—	—
	11	—	—
	12	—	1,200
	13	—	1,300
	14	—	1,100
昭和	1	—	1,200
	2	—	900
	3	—	900
	4	—	1,200
	5	—	900

◎輸出増進の主要處置

天具帳紙製は獨特のものであるが、その他のものも概して國産品が優秀である。

◎輸出増進の主要處置

天具帳ナプキンは價格の低下に努め、その他のものは品質を向上せしめ、又一般に生産額の増加を圖ることが肝要である。

骨牌には「百人一首」「いろはかるた」「花合せ」「トランプ」等の各種あり。輸已向きのものは大部分在外邦人の需要に依る。

◎主要生産者

- 日本骨牌製造合資會社 (京都)
- 大石天狗堂 (京都)
- 中尾徳次郎 (京都)
- 丸福商店 (京都)
- 山越與兵衛 (京都)
- ユバニーサル骨牌會社 (大阪)

◎主要輸出者

ユニバーサル骨牌會社 (大阪)
日本骨牌製造合資會社 (京都)
尙ほ此の外神戸の雜貨貿易業者の手を経て輸出さる。

◎外國競争者

- エイ・ドウハーティー會社(米國)
- ザ・ユニナイテツデ・ステーツ・プレイング・カード會社(ク)

◎輸出の主要原因

海外在住邦人の需要に依つて輸出されるものが大部分であるが、外人

	國 産		輸 出	
	數量	價 額	數量	價 額
大正	10	1,642,818斤	—	133,455圓
	11	1,825,850	—	47,354
	12	1,980,559	—	43,135
	13	2,237,568	—	122,909
	14	2,223,759	—	123,859
昭和	1	2,386,156	—	157,559
	2	2,444,219	—	123,562
	3	2,321,457	112,289斤	128,949
	4	2,216,514	113,901	122,965
	5	2,489,696	148,593	144,951

◎主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
東 京	—	2,300圓
京 都	—	6,900
大 阪	—	12,500

(當業者の推定額にして統計不詳)

◎主要國別輸出額

國 名	數量	價 額
支 那	785斤	81千圓
關 東 州	81	11
香 港	82	11
北 米	69	7
加 奈 陀	3	3
布 哇	32	4

◎外國品と國産品の優劣

國産トランプの中最も普及し、品質優良の定評あるは、大阪ユニバーサル骨牌會社の製品に係るユニバーサル・カードにして、品質、模様その他に於て漸次外國品に接近しつつあるが、現在に於ては尙ほ外國品に及ばない。花カルタ、歌カルタ等は邦人獨特のものにして競争者なく、比較すべきものがない。

◎國産振興の主要處置

國産品は外國品に比して紙質、印刷等劣れるを以て、之を改善することが急務である。

◎輸出増進の主要處置

本品の如きは輸出増進の必要なく寧ろ輸入防遏が肝要である。

一八二、紙箱及紙筒

紙製箱及筒は板紙を以て製したるものにして、紙箱は洋服入、帽子入布帛製品の包装、書籍文房具入、化粧品入、菓子入其他用途頗る廣く、紙筒は主として布帛類の巻心、文房具、藥品の包装等に用ひらる。

◎主要生産者

- 日本紙業株式会社 (東京)
- 東京紙器株式会社 (シ)
- 聯合紙器株式会社 (大阪)
- 帝國紙器株式会社 (東京)

◎主要輸出者

本品の輸出は前記生産者が海外より直接注文を受けて輸出する場合もあるが、大部分は神戸及横濱の雜貨貿易商、又は仲介業者が外國より注文のありたる都度、必要量だけ生産者に注文製造せしめて輸出する。故に一般輸出品の如く之を専門に取扱ふ者なく、本品の輸出者として特掲すべき者はない。

◎外國競争者

一般商品として海外に輸出するものでなく、注文を待つて發送するに

年次	國産額		輸出額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—	5,532,714圓	—	477,896圓
11	—	4,589,319	—	117,087
12	—	7,047,391	—	100,872
13	—	6,141,940	—	772,961
14	—	5,758,300	—	333,531
昭和1	—	4,506,856	—	120,285
2	—	6,463,720	—	281,491
3	—	6,434,262	993,873斤	257,375
4	—	6,569,288	688,969	190,968
5	—	6,443,757	670,186	162,405

主要府縣別生産額

縣名	數量	價額
東京	—	2,908,211圓
神奈川	—	88,000
愛知	—	296,186
京都	—	96,374
大阪	—	2,245,315
兵庫	—	230,430
福岡	—	106,379

主要國別輸出額

國名	數量	價額
支那	2,400斤	59千圓
關東州	6,537	150
英領印度	139	5
蘭領印度	203	9
英吉利	168	10
北米	81	7
布哇	53	3

過ぎざるを以て、海外競争者と見做すべきものはない。

◎輸出の主要原因

所謂手工製品は邦人の得意とする所である。故に特に手工技術を必要とする一部製品は邦人獨特の技工に於て歓迎され、市場商品として輸出されるが、その量は頗る微々たるものにして、大部分は注文販賣である故に爲替關係その他の事情に依つて國産品が廉價なる場合、距離その他の關係上本邦へ注文することが有利なる場合等特殊なる場合に輸出されるに過ぎない。

◎外國品と國産品の優劣

機械を用ふるものに於ては概して外國品が品質優良、製品統一し且つ廉價であるが、極く一部の手工を必要とする特殊製品に在りては、國産品が技術的に優秀である。

◎輸出増進の主要處置

本品の需要は頗る廣範圍なるを以て進んで市場商品として販路を開拓すれば相當有望である。

一八三、石綿及同製品

石綿は岩石の分解したるもの、中に束となり又は小さき脈をなして存在する一種の礦物にして、蛇紋石又は角閃石の變化したるものである。蛇紋石の變化したるものは硫酸苦土を含み、角閃石の變化したるものは

出額	價額
—	206,920圓
—	239,266
—	158,990
—	160,168
—	126,644
—	139,090
—	171,456
—	162,403
—	185,859
—	185,674

輸出額

數量	價額
—	41千圓
—	101
—	17

◎外國競争者

- 三好石綿工業株式会社
- 三好正則商店
- 疋田商店

カルモン會社

(獨逸)

(英國)

貿易商、又は仲介業者が外國より注文のありたる都度、必要量だけ生産者に注文製造せしめて輸出する。故に一般輸出品の如く之を専門に取扱ふ者なく、本品の輸出者として特掲すべき者はない。

◎外國競争者

一般商品として海外に輸出するものでなく、注文を待つて發送するに

一八三、石綿及同製品

石綿は岩石の分解したるもの中に束となり又は小さき脈をなして存在する一種の礦物にして、蛇紋石又は角閃石の變化したるものである。蛇紋石の變化したるものは硅酸苦土を含み、角閃石の變化したるものは硅酸苦土、炭酸石灰、酸化鐵等を含む。世界に於ける本品の主産國は伊太利、露西亞、加奈陀、北米等にして、我國に於ては内地及朝鮮、臺灣等に産す。石綿糸は石綿の纖維を防ぎたるものにして汽管その他蒸氣汽關のパツキングに使用され、石綿板は石綿の纖維を強壓して板状となしたるものにして、防火又は防水性を利用して天井、壁、戸障子、火藥製造所、冷蔵庫等の各部の造作に用ひらる。

◎主要生産者

- 日本アスベスト株式会社
- カナエパツキング株式会社
- 榮屋石綿紡織株式会社
- 泉アスベスト株式会社

◎主要輸出者

日本アスベスト株式会社

年次	國 産 額		輸 出 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—	—	—	206,920圓
11	248,932貫	12,766圓	—	239,266
12	220,320	16,456	—	158,990
13	165,540	7,840	—	160,168
14	312,988	14,000	—	126,644
昭和1	238,564	11,258	—	139,090
2	296,298	13,565	—	171,456
3	286,564	12,146	—	162,403
4	254,433	10,542	—	185,859
5	269,541	11,968	—	185,674

(内地のみの産額にして朝鮮臺灣を含まず)

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
長 崎	—	7,568圓
福 岡	—	1,567
山 口	—	1,396

主要國別輸出額

國 名	數量	價 額
支 那	—	41千圓
關 東 州	—	101
英 領 印 度	—	17

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
東 京	—	2,9
神奈川	—	—
愛 知	—	2
京 都	—	—
大 阪	—	2,2
兵 庫	—	2
福 岡	—	1

機械を用ふるものに於ては概して外國品が品質優良、製品統一し且つ廉價であるが、極く一部の手工を必要とする特殊製品に在りては、國産品が技術的に優秀である。

◎輸出増進の主要處置

本品の需要は頗る廣範圍なるを以て進んで市場商品として販路を開拓すれば相當有望である。

◎外國競争者

- 三好石綿工業株式会社
- 三好正則商店
- 疋田商店

◎輸出の主要原因

國産石綿製品は頗る粗悪であるが價格低廉なる爲め支那、印度等の各地へ輸出さる。

◎外國品と國産品の優劣

英國品、獨逸品等は勿論、その他の諸國品に比較するも國産品は品質頗る劣等にして殆んど問題にならぬ程度であるが、之を外國品に比して遜色を見ざる程度の優良品と爲す場合は、價格に於て到底競争し得ざるため、粗製品の儘輸出するの外なき状態である。

◎輸出増進の主要處置

生産設備の改善、品質の改良等を圖るのが目下の急務なり。

一八四、石

墨 (黒鉛)

石墨は非金屬礦物の一種にして、花崗岩、片麻岩、結晶石灰石等の中に存在し、通常は鐵黒又は鋼黝色の墨葉狀或は粒質塊狀をなす。主成分は炭素にして金屬に似たる微かな光澤を有し、高熱を與へれば焰を發せず又煙を發せずして燃焼する特性を有す。本品は鉛筆の心、鐵器類の鑄止め、耐火坩堝、機械油の代用品等に使用さる。

◎主要生産者

- 飛彈黒鉛礦業株式會社 (岐阜)
- 大日本黒鉛株式會社 (東京)
- 泰平礦業所 (大阪)
- 大正黒鉛株式會社 (福岡)
- 合資會社増木礦業所 (石川)

◎主要輸出者

- 三井物産株式會社 (東京)
- 大日本黒鉛株式會社 (シ)
- 山下黒鉛株式會社 (福岡)
- 谷田礦業所 (朝鮮)

◎外國競争者

セイロン島に産出する石墨は世界的にその品質優良なるを認められ、

輸出額	
數量	價額
51,845擔	287,684圓
51,171	298,117
74,521	345,954
91,512	455,472
96,169	497,351
91,891	422,560
105,687	484,217
103,410斤	452,503
90,638	406,158
65,755	281,932

國産額		
	數量	價額
大正10	1,499,538斤	54,643圓
11	1,742,700	71,138
12	1,334,863	55,107
13	1,279,093	50,717
14	1,683,975	90,147
昭和1	830,641	47,913
2	1,055,756	37,091
3	737,431	27,188
4	658,248	21,377
5	794,256	24,688

(内地のみの産額)

主要國別輸出額

國名	數量	價額
支那	11,054斤	88千圓
關東州	1,259	10
香港	1,126	6
英吉利	70,498	253
佛蘭西	11,796	57
北米	5,619	21

主要府縣別生産額

縣名	數量	價額
岐阜	10廬	2,590圓
富山	298	18,787

◎輸出の主要原因
本邦に於ては石墨を材料とする諸工業發達せず、石墨に過剩あるに反し、英、獨等に於ては工業の發達著しく多量の石墨を必要とするが故である。

◎外國品と國産品の優劣

國産石墨は花崗岩、片麻岩、雲母礬、結晶石灰石等の外包岩石の粉末を多量に含有し、石墨獨特の光澤が弱い、セイロン産石墨は是等外包岩石の粉末を含有すること少く且つその光澤強くして國産品よりも優良である。

◎國産振興の主要處置

本邦には鱗狀及土狀の石墨共に産出あるを以て、先づ同業者の大同團結を圖り、製造工程に優秀なる機械を用ひて生産費の低減及び品質の改良を圖れば前途有望である。

一八五、石

炭

石炭の主成分は炭素にして、炭素の含有量の多寡に依り無煙炭、黒炭及び褐炭等の種類に區別さる。即ち炭素の含有量九十六パーセント以上のものを無煙炭九十六パーセント乃至七十四パーセントのものを黒炭、七

輸出額	
數量	價額
37,814,960圓	
23,513,985	
21,541,101	
22,393,669	
33,201,119	
31,032,230	
25,508,373	
24,513,631	
23,215,218	
21,783,422	

出額	
數量	價額
15,213千圓	
3,859	
1,993	
309	
413	
2,260	
181	
233	

◎主要輸出者

- 三井物産株式會社 (東京)
- 三菱商事株式會社 (シ)
- 貝島商業株式會社 (福岡)
- 山下汽船株式會社 (神戸)

- ◎主要輸出者
- 三井物産株式会社 (東京)
 - 大日本黒鉛株式会社 (福岡)
 - 山下黒鉛株式会社 (朝鮮)
 - 谷田礦業所 (朝鮮)

◎外國競争者
 セイロン島に産出する石墨は世界的にその品質優良なるを認められ、

一八五、石

炭

石炭の主成分は炭素にして、炭素の含有量の多寡に依り無煙炭、黒炭及び褐炭等の種類に區別さる。即ち炭素の含有量九十パーセント以上のものを無煙炭九十六パーセント乃至七十四パーセントのものを黒炭、七十五パーセント以下のものを褐炭と稱す。又之を二大別して炭素含有量を九十パーセント以上のものを無煙炭、六十パーセント以上のものを瀝青炭と稱する場合もあり、普通の所謂石炭は黒炭を指稱す。

◎主要生産者

- 三井礦山株式会社 (東京)
- 三菱礦業株式会社 (福)
- 北海道炭礦汽船株式会社 (福)
- 古河礦業株式会社 (福)
- 雄別炭礦鐵道株式会社 (北海道)
- 貝島礦業株式会社 (福岡)
- 明治礦業株式会社 (福)
- 八幡製鐵所 (福)
- 帝國炭業株式会社 (福)
- 藏内礦業株式会社 (福)
- 大正礦業株式会社 (福)
- 中島礦業株式会社 (福)
- 麻生商店 (福)

	國 産 額		輸 出 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	26,220,617佛噸	227,674,056圓	2,387,709英噸	37,814,960圓
11	27,701,731	250,915,845	1,690,699	23,513,985
12	28,948,820	256,694,363	1,574,305	21,541,101
13	30,110,826	241,614,059	1,711,292	22,393,669
14	31,459,415	236,828,364	2,694,515	33,201,119
昭和1	31,426,549	231,042,269	2,590,316	31,032,230
2	33,530,607	257,280,705	2,173,499	25,508,373
3	33,860,181	254,516,131	2,150,432	24,513,631
4	34,257,817	245,761,504	2,011,402	23,215,218
5	35,298,465	252,863,169	2,097,269	21,783,422

	國 産	
	數量	價 額
大正10	1,499,538斤	
11	1,742,700	
12	1,334,863	
13	1,279,093	
14	1,683,975	
昭和1	830,641	
2	1,055,756	
3	737,431	
4	658,248	
5	794,256	

(内地のみの産額)

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
北海道	7,172,014佛噸	49,738,675圓
福 島	2,282,629	15,121,454
山 口	1,921,342	11,594,132
福 岡	18,207,621	134,869,723
佐 賀	1,360,742	11,128,861
長 崎	2,615,824	19,166,289

主要國別輸出額

國 名	數量	價 額
支 那	1,439,236英噸	15,213千圓
香 港	307,773	3,859
海峽殖民地	144,272	1,993
蘭領印度	22,500	309
佛領印度支那	33,550	413
比律賓諸島	169,545	2,260
北 米	13,200	181
布 哇	16,313	233

主要府縣別生産額

縣 名	數量
岐 阜	10噸
富 山	298

岩石の粉末を含有すること少く且つその光澤強くして國産品よりも優良である。

◎國産振興の主要處置

本邦には鱗狀及土狀の石墨共に産出あるを以て、先づ同業者の大同團結を圖り、製造工程に優秀なる機械を用ひて生産費の低減及び品質の改良を圖れば前途有望である。

◎主要輸出者

- 三井物産株式会社 (東京)
- 三菱商事株式会社 (福)
- 貝島商業株式会社 (福岡)
- 山下汽船株式会社 (神戸)

◎外國競争者

支那市場に於ては開平炭、撫順炭山東炭等。シンガポール及マニラ方面に於ては南アフリカ炭、濠洲炭、英領印度炭、蘭領印度炭等の競争品がある。

◎輸出の主要原因

無煙炭は内地生産不足にして常に輸入されつゝあるが、黒炭にありては内地供給過剰に依り價格暴落を示したる場合、爲替關係その他特殊なる事情ある場合に輸出さる。

◎外國品と國産品の優劣

大差なし。

◎輸出増進の主要處置

生産費の低下、積込設備の改善、運賃割戻又は補助等が必要である。

一八六、セメント及同製品

セメントは八十パーセントの白堊又は石灰と二十パーセントの粘土とに水を加へて混合し、乾燥後更に火熱を用ひて燃焼せしめ炭酸を除去し粉末となしたるものにして、各種建築土木工事に用途頗る廣し。セメント製品はセメントに細砂その他を加へ一定の形状に製したるものにして用途に依り種類又頗る多し。

◎主要生産者

- 淺野セメント株式會社 (東京)
- 豐國セメント株式會社 ()
- 日本セメント株式會社 ()
- 秩父セメント株式會社 ()
- 磐城セメント株式會社 ()
- 電氣化學工業株式會社 ()
- 東亞セメント株式會社 (兵庫)
- 土佐セメント株式會社 (高知)
- 中央セメント株式會社 (大阪)
- 櫻セメント株式會社 ()
- 帝國セメント株式會社 (熊本)
- 三河セメント株式會社 (愛知)
- 三重セメント株式會社 (三重)
- 小野田セメント株式會社(山口)
- 大分セメント株式會社 (大分)
- 宇部セメント株式會社 (宇部)

	國 産 額		輸 出 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	7,464,325樽	48,638,959圓	2,839,089擔	7,078,035圓
11	8,899,287	61,635,763	1,738,038	3,907,379
12	11,046,406	71,286,387	900,972	2,009,992
13	11,486,513	59,236,853	1,313,725	2,362,505
14	13,327,719	67,287,664	2,386,383	4,265,790
昭和1	17,780,439	94,691,335	3,977,601	4,942,164
2	19,158,403	85,457,184	5,051,339	7,122,302
3	19,307,060	88,156,414	4,929,567	6,885,724
4	19,564,214	75,599,000	6,423,854	9,182,471
5	19,234,561	74,420,000	8,146,259	10,066,905

(セメントのみにして同製品を含まず)

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
北海道	1,510,000樽	7,550,000圓
東京	997,264	5,504,610
神奈川	1,900,000	8,740,000
愛知	1,157,988	5,770,767
大阪	1,229,799	5,738,290
福岡	4,690,900	19,682,254
大分	1,908,323	7,044,277

主要國別輸出額

國 名	數量	價 額
支 那	214,890擔	308千圓
關 東 州	169,936	242
香 港	632,830	891
英領印度	258,899	355
海峽殖民地	918,515	1,274
蘭領印度	1,707,274	2,367
佛領印度支那	155,468	218
比律賓諸島	766,630	1,075

◎主要輸出者

- 淺野セメント株式會社 (東京)
- 小野田セメント株式會社 (山口)
- 豐國セメント株式會社 (東京)
- 大分セメント株式會社 (大分)
- 宇部セメント株式會社 (宇部)
- 三井物産株式會社 (東京)

◎外國競争者

本品の主要仕向地はヒリツピン、印度、マライ半島、佛領印度支那等にして、各輸出先に於ては各自の内地産品及英國、デンマーク、ベルギー、獨逸等諸國産品が競争である。

◎輸出の主要原因

本品の國産額は内地に於ける需要を充して尙ほ夥しき過剩あり、従つて廉價に輸出されるが爲めである。

◎外國品と國産品の優劣

國産品は品質優良にして而も價格は外國品よりも概ね低廉である。

◎輸出増進の主要處置

運賃の低減、輸出先に於ける關稅の減免等に努める事。

一八七、黒鉛坩堝

冶金製鋼その他の化學工業に於て金屬類熔解に必要な坩堝は、なるべく純粹なる石墨を極く細微の粉末となし、使用の目的に應じて夫々適量の粘土を混じ、之に水を加へ充分に捏ねたる後、手工又は機械を用ひ

出 額	價 額
19,200圓	
27,600	
13,200	
11,056	
—	
—	
—	
—	
—	

僅少なり)

出 額

量	價 額
—	4,056圓
—	2,618
—	
—	
—	
—	
—	
—	

◎輸出の主要原因

本品の主要輸出地は支那各地にして、米國産品及英國産品の外獨逸産品も亦侮る可らざる競争者である。

坩堝は支那銅元局及銀元局の需要

- 東亞セメント株式会社 (兵庫)
- 土佐セメント株式会社 (高知)
- 中央セメント株式会社 (大阪)
- 櫻セメント株式会社 (ク)
- 帝國セメント株式会社 (熊本)
- 三河セメント株式会社 (愛知)
- 三重セメント株式会社 (三重)
- 小野田セメント株式会社 (山口)
- 大分セメント株式会社 (大分)
- 宇部セメント株式会社 (宇部)

一八七、黒鉛坩堝

冶金製鋼その他の化學工業に於て金屬類熔解に必要な坩堝は、なるべく純粹なる石墨を極く細微の粉末となし、使用の目的に應じて夫々適量の粘土を混じ、之に水を加へ充分に捏ねたる後、手工又は機械を用ひて一定の型に造り、徐々に乾燥し低温にて還元焔を用ひて焼成せるものにして、注口を有するものと注口無きものとの二種あり、大きさは種々あるが形は何れも圓筒形である。頗る高度の耐火性を有することが本品の特徴である。

◎主要生産者

- 日本坩堝株式会社 (東京)
- 大阪坩堝株式会社 (大阪)
- 彦島坩堝株式会社 (門司)

◎主要輸出者

- 三井物産株式会社 (東京)
- 日本坩堝株式会社 (ク)
- 大阪坩堝株式会社 (大阪)

◎外國競争者

- モルガン・クルーシブル (米國)
- デイックソン・クルーシブル (英國)

	國 産 額		輸 出 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	5,823,200番	698,784圓	160,000番	19,200圓
11	6,277,250	753,270	230,000	27,600
12	6,051,882	726,225	120,000	13,200
13	5,850,217	702,026	—	11,056
14	5,598,135	671,776	—	—
昭和 1	5,869,463	689,169	—	—
2	5,889,245	667,568	—	—
3	6,165,257	678,559	—	—
4	6,222,187	663,259	—	—
5	5,956,458	604,210	—	—

(輸出頗る僅少なり)

	國 産 額	
	數量	價 額
大正10	7,464,325樽	48,000
11	8,899,287	61,000
12	11,046,406	71,000
13	11,486,513	59,000
14	13,327,719	67,000
昭和 1	17,780,439	94,000
2	19,158,403	85,000
3	19,307,060	88,000
4	19,564,214	78,000
5	19,234,561	74,000

(セメントのみにして同製)

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
東 京	—	112,563圓
大 阪	—	216,577
愛 知	—	56,746
山 口	—	165,823
福 岡	—	85,269

主要國別輸出額

國 名	數量	價 額
支 那	—	4,056圓
關 東 州	—	2,618

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
北海道	1,510,000樽	7,500
東 京	997,264	5,500
神奈川	1,900,000	8,700
愛 知	1,157,988	5,700
大 阪	1,229,799	5,700
福 岡	4,690,900	19,600
大 分	1,908,323	7,000

を充して尙ほ夥しき過剩あり、従つて廉價に輸出されるが爲めである。

◎外國品と國産品の優劣

國産品は品質優良にして而も價格は外國品よりも概ね低廉である。

◎輸出増進の主要處置

運賃の低減、輸出先に於ける關稅の減免等に努める事。

本品の主要輸出地は支那各地にして、米國産品及英國産品の外獨逸産品も亦侮る可らざる競争者である。

◎輸出の主要原因

坩堝は支那銅元局及銀元局の需要を主とし、支那各地に需要多く、國産品は諸外國製品に比して價格低廉なるが爲めである。

◎外國品と國産品の優劣

英、米及獨逸等の製品は大部分セイロン島産の石墨を原料とし、且つ製造技術優秀なるため國産坩堝より品質優良にして、耐久力に富む。國産品も近來セイロン島産石墨を原料に混入し漸次品質の向上を見るに至つたが、而も尙ほ外國品に及ばない價格は國産品が遙かに低廉であるが耐久力に乏しきため國産品の使用は却つて不經濟である。

◎輸出増進の主要處置

材料即ち石墨、粘土、蠟石等の精選に意を注ぐと共に、製作方法を改善して外國競争品に匹敵すべき優良品の産出に努める事が急務である。

一八八、陶磁器

陶磁器は重要輸出品の一にして、本項に属するものは陶器、磁器、石器、土器、瓦器等の各種である。何れも磁土、陶土、粘土及石英等を原料として焼成したるものにして、特殊のものを除いて大部分は釉薬又は琺瑯を施す。

◎主要生産者

- 日本陶器株式会社(器具)(名古屋)
株式会社名古屋製陶所(シ)(シ)
松村硬質陶器合名会社(シ)(シ)
千種製陶合名会社(シ)(シ)
東洋陶器株式会社(シ)(小倉)
日本硬質陶器株式会社(シ)(釜山)
大阪陶業株式会社(磁子)(大阪)
日本磁子株式会社(シ)(名古屋)
松風工業株式会社(シ)(京都)
石川製陶所(化学用品)(東京)
西村工業株式会社(シ)(シ)
松風工業株式会社(シ)(京都)
合資会社井元商店(名古屋)
森村商事株式会社(シ)
株式会社名古屋製陶所(シ)
合名会社浅井竹五郎商店(シ)

◎主要輸出者

Table with columns: 國産額 (数量, 價額), 輸出額 (數量, 價額). Rows include years from 大正10 to 昭和5.

主要府縣別生産額

Table with columns: 縣名, 數量, 價額. Rows include 岐阜, 愛知, 京都, 大阪, 福岡, 佐賀, 長崎.

主要國別輸出額

Table with columns: 國名, 數量, 價額. Rows include 支那, 關東州, 香港, 英領印度, 蘭領印度, 北米, 加奈陀, 濠太刺利.

◎外國競争者

陶磁器製器具類に對する競争者は佛、英、和蘭、伊太利、ベルギー、獨逸、米國等の產品。化學用陶磁器に對する競争者は獨逸產品である。

◎輸出の主要原因

化學用品、電氣用磁子類は世界的に需要多く、器具類は品質光澤等に於て國產品が優良なるためである。

◎外國品と國產品の優劣

各種陶磁器を通じて、國產品は品質及價格等に於て外國製品に比して遜色を認めなく。

◎輸出増進の主要處置

劣悪品の輸出を嚴禁し、大量生産に依る廉價を圖る事等が肝要である。

◎外國競争者

本品の主要輸出先は東洋及南洋各國にして、米國產品、ベルギー產品及獨逸產品は有力競争者である。

◎輸出の主要原因

一八九、板硝子

曹達石灰硝子に屬する板硝子の厚きものを厚板硝子又は鏡硝子と稱し薄きものを普通窓硝子と呼ぶ。窓硝子はその品質に依り一番より五番迄の等級に分ち、商業上百平方呎を單位として取引す。並板硝子と通稱さ

Table with columns: 出額 (價額), 數量. Rows include years from 大正10 to 昭和5.

Table with columns: 出額 (價額), 數量. Rows include years from 大正10 to 昭和5.

◎主要輸出者

- 合資會社井元商店 (名古屋)
- 森村商事株式會社 (〃)
- 株式會社名古屋製陶所 (〃)
- 合名會社淺井竹五郎商店 (〃)

- 松風工業株式會社 (〃) (京都)
- 石川製陶所 (化學用品) (東京)
- 西村工業株式會社 (〃) (〃)
- 松風工業株式會社 (〃) (京都)

一八九、板硝子

曹達石灰硝子に屬する板硝子の厚きものを厚板硝子又は鏡硝子と稱し、薄きものを普通窓硝子と呼ぶ。窓硝子はその品質に依り一番より五番迄の等級に分ち、商業上百平方呎を單位として取引す。並板硝子と通稱されるものは厚さ三ミリ内外にして一平方呎の重量十六オンスである。

◎主要生産者

- 旭硝子株式會社 (東京)
- 日米板硝子株式會社 (大阪)
- 極東硝子工業株式會社 (〃)

右の中、旭硝子株式會社は主として薄板硝子、日米板硝子株式會社は主として厚板硝子、極東硝子工業株式會社は特殊厚板ガラスを以て夫々知られてゐる。

◎主要輸出者

- 三菱商事株式會社 (東京)
- 三井物産株式會社 (〃)
- 多田竹次郎商店 (大阪)
- 和井田硝子店 (〃)
- 旭硝子株式會社 (東京)
- 日米板硝子株式會社 (大阪)
- 極東硝子工業株式會社 (〃)

	國 産 額		輸 出 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—	11,631,777圓	7,361,746方呎	1,179,496圓
11	—	10,289,367	5,300,796	883,065
12	—	13,413,619	1,728,763	220,808
13	—	18,801,514	2,263,142	287,649
14	—	16,989,119	4,182,378	483,135
昭和 1	—	15,504,763	334,630	42,868
2	—	14,478,896	704,956	60,380
3	—	15,145,425	2,683,816	200,607
4	—	16,214,538	5,841,566	383,545
5	—	15,299,659	5,789,738	260,873

(板ガラス産額)

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
東 京	—	104,850圓
神奈川	—	4,235,255
兵 庫	—	208,246
福 岡	—	10,597,074

主要國別輸出額

國 名	數量	價 額
支 那	121方呎	9千圓
關 東 州	83	8
英領印度	1,041	70
海峽殖民地	192	14
比律賓諸島	827	58
暹 羅	247	24

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
岐 阜	—	12,4
愛 知	—	35,0
三 重	—	4,6
京 都	—	4,5
大 阪	—	2,5
大 福	—	2,0
福 岡	—	3,4
佐 賀	—	1,6
長 崎	—	—

◎外國品と國産品の優劣
各種陶磁器を通じて、國産品は品質及價格等に於て外國製品に比して遜色を認めない。

◎輸出増進の主要處置

劣悪品の輸出を嚴禁し、大量生産に依る廉價を圖る事等が肝要である

◎外國競争者

本品の主要輸出先は東洋及南洋各國にして、米國産品、ベルギー産品及獨逸産品は有力競争者である。

◎輸出の主要原因

本邦は米國、ベルギーに次ぐ世界第三の硝子生産國として知られ、就中薄板硝子は國産額を以て内地需要を充して尙ほ餘りあるが故に輸出を充すに至らざるを以て、特殊の場合の外輸出されない。

◎外國品と國産品の優劣

國産硝子は、その品質上に於ては特殊のものを除く外概して外國品に比して遜色がないが、價格の點に於ては斯界の雄たるベルギー産の廉價に及ばざること遠く、従つて一時盛んに輸出されたる支那方面の販路を次第に蠶食されつゝある。

◎輸出増進の主要處置

ベルギー及米國品等と競争するには先づ製造設備の能率化に依つて價格の低下に努むるの外なし。

一九〇、魔法罐

魔法罐には保温を目的とするものと保温を目的とせざるものとの二種があるが、その構造は同様にして薄質二重壁の硝子の内外両面に鍍銀し壁間を真空となして熱の傳導及び副射を防止したるものである。爛酒、乳、アイスクリーム、湯茶等の容器として用ひられ裸罐、皮及金屬、籐を以て被ひたるもの等種々あるが、保温時間は二十四時間内外、保冷時間は三十時間内外が普通である。

◎主要生産者

- 山中辰魔法器製作所
田中物五郎
八木魔法器製作所
稻村伊之助

◎主要輸出者

- 山中辰魔法器製作所
八木魔法器製作所
山富商店
田中鐵治郎
市川兄弟商會
山中邦商店
二和商店

輸出額

Table with 3 columns: 數量, 價額, 輸出額. Rows include 大正 10-14 and 昭和 1-5.

主要國別輸出額

Table with 4 columns: 國名, 數量, 價額, 輸出額. Rows include 支那, 關東, 香港, 英領印度, 海峽殖民地, 蘭領印度, 暹羅.

◎外國競争者

- サーモス會社 (米國)
ユニバーサル會社 (〃)
アイシーホツト (〃)
イゾラ・オーロファン (獨逸)

◎輸出の主要原因

歐洲大戰當時諸外國より註文殺倒して各生産者は何れも設備を改善し且つ職工の技術進歩したる爲め、品質に於て海外品に劣らず、價格も低下せるが故に海外各地殊に南洋方面に於て好評を博するに至つた。

◎外國品と國産品の優劣

米國製品は體裁優美にして保温保冷時間等に於ても國産品以上であるが、價格に於て國産品よりも遙かに高價である。獨逸品も亦近來盛んに輸出されつゝあるが、國産品より高價である。

◎輸出増進の主要處置

粗製濫造を謹み國産品の特徵たる價格の低廉を維持することに努むれば前途益々有望である。

◎國産振興の主要處置

本品の製造は逐年隆盛に赴きつゝあるを以て、特に政府に於て保護奨勵をなす必要なく、寧ろ輸出の増進を圖り生産過剰に陥らざるやう適宜の施設を講ずることが必要である。

◎當業者の希望

(一) 濫賣は最も謹しむべく、之を防止するため製造者及び販賣業者が大團結して輸出最低値段を協定し、協定値段以下にては絶対に輸出せず若し此の協定を破るものあれば、爾後輸出許可證を與へざる事。

(二) 輸出組合を組織し、輸出品に對しては輸出證書を貼付せしめる事。従つて輸出證なきものは輸出せしめざる事。

(三) 是等の目的を達するため、輸出組合又は同業組合に取締に關する權限を法律を以て附與する事。

(四) 本品の輸出を増進するため、有力なる貿易促進機關を設置し、直接輸出の設備なき小生産者に積極的援助を與へると共に、監督の機關たらしむる事等を希望す。

一九一、硝子罐

硝子罐は曹達及石灰の硫酸複鹽を原料として製したるものにして、その用途に依つて形狀千差萬別である又無色のものと種々の色を着けたるものとあり、普通着色せるものは無色のものに比して品質劣等である。

輸出額

Table with 2 columns: 價額, 輸出額. Rows list various values from 2,731,838 to 3,956,246.

輸出額

Table with 2 columns: 價額, 輸出額. Rows list values from 701千圓 to 211.

◎輸出の主要原因

主要輸出地たる支那方面に對しては、本邦が最も近巨離に在りて註文に便利なる事。及び價格が外國品よりも低廉なる事等が主因である。

◎主要輸出者

山中辰魔法器製作所
八木魔法器製作所
山富商店
田中鐵治郎
市川兄弟商會
山中邦商店
二和商店

主要國別輸出額

國名	數量	價
支那	86,191打	
關東州	6,869	
香港	64,437	
英領印度	4,608	
海峽殖民地	8,674	
蘭領印度	2,525	
暹羅	2,026	

一九一、硝子

硝子罎は曹達及石灰の硫酸複鹽を原料として製したるものにして、その用途に依つて形狀千差萬別である又無色のものと種々の色を着けたるものとあり、普通着色せるものは無色のものに比して品質劣等である。

◎主要生産者

内外製瓶所 (大阪)
石原硝子製造所 (〃)
山爲硝子製造所 (〃)
徳永硝子製造所 (〃)
石塚製罎所 (名古屋)
株式會社名古屋硝子製造所(〃)

◎主要輸出者

土出英吉商店 (大阪)
武田長兵衛商店 (〃)
株式會社兼松商店 (神戸)
ハリソンクロスファイルド商會(〃)

◎外國競争者

獨逸、濠洲、北米、チエツコスロバキヤ、佛蘭西等の製品は到る所に於て本邦品と競争しつゝあるが、本邦品は價格の低廉なる點に於て歡迎されてゐる。

	國 産 額		輸 出 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—	18,824,737圓	6,936,204打	2,731,838圓
11	—	18,527,684	8,674,473	3,317,813
12	—	20,180,056	9,866,268	3,171,402
13	—	20,067,768	9,926,996	3,143,901
14	—	20,764,508	12,769,123	4,290,919
昭和1	—	19,568,512	11,409,741	4,197,621
2	—	16,195,949	14,686,798	4,358,367
3	—	17,026,590	14,547,681	4,516,329
4	—	18,254,295	15,634,395	4,099,229
5	—	17,498,216	15,214,317	3,956,246

主要府縣別生産額

縣名	數量	價 額
東京	—	2,781,563圓
神奈川	—	2,207,788
愛知	—	730,47
大阪	—	7,510,736
兵庫	—	2,418,313
廣島	—	341,788
福岡	—	244,751

主要國別輸出額

國名	數量	價 額
支那	1,601打	701千圓
香港	361	164
英領印度	6,303	1,285
海峽殖民地	568	180
蘭領印度	1,820	785
比律賓諸島	1,275	775
濠太刺利	755	211

冷時間等に於ても國産品以上であるが、價格に於て國産品よりも遙かに高價である。獨逸品も亦近來盛んに輸出されつゝあるが、國産品より高價である。

◎輸出増進の主要處置
粗製濫造を謹み國産品の特徵たる價格の低廉を維持することに努むれば前途益々有望である。

従つて輸出證なきものは輸出せしめざる事。
(三)是等の目的を達するため、輸出組合又は同業組合に取締に關する權限を法律を以て附與する事。
(四)本品の輸出を増進するため、有力なる貿易促進機關を設置し、直接輸出の設備なき小生産者に積極的援助を與へると共に、監督の機關たらしむる事等を希望す。

◎輸出の主要原因

主要輸出地たる支那方面に對しては、本邦が最も近距離に在りて註文に便利なる事。及び價格が外國品よりも低廉なる事等が主因である。

◎外國品と國産品の優劣

國産品は米國製高級品に比して品質稍々劣るが、濠洲品に比すれば、優良である。而も製造技術に於て米國に及ばざるには非ずして廉價供給を目的とする爲め特に米國品以下のものを製造輸出しつゝある。

◎輸出増進の主要處置

輸出品に對する検査を徹底せしめて品質の統一を圖ると共に、生産費の節減を圖ることが肝要である。

◎國産振興の特別施設

政府は本品の發達を保護するため原料曹達灰の戻稅、輸出品に對する検査の勵行、輸出品工業組合に對する低利資金の貸附等を爲し來つたが當業者は尙ほ運賃保險料の引下げその他を希望してゐる。

一九二、コップ

硝子製コップはクリスタル硝子、プリント硝子等を用ひ吹細工或は押型法に依つて製したるものにして、彫刻クリスタル製、腐蝕クリスタル製、切り子製等の各種がある。輸出向きコップには各種ソーダ水用、酒杯用等ありて、その形状大小等は千差萬別である。

◎主要生産者

- 三好硝子製造所 (大阪)
- 島田硝子製造所 (シ)
- 吉田硝子製造所 (シ)
- 本多硝子製造所 (シ)

◎主要輸出者

- 土出英吉商店 (大阪)
- 株式會社兼松商店 (神戸)
- 保々近藤合名會社 (シ)
- ハリソソクロスフィールド商會(シ)
- 武田長兵衛商店 (大阪)

◎外國競争者

本品の主要仕向地は蘭領及英領印度地方にして、該地方には競争者が少くないが、就中ベルギー産品は最も有力競争者である。

時計硝子には柱時計及置時計用のものと懐中時計用のものがある。輸出向時計硝子は大部分懐中時計用のものにして、大きさは時計のサイズに依つて數種ある。

◎主要生産者

一九三、時計硝子

出 額	價 額
188,365	圓
162,456	
152,917	
195,049	
167,055	
184,993	
154,100	
165,195	
224,647	
109,232	

年 次	國 産 額		輸 出 額	
	數 量	價 額	數 量	價 額
大正10	—	2,049,029圓	1,936,640打	1,944,716圓
11	—	3,613,241	1,734,382	1,525,872
12	—	2,291,676	1,949,132	1,572,935
13	—	1,363,537	2,240,316	1,704,292
14	—	2,610,011	3,164,967	2,660,646
昭和1	—	3,081,760	2,908,132	2,316,450
2	—	5,109,338	3,418,546	2,210,350
3	—	2,956,621	3,464,704	2,365,034
4	—	3,568,243	3,704,647	2,426,925
5	—	3,258,456	2,285,245	1,376,674

(ガラス食器の産額)

出 額	價 額
7千圓	
11	
31	
6	
85	
19	

主要府縣別生産額

縣 名	數 量	價 額
東 京	—	534,077圓
愛 知	—	20,360
大 阪	—	2,379,641
福 岡	—	21,203

主要國別輸出額

國 名	數 量	價 額
支 那	123打	118千圓
關 東 州	65	58
英 領 印 度	1,581	981
海峽殖民地	99	76
蘭 領 印 度	782	512
比 律 賓 諸 島	176	138
濠 太 刺 利	400	302

◎輸出の主要原因

國産コップは品質に於て外國品に及ばないが、價格が低廉であるため輸出さる。

◎外國品と國産品の優劣

國産品は廉價主義を以て輸出の段盛を圖りつゝあるため、品質を顧みる暇なく、外國品に較べて粗悪なるものが多い。

◎輸出増進の主要處置

生産費の低減を圖つて廉價主義を益々發揮すると共に、輸出品に對する検査を嚴重にし粗製濫造品の輸出を防止する必要がある。

◎製造業者の希望

運送費を低下すれば益々廉價主義を發揮し得るを以て、本品の輸出に對して政府が或程度の補助を與へること、及び新販路の開拓地へは直ちに領事館を設け、或は商務官を派遣し、又は銀行を設立する事、需要地の調査をなさしむる事を政府當局に對し要望す。

◎輸出の主要原因

國産品は外國産品に比して品質に於ても遜色なきのみならず、價格頗る低廉なる事が各國に於て歡迎される主要原因である。

株式会社兼松商店 (神戸)
 保々近藤合名会社 (シ)
 ハリソンクロスフィールド商會(シ)
 武田長兵衛商店 (大阪)

◎外國競争者
 本品の主要仕向地は蘭領及英領印度地方にして、該地方には競争者が少くないが、就中ベルギー産品は最も有力競争者である。

一九三、時計硝子

時計硝子には柱時計及置時計用のものと懐中時計用のものがある。輸出向時計硝子は大部分懐中時計用のものにして、大きさは時計のサイズに依つて數種ある。

◎主要生産者

株式会社小西光澤堂 (東京)
 此の外本品の製造者は東京及大阪市外を通じて其の數頗る多いが、大部分は家内工業的にして、特掲すべき大規模の生産者がない。

◎主要輸出者

株式会社小西光澤堂 (東京)
 久保商店 (大阪)

◎外國競争者

フェレリーズ・トロイズ・ホントアイネス (獨逸)
 カール・トリードリツヒ・スタツプレ (シ)
 此の外獨逸各會社製品、英、米等の産品にして、輸出地に於ける有力競争者と見做すべきものは少くないが、その量に於て前記二社は代表的のものである。

	國 産 額		輸 出 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—	2,616,250圓	77,495哥	188,365圓
11	—	4,366,524	75,679	162,456
12	—	1,666,286	77,032	152,917
13	—	8,643,596	93,980	195,049
14	—	1,965,228	91,794	167,055
昭和1	—	2,530,088	104,759	184,993
2	—	2,686,395	97,248	154,100
3	—	2,921,547	112,115	165,195
4	—	3,065,438	134,348	224,647
5	—	3,598,649	71,855	109,232

(其他を含む)

	國 産	
	數量	價 額
大正10	—	2
11	—	3
12	—	2
13	—	1
14	—	2
昭和1	—	3
2	—	5
3	—	2
4	—	3
5	—	3

(ガラス食器の産額)

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
青 森	—	37,100圓
東 京	—	1,149,766
靜 岡	—	50,000
愛 知	—	106,209
大 阪	—	1,383,684
香 川	—	27,440
福 岡	—	73,738

主要國別輸出額

國 名	數量	價 額
支 那	6,601哥	7千圓
香 港	8,074	11
英領印度	23,073	31
海峽殖民地	3,659	6
北 米	58,833	85
濠太刺利	9,485	19

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
東 京	—	5
愛 知	—	2
大 阪	—	2,3
福 岡	—	2

◎製造業者の希望

運送費を低下すれば益々廉價主義を發揮し得るを以て、本品の輸出に對して政府が或程度の補助を與へること、及び新販路の開拓地へは直ちに領事館を設け、或は商務官を派遣し、又は銀行を設立する事、需要地の調査をなさしむる事等を政府當局に對し要望す。

◎輸出の主要原因

國産品は外國産品に比して品質に於ても遜色なきのみならず、價格頗る低廉なる事が各國に於て歓迎される主要原因である。

◎外國品と國産品の優劣

硝子生地品の品質に於ては、外國品就中獨逸品の如きは國産品よりも優秀である。その理由は謂ふまでもなく、多年の經驗に富み、且つ原料及燃料の豊富に基くものである。然れども加工の技術に於ては國産品は外國品に比して何等の遜色を見ざるのみならず、反つて外國品よりも進歩してゐる。加ふるに價格は外國品よりも概して低廉であり、此の點に於て優に外國品と競争し得る。

◎輸出増進の主要處置

國産品は加工技術に於て外國品に優り、且つ價格低廉なるにも拘らず輸出の振はざるは、主として國産品の眞價が認められざるに由る。故に海外各需要地に於て、大々的に宣傳をなすことが急務である。

一九四、硝子製珠玉及球

硝子製珠玉は模造貴石とも稱せられ、鉛を多量に含有する加里硝子を原料とし、諸種の酸化金屬を着色料として製したるものにして、金剛石を始めとしルビー、サファイヤ、エメラルド、瑪瑙、珊瑚等種々の寶石貴玉に模造し、婦人の身邊裝飾品その他の裝飾に用ひらる。

硝子製球は空洞の球にして中央に糸を通す孔を有し、金色、銀色、瑪瑙色、珊瑚色等種々ありて、婦人の身邊裝飾その他の裝飾に用ひらる。

◎主要生産者

- (模造真珠)
大西宇兵衛商店 (大阪)
井田梅松商店 (大阪)
元吉隆喜商店 (大阪)
日本真珠株式会社 (大阪)
山本軍藏商店 (大阪)
青木和三郎商店 (大阪)
宮田真珠玉商店 (堺)
堀野真珠商店 (大阪)
(光珠)
古井兄弟硝子製造所 (大阪)
榊田勝治郎商店 (大阪)
森田特許光珠製造所 (大阪)

Table with columns: 輸出額 (Quantity, Price), 國産額 (Quantity, Price). Rows for years 大正10-14 and 昭和1-5.

主要府縣別生産額

Table with columns: 縣名, 數量, 價額. Rows for 北海道, 大阪, 兵庫, 奈良, 岡山.

主要國別輸出額

Table with columns: 國名, 數量, 價額. Rows for 支那, 香港, 英領印度, 海峽殖民地, 北米, 濠太刺利.

◎主要輸出者

- 青山留吉商店 (大阪)
高辻源助商店 (大阪)
(水晶玉)
加賀美鶴藏商店 (名古屋)
(卷玉類)
松若貞藏商店 (大阪)
堀内定次郎商店 (大阪)
中西商店輸出部 (大阪)
水落商店 (大阪)
浪速貿易商店 (大阪)
藤本ツル商店 (大阪)
岡島貿易株式会社 (神戸)
三輪屋商店 (大阪)
奥田恵一商店 (大阪)

◎外國競争者

佛、獨及スペイン産品。

◎輸出の主要原因

手工製品にして國産品は巧妙且つ廉價なるが故である。

◎輸出増進の主要處置

品質の統一、輸出品検査の嚴重濫賣防止及當業者の團結を圖る事。

一九五、硝子製食器類

硝子製食器中には吹細工に依つて製するものもあるが、大部分は押型法に依つて製す。その種類は用途に依つて頗る多く、形状大きさ等は勿論、色相等も千差萬別である。

Table with columns: 輸出額 (Quantity, Price). Rows for years 大正10-14 and 昭和1-5.

Table with columns: 價額. Rows for years 大正10-14 and 昭和1-5.

◎輸出の主要原因

輸出地に於ける競争激烈なるにも拘らず、國産品が輸出される理由としては

- 井田精製商店 (大坂)
- 元吉隆喜商店 (大坂)
- 日本眞珠株式會社 (大坂)
- 山本軍藏商店 (大坂)
- 青木和三郎商店 (堺)
- 宮田眞珠玉商店 (大坂)
- 堀野眞珠商店 (大坂)
- (光 珠)
- 古井兄弟硝子製造所 (大坂)
- 榊田勝治郎商店 (大坂)
- 森田特許光珠製造所 (大坂)

一九五、硝子製食器類

硝子製食器中には吹細工に依つて製するものもあるが、大部分は押型法に依つて製す。その種類は用途に依つて頗る多く、形状大きさ等は勿論、色相等も千差萬別である。

◎主要生産者

- 島田硝子製造所 (大坂)
- 本多硝子製造所 (大坂)
- 吉田製造所 (大坂)
- 石原硝子製造所 (大坂)
- 株式會社名古屋硝子製造所 (名古屋)

◎主要生産者

- 株式會社兼松商店 (神戸)
- ハリシクロスフィールド商會 (大坂)
- 保々近藤合名會社 (大坂)
- 土出英吉商店 (大坂)

◎外國競争者

本品の主要輸出先は支那及南洋方面にして、同地方に對してはチエツコスロバキヤ産品を始めとし、獨逸濠洲、北米、佛蘭西等各國の産品集し、國産品は是等諸國産品に壓倒され勝ちであつたが、近來逐年輸出増加の傾向がある。

年次	國 産 額		輸 出 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—	2,049,029圓	—	—
11	—	3,613,241	—	—
12	—	2,291,676	—	—
13	—	1,363,537	—	—
14	—	2,610,011	—	—
昭和 1	—	3,081,760	—	—
2	—	5,109,338	—	—
3	—	2,956,621	456,072打	451,030圓
4	—	—	656,733	562,486
5	—	—	—	—

年次	國 産 額	
	數量	價 額
大正10	—	6
11	—	1,1
12	—	8
13	—	1,8
14	—	2,2
昭和 1	—	1,7
2	—	1,9
3	—	2,4
4	—	2,3
5	—	2,4

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
東 京	—	534,077圓
愛 知	—	20,360
大 阪	—	2,379,641
岡 山	—	1,270
福 岡	—	21,203

主要國別輸出額

國 名	數量	價 額
支 那	46千打	84千圓
英領 印度	248	157
蘭領 印度	43	52
比律賓諸島	18	40
暹 羅	10	14
濠太刺利	33	28

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
北海道	—	88
大 阪	—	2,174
兵 庫	—	13
奈 良	—	60
岡 山	—	72

◎外國競争者

佛、獨及スペイン産品。

◎輸出の主要原因

手工製品にして國産品は巧妙且つ廉價なるが故である。

◎輸出増進の主要處置

品質の統一、輸出品検査の嚴重濫賣防止及當業者の團結を圖る事。

◎輸出の主要原因

輸出地に於ける競争激烈なるにも拘らず、國産品が輸出される理由としては

(一) 價格が諸他の産品に比して低廉なる事。

(二) 支那方面に對しては他國よりも近巨離に在る事。

(三) 國産品は輸出業者の規模比較的狭小なるため、少數の註文をなし又は少數宛分送の契約を爲すに都合なる事。

等がその主なるものである。

◎外國品と國産品の優劣

諸外國産中米國産品は品質優良であるが、國産品は之に比して殆んど遜色なく、濠洲産品等よりは幾分優良である。價格に於ては諸國産中最も低廉である。

◎輸出増進の主要處置

本品も亦粗製濫造品の輸出に依つて國産品の眞價を疑はれる場合が少くない。故に輸出品に對する検査を嚴重にすることが肝要である。

一九六、眼鏡用硝子

眼鏡は視力を補佐し又は匡正する器具にしてスペクテクルとアイグラスとの二種がある。近視眼用には凹面レンズが用ひられ、遠視眼用には凸面レンズが用ひられ、又特殊のものとしては塵除用、水中用、或は一個のレンズに二個の焦點あり近視と遠視の兩作用を兼ねる二重焦點眼鏡等がある。何れも縁、枠等に鋼鐵、金銀、象牙、鼈甲、セルロイド等を用ひて製す。

◎主要生産者

- 小澤眼鏡工場 (東京)
海野工場
二宮清藏工場
小泉銀三郎工場
和田製作所

◎主要輸出者

株式会社小西光澤堂 (東京)
此の外生産者直接に輸出するものもあるが、大部分は神戸、横濱、大阪等の雜貨輸出商の手を経て輸出される。本品は比較的近年まで輸入され、輸出を見るに至りたるは最近なるが故にその額少なく従つて特掲す

Table with columns: 國産額 (Quantity, Price), 輸出額 (Quantity, Price). Rows include years from 大正10 to 昭和5, and a summary for 昭和2年以前.

主要府縣別生産額

Table with columns: 縣名, 數量, 價額. Rows include 東京, 大阪, 愛知, 福岡, 京都.

主要國別輸出額

Table with columns: 國名, 數量, 價額. Rows include 支那, 香港, 英領印度, 海峽殖民地, 蘭領印度, 佛領印度支那, 比律賓諸島.

べき輸出者なし。

◎外國競争者

- ホシロム會社 (米國)
ラプシユ會社 (獨逸)

◎輸出の主要原因

從來本品は國産額多きに拘らず海外より輸入されつゝあつたが、近來産額益々増加し、その製造技術も逐年進歩して、輸入より輸出に轉ずるに至つた。輸出の原因としては特記すべきものがないが、品質も相當良好にして、價格も爲替關係その他特殊の事情ある場合に外國品より低廉なることあるが故である。

◎外國品と國産品の優劣

國産品は價格が比較的高價であるのみならず、製品不統一なる點に於て大工場生産に依る外國品に及ばない。又鍍金物及金銀着せ等は尙ほ研究の餘地がある。

◎輸出増進の主要處置

生産組織を改善し價格の低下及び製品の統一を圖る事が急務である。

一九七、鏡

鏡は優良なる厚板硝子の裏面に銀白金、又は水銀と錫との合金を塗覆したるものにして、姿見と稱するものは長方形、橢圓形のもの多く、縁は木製又は金屬製である。化粧鏡又は手鏡には橢圓形のもの最も多く、

Table with columns: 出額 (Quantity, Price). Rows include years from 大正10 to 昭和5.

Table with columns: 出額 (Quantity, Price). Rows include years from 大正10 to 昭和5.

◎輸出の主要原因

品に對しては品質に於て及ばず、下級品たる獨逸品に對しては價格に於て競争し難き状態に在る。

爲替其他の關係上外國品よりも買

和田製作所

◎主要輸出者

株式会社小西光澤堂 (東京)

此の外生産者直接に輸出するものもあるが、大部分は神戸、横濱、大阪等の雜貨輸出商の手を経て輸出される。本品は比較的近年まで輸入され、輸出を見るに至りたるは最近なるが故にその額少なく従つて特掲す

一九七、 鏡

鏡は優良なる厚板硝子の裏面に銀白金、又は水銀と錫との合金を塗覆したるものにして、姿見と稱するものは長方形、階圓形のもの多く、縁は木製又は金屬製である。化粧鏡又は手鏡には階圓形のもの最も多く、長方形、圓形のもの之に次ぐ。此の外懐中鏡と稱する小形のもの等もある。

◎主要生産者

本品は概ね家内工業又は小規模の工場に於て生産され、之を小間物問屋業者が取扱ふのが普通である。従つて特掲すべき大生産者なく、取扱者の主たるもの左の如し。

徳永商店 (東京) 三浦商店 (〆)

◎主要輸出者

佐藤貿易株式会社 (横濱)

◎外國競争者

獨逸及佛蘭西産品は有力競争者にして、佛蘭西品は高級品を主とし、獨逸品は下級品を主として夫々特徴を有し、國産品は高級品たる佛蘭西

國 産 數量

大正10	—	1,
11	—	1,
12	—	1,
13	—	1,
14	—	1,
昭和1	—	1,
2	—	1,
3	—	1,
4	—	1,
5	—	1,

輸 出 額 數量 價 額

大正10	—	4,568,296圓	6,737千個	1,410,849圓
11	—	4,856,217	8,582	1,634,891
12	—	4,965,295	8,776	1,912,349
13	—	5,233,256	15,562	2,661,171
14	—	5,346,182	14,902	2,923,326
昭和1	—	4,955,967	12,588	2,310,810
2	—	5,667,781	17,009	2,524,710
3	—	5,798,196	16,790	2,194,425
4	—	5,851,259	28,403	2,213,640
5	—	5,641,230	16,091	1,352,342

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
東 京	—	12
大 阪	—	65
愛 知	—	8
福 岡	—	9
京 都	—	—

主要國別輸出額

國 名	數量	價 額
支 那	5,501個	745千圓
關 東 州	1,122	296
香 港	1,183	126
英 領 印 度	5,211	560
海 峽 殖 民 地	261	34
蘭 領 印 度	2,209	209
濠 太 刺 利	126	37

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
東 京	—	532,964圓
愛 知	—	34,569
大 阪	—	1,236,459
岡 山	—	2,568
福 岡	—	21,968
京 都	—	196,548
兵 庫	—	18,265

◎外國品と國産品の優劣

國産品は價格が比較的高價であるのみならず、製品不統一なる點に於て大工場生産に依る外國品に及ばない。又鍍金物及金銀着せ等は尙ほ研究の餘地がある。

◎輸出増進の主要處置

生産組織を改善し價格の低下及び製品の統一を圖る事が急務である。

品に對しては品質に於て及ばず、下級品たる獨逸品に對しては價格に於て競争し難き状態に在る。

◎輸出の主要原因

爲替其他の關係上外國品よりも價格低廉となりたる場合等に於て輸出されるに過ぎざる状態であつたが、近來製造技術進歩して品質優良なるものを、比較的低廉に供給し得るに至り、従つて常時の輸出品として輸出額漸増しつゝある。

◎外國品と國産品の優劣

國産品が外國品に及ばざる點は (一)金屬製其他の縁の接合拙劣にして壊れ易き事。 (二)縁と硝子との接合個所が不體裁なる事。 (三)鏡面に曇りあり、裏面に塗布せる金屬の剝脱し易き事。等の諸點である。

◎輸出増進の主要處置

生産組織を改善して品質の向上を圖り、大量生産に依つて生産費の低下を圖る事が急務である。

一九八、重 石 鑛

重石鑛はタングステンを含む重石にして各種類あるも、就中重要なるは鐵滿庵重石及び石灰重石の二種である。鐵滿庵重石は鐵滿庵と重石酸の化合物にして結晶體をなし、普通柱狀、板狀又は塊狀をなす。色は褐黑色、黑色又は赤褐色にして金屬に似たる光澤を有し、微弱なる磁性を有す。石灰重石即ち重晶石は重石酸カルシウムの化合物にして、柱狀錐狀又は塊狀の結晶をなして産し、色は黄色、褐色又は赤褐色を呈し、條痕白色にして脂肪光澤又は金剛光澤を有す。

◎主要生産者

三菱鑛業株式會社 (東京)
三井鑛山株式會社 (シ)

◎主要輸出者

三井物産株式會社 (東京)
三菱商事株式會社 (シ)

本品は一時相當に輸出されたが、近來輸出振はず、特殊の事情に依つて少額の輸出を見るに過ぎざる状態である。故に輸出者として特掲すべきものが少ない。

年次	國 産 額		輸 出 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—	—	—	—
11	—	—	3,147擔	60,098圓
12	—	—	3,450	73,864
13	—	—	17	302
14	—	—	403	13,487
昭和 1	4,685貫	9,887	56	1,540
2	11,938	23,480	346	10,568
3	13,410	29,644	219	7,519
4	56匁	30,208	159	6,314
5	58	29,698	196	6,947

(注 自大正十年至十四年の五ヶ年間産額僅少にして統計なし)

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
茨 城	51匁	28,618圓
山 口	5	1,590

主要國別輸出額

國 名	數量	價 額
獨 逸	94擔	2千圓
英 吉 利	76	1
白 耳 義	85	1

◎輸出の主要原因

歐洲大戰當時は、英、米、獨、佛其他交戰國に於て需要激増せるに反し、産額激減せるため本邦の輸出大いに殷盛を呈したが、大戰終熄後は各國共に本品の採掘復活に努めたる結果産額忽ち戦前の状態に復活し、各自國の需要を充すは勿論、更に進んで各國に輸出を見るに至り、勢ひ國産重石鑛の輸出は大打撃を蒙り、逐年輸出額減少して現在に於ては爲替關係その他特殊の事情突發せる場合にのみ輸出されるに過ぎざる状態となつた。

◎外國品と國産品の優劣

本品の品質には種々ありて一様に比較し得ず、従つて國産品と外國品の優劣を斷定し難いが、大體に於て兩者の間に大なる相違は認められな

◎輸出増進の主要處置

歐洲大戰當時の如きは例外にして現今に於ては國産品寧ろ不足の状態に在るを以て、輸出の必要なし。

一九九、マンガン鑛

マンガン鑛には軟マンガン鑛、含水マンガン鑛、硬マンガン鑛等の各種ありて、夫々マンガンの含有量及び硬度、比重等を異にす。即ち軟マンガ

出 額	價 額
128,047圓	
123,682	
102,681	
144,727	
120,401	
235,508	
172,236	
186,474	
188,394	
147,247	

◎外國競争者

門に輸出する者少く、特掲すべき者がない。

本品の主要産地として世界的に名ある支那、印度等と於ける産額は

◎主要輸出者

三井物産株式会社 (東京)
 三菱商事株式会社 (シ)

本品は一時相當に輸出されたが、近來輸出振はず、特殊の事情に依つて少額の輸出を見るに過ぎざる状態である。故に輸出者として特掲すべきものが少ない。

國 産 數量

大正10	—
11	—
12	—
13	—
14	—
昭和1	4,685貫
2	11,938
3	13,410
4	56匁
5	58

(注 自大正十年至十四年の五)

主要府縣別生産額

縣 名	數 量	價 額
茨 城	51匁	2
山 口	5	

本品の品質には種々ありて一様に比較し得ず、従つて國産品と外國品の優劣を斷定し難いが、大體に於て兩者の間に大なる相違は認められない。

◎輸出増進の主要處置

歐洲大戰當時の如きは例外にして現今に於ては國産品寧ろ不足の状態に在るを以て、輸出の必要なし。

一九九、マンガン 鑛

マンガン鑛には軟マンガン鑛、含水マンガン鑛、硬マンガン鑛等の各種ありて、夫々マンガンの含有量及び硬度、比重等を異にす。即ち軟マンガン鑛は六十二パーセントのマンガン含有し、硬度二乃至二半、比重四・八にして黒色を帯び、含水マンガン鑛は六十二パーセント半のマンガン含有し、硬度四、比重四・二乃至四・四にして黝色を呈し、硬マンガン鑛は六十六乃至七十七パーセントのマンガン含有し、硬度五乃至六、比重三・七乃至四七にして鐵黑色或は鑛黝色である。而してマンガン鑛は化合物として合金を作り、或は鋼鐵製造に用ひられ、工業上重要なものである。

◎主要生産者

日本産業株式会社 (東京)
 杉林黒鉛マンガン製錬所(シ)
 今井榮之助 (シ)
 和田岩太郎 (大阪)
 大岡考能 (石川)

◎主要輸出者

本品の輸出は近來振はず、之を專

	國 産 額		輸 出 額	
	數 量	價 額	數 量	價 額
大正10	1,034,836貫	89,581圓	15,827擔	128,047圓
11	1,183,946	126,156	15,253	123,682
12	1,465,113	157,780	13,815	102,681
13	2,022,560	218,544	15,192	144,727
14	3,210,717	260,473	12,705	120,401
昭和1	4,055,642	343,333	27,055	235,508
2	7,349,387	643,789	23,880	172,236
3	4,718,071	424,658	26,195	186,474
4	18,446匁	367,934	29,388	188,394
5	19,254	387,169	26,001	147,247

主要府縣別生産額

縣 名	數 量	價 額
北海道	1,183匁	33,789圓
岩 手	1,574	35,797
栃 木	3,920	63,771
長 野	1,017	20,834
岐 阜	1,122	20,292
京 都	1,560	31,230
高 知	2,642	44,179
山 口	1,664	35,794

主要國別輸出額

國 名	數 量	價 額
支 那	10,299擔	59千圓
關 東 州	1,572	16
香 港	3,309	36
英 領 印 度	1,227	8
佛 蘭 西	8,126	56
獨 逸	1,087	3

門に輸出する者少く、特掲すべき者が無い。

◎外國競争者

本品の主要産地として世界的に名ある支那、印度等に於ける産額は頗る豊富にして、到底國産品の企及し得ざる所である。従つて國産品の輸出は支那、印度等と對等に競争することは不可能視されてゐる。

◎輸出の主要原因

支那、印度等に於ける豊富なる産出に對して、國産マンガン鑛は第一に量に於て匹敵し得ざるのみならず品質、價格等に於ても及ばざること甚だしきものがある。故に本品が輸出されるが如きは寧ろ奇異の現象と稱すべく、特殊なる事情に因る場合に限つて輸出されるに過ぎない。

◎外國品と國産品の優劣

品質、價格共に外國品に及ばず。

◎輸出増進の主要處置

現在國産不足の状態に在るを以て輸出増進を圖る必要なし。

二〇〇、塊鐵及錠鐵

塊鐵及錠鐵は炭素を含有し細粒狀結晶組織をなし、純鐵よりも堅くして脆く、種々の鑄物の原料として用ひらる。

◎主要生産者

- 八幡製鐵所 (八幡)
- 株式會社日本製鋼所 (東京)
- 富士製鋼株式會社 (シ)
- 日本鋼管株式會社 (シ)
- 三菱長崎造船所 (長崎)
- 日本鋼材株式會社 (東京)
- 大阪製鐵株式會社 (大阪)
- 株式會社川崎造船所 (シ)
- 小倉製鋼株式會社 (小倉)

◎主要輸出者

本品の輸出額は頗る微々たるものにして、八幡製鐵所が關東州及支那方面へ輸出する外、特掲すべき輸出者がなし。

◎外國競争者

製鐵業の進歩せる歐米諸國に於ては、本品の生産も亦頗る盛んにして各國に輸出し、獨逸、英國、米國、ベルギー等諸國産品は、何れも國産

年次	國 産 額		輸 出 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—	—	34,590擔	169,324圓
11	—	—	25,656	153,421
12	134,409佛噸	17,741,089圓	28,019	157,095
13	183,637	20,138,387	28,310	159,361
14	324,070	27,248,917	34,445	139,261
昭和1	562,587	46,583,274	4,527	27,259
2	359,847	28,524,609	5,479	46,237
3	291,241	25,227,911	8,098	49,109
4	305,120	26,378,951	4,048	32,487
5	323,745	27,878,568	2,812	25,493

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
福 島	6,792佛噸	670,654圓
東 京	17,534	4,247,669
神奈川	54,269	3,531,478
富 山	12,489	1,799,436
愛 知	6,497	2,748,840
大 阪	52,019	2,861,045
兵 庫	135,650	8,198,266

主要國別輸出額

國 名	數量	價 額
支 那	2,915擔	9千圓
關 東 州	3,912	22
露領アジア	498	5
英 吉 利	595	9

◎輸出の主要原因

品に對する有力競争者にして、國産品は是等諸國産品と對抗し得ざる状態である。

◎外國品と國産品の優劣

近來本邦に於ける技術的進歩著しきを以て、品質に於ては外國品に比し敢て遜色を認めない。

◎輸出増進の主要處置

國産不足なるを以て、輸出を圖る必要なし。

二〇一、鐵條及鐵竿

鑄鐵を熔解して炭素及びその他の不純物を分離し、鈍鍛壓延したる鐵は、灰白色の纖維狀組織をなし粘靱性に富む、故に鑄鐵の如く容易に挫折せず、高度の熱を與へれば柔軟となり歪延及曲延して適す。鐵條及

出 額	價 額
3,758,729圓	
1,952,183	
2,320,498	
3,799,340	
3,892,682	
1,653,891	
1,669,778	
2,288,292	
2,495,869	
1,167,223	

額

價 額
395千圓
1,363
43
18
374

◎外國競争者

となりたる場合に限り輸出されるに過ぎざる状態に在る。故に特掲すべき專門輸出者なく、八幡製鐵所が支那方面へ輸出するに過ぎない。

本品の輸出額は頗る微々たるものにして、八幡製鐵所が關東州及支那方面へ輸出する外、特掲すべき輸出者がなし。

◎外國競争者

製鐵業の進歩せる歐米諸國に於ては、本品の生産も亦頗る盛んにして各國に輸出し、獨逸、英國、米國、ベルギー等諸國産品は、何れも國産

二〇一、鐵條及鐵竿

鑄鐵を熔解して炭素及びその他の不純物を分離し、鏈鍛壓延したる鐵は、灰白色の纖維狀組織をなし粘靱性に富む、故に鑄鐵の如く容易に挫折せず、高度の熱を與へれば柔軟となり壓延及抽延しに適す。鐵條及鐵竿は即ち鍛鐵を抽延して方形、扁平方形、圓形、六角形等種々の形に製したるものである。

◎主要生産者

- 八幡製鐵所 (八幡)
- 日本鋼管株式會社 (東京)
- 株式會社日本製鋼所 ()
- 東京鋼材株式會社 ()
- 富士製鋼株式會社 ()
- 東海鑛業株式會社 ()
- 東京製鋼株式會社 ()
- 住友伸銅鋼管株式會社 (大阪)
- 大阪製鐵株式會社 ()
- 川崎造船所 (神戸)
- 株式會社神戸製鋼所 ()
- 株式會社淺野小倉製鋼所(小倉)

◎主要輸出者

本品は輸出額少く、爲替關係その他特殊の事情に依つて國産品が割安

	國 産 額		輸 出 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—貫	—圓	279,555擔	3,758,729圓
11	—	—	157,003	1,952,183
12	30,018,278	25,671,377	210,882	2,320,498
13	81,456,407	41,155,526	322,824	3,799,340
14	104,450,910	50,296,850	333,100	3,892,682
昭和 1	60,839,758	26,827,353	172,039	1,653,891
2	89,049,218	47,868,454	175,568	1,669,778
3	170,416,029	66,091,848	246,346	2,288,292
4	171,287,052	70,190,305	252,769	2,495,869
5	173,415,270	73,129,876	174,008	1,167,223

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
岩 手	16,390,222貫	5,770,314圓
東 京	18,755,119	6,229,341
神奈川	34,631,646	11,425,851
大 阪	18,156,100	5,715,063
兵 庫	59,528,904	24,132,801
福 岡	20,329,838	8,452,636

主要國別輸出額

國 名	數量	價 額
支 那	36,576擔	395千圓
關 東 州	163,101	1,363
香 港	3,379	43
海峽殖民地	1,105	18
露領アジア	35,556	374

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
福 島	6,792佛噸	67
東 京	17,534	4,24
神奈川	54,269	3,53
富 山	12,489	1,79
愛 知	6,497	2,74
大 阪	52,019	2,86
兵 庫	135,650	8,19

◎外國品と國産品の優劣
 近來本邦に於ける技術的進歩著しきを以て、品質に於ては外國品に比し敢て遜色を認めない。

◎輸出増進の主要處置

國産不足なるを以て、輸出を圖る必要なし。

◎外國競争者

獨逸産品、英國産品、米國産品及びベルギー産品、は何れも國産品より品質、數量及價格等に於て優位に在り、國産品は到底是等諸國産品と海外市場に於て競争し得ざる状態である。

◎輸出の主要原因

前項の状態に在るを以て、國産品の輸出されるは特殊の場合又は特殊の地域に限られてゐる。即ち歐米諸國より近距離に在る關東州、支那方面に對し、時々小額の輸出を見るに過ぎない。

◎外國品と國産品の優劣

品質には價劣なし。

◎輸出増進の主要處置

生産を保護獎勵すると共に、輸出に關し特別の施設を必要とす。

II〇二、鐵板

鐵板は鐵竿及鐵條と同じく、鍛鐵に高度の熱を與へて柔軟とし之を壓延して適當の大きさに切斷したるものにして、薄板と厚板とあり。造船材料、汽罐製造、家屋橋梁等の建築材料等に用ひられる外、その用途頗る廣し。

◎主要生産者

- 八幡製鐵所 (八幡)
- 東海鑛業株式會社 (東京)
- 大阪製鐵株式會社 (大阪)
- 川崎造船所 (神戸)
- 株式會社神戸製鋼所 (福岡)
- 九州製鋼株式會社 (福岡)
- 日本鋼業株式會社 (福岡)
- 淺野船造所 (横濱)

◎主要輸出者

- 八幡製鐵所 (八幡)
- 三井物産株式會社 (東京)
- 三菱商事株式會社 (シ)

◎外國競争者

獨逸、英國、米國及びベルギー等諸國産品はその量多く、價格亦低廉にして諸國に輸出され、國産品は是

板

年次	國産額		輸出額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—貫	—圓	—	—
11	—	—	—	—
12	14,057,488	8,319,761	—	—
13	34,182,477	18,623,275	—	—
14	45,128,727	24,500,084	—	—
昭和1	12,815,358	5,180,759	—	—
2	24,458,401	7,390,725	175,568斤	1,669,778圓
3	93,168,345	38,652,903	121,966	1,178,270
4	97,658,054	40,132,504	129,743	1,504,433
5	99,898,540	42,259,689	151,168	1,376,675

主要府縣別生産額

縣名	數量	價額
東京	12,445,004貫	4,707,904圓
神奈川	14,206,393	5,392,303
大阪	4,853,826	1,618,727
兵庫	47,218,068	19,937,997
山口	7,135,575	4,026,859
福岡	7,089,754	2,725,009

主要國別輸出額

國名	數量	價額
支那	20,267貫	225千圓
關東州	70,350	562
香港	3,378	43
露領アジア	20,187	238
暹羅	5,782	76

◎輸出の主要原因

本品の國産額は内地需要額に及ばず、従つて年々諸外國より輸入されつゝある。故に本品が輸出されるは特殊の事情に基くものにして、先づ主要輸出地たる關東州及支那方面に對しては歐米より近距離にあり、爲替その他の關係上時々歐米品より低廉に輸出し得る場合がある。かゝる特殊なる場合に輸出されるに過ぎざるを以て、常時の輸出品とは見做し難く、本品の輸入額に對し輸出額は遙かに僅少である。

◎外國品と國産品の優劣

外國に於ける製鐵業の進歩は本邦の比にあらず、加ふるに原料豊富なため價格に於て國産品は對抗し難いが、品質のみに就いて見れば彼我の間に殆んど優劣はない。

◎國産振興の主要處置

本品は尙ほ自給自足の域に達せざるを以て政府の保護獎勵が必要。

II〇三、鐵線

線

鐵線の大なるものは鐵竿と同じく機械にて鑄鐵を壓延して製し、小なるものは板鐵を狭く切斷したる後鋼板の細孔に通し機械力に依つて引延して製す。而して大小共に圓形が普通

年次	數量	價額
大正10	—	—
11	—	—
12	—	—
13	—	—
14	—	—
昭和1	—	—
2	—	—
3	—	—
4	—	—
5	—	—

額

價額
102千圓
140
10

はない。

◎外國競争者

獨逸産品及び米國産品。

◎輸出の主要原因

鐵線の大なるものは鐵竿と同じく機械にて鑄鐵を壓延して製し、小なるものは板鐵を狭く切斷したる後鋼板の細孔に通し機械力に依つて引延して製す。而して大小共に圓形が普通であるが、隋圓形、半圓形、扁平形、三角形、齒輪形等の各種がある何れも土木建築用、細工物及網等の材料として用ひらる。

IIIII、鐵線

◎主要輸出者

八幡製鐵所	(八幡)
三井物産株式會社	(東京)
三菱商事株式會社	()

◎外國競争者

獨逸、英國、米國及びベルギー等諸國産品はその量多く、價格亦低廉にして諸國に輸出され、國産品は是

年	國産數量	外國數量
大正10	—貫	—貫
11	—	—
12	14,057,488	8
13	34,182,477	18
14	45,128,727	24
昭和1	12,815,358	5
2	24,458,401	7
3	93,168,345	38
4	97,658,054	40
5	99,898,540	42

◎主要生産者

東京亞鉛鑛金株式會社 (東京)
 東京製鋼株式會社 ()
 惠比壽組鐵線製造工場 (大阪)
 攝津亞鉛メッキ工業所 ()
 和氣鐵線製造工場 ()
 淺野小倉製鋼所 (小倉)
 乾鐵線株式會社 (兵庫)

◎主要輸出者

東京亞鉛鑛金株式會社 (東京)
 惠比壽組鐵線製造工場 (大阪)
 攝津亞鉛メッキ工業所 ()
 和氣鐵線製造工場 ()
 淺野小倉製鋼所 (小倉)

此の外生産者直接輸出する者多く専門輸出取扱者として特掲すべきも

年	國産額		輸出額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—貫	—圓	20,238擔	428,259圓
11	—	—	29,400	688,342
12	1,298,944	10,154,654	7,736	154,229
13	8,411,087	7,007,890	13,940	261,710
14	10,830,145	11,038,167	8,482	154,918
昭和1	13,465,867	7,707,857	10,691	178,057
2	13,789,328	7,264,016	17,618	214,674
3	29,759,155	13,439,164	21,200	240,828
4	29,987,642	13,687,055	31,222	327,006
5	30,179,007	15,021,987	65,160	531,710

主要府縣別生産額

縣名	數量	價額
栃木	1,194,565貫	739,209圓
東京	2,897,045	1,438,701
大阪	13,492,799	7,025,369
兵庫	6,669,660	2,426,082
福岡	5,457,747	1,782,787

主要國別輸出額

國名	數量	價額
支那	10,625擔	102千圓
關東州	9,808	140
露領アジア	825	10

主要府縣別生産額

縣名	數量	價額
東京	12,445,004貫	4,7
神奈川	14,206,393	5,3
大阪	4,853,826	1,6
兵庫	47,218,068	19,9
山口	7,135,575	4,0
福岡	7,089,754	2,7

◎外國品と國産品の優劣

近來製造技術長足の進歩をなしたるを以て、外國品に比して品質上等の遜色もないが、生産量少く、原料その他の關係上價格に於ても外國品と競争し難い。

◎輸出増進の主要處置

國産額は國內需要を充すに足らざる状態に在るを以て、輸出を圖るよりも先づ輸入の防遏に努めることが先決問題である。

◎輸出の主要原因

本品の國內生産は國內需要を充すに足らずして毎年多額の輸入を見つゝある。故に本品の輸出は一般輸出品の如く國産額の過剩乃至價格の低廉等に因るものには非ずして、取引關係上特殊の事情ある場合に限られ従つてその輸出額は極く微々たるものである。

◎外國競争者

獨逸産品及び米國産品。

のほない。

◎外國品と國産品の優劣

外國に於ける製鐵業の進歩は本邦の比にあらず、加ふるに原料豊富なるため價格に於て國産品は對抗し難いが、品質のみに就いて見れば彼我の間に殆んど優劣はない。

◎國産振興の主要處置

本品は尙ほ自給自足の域に達せざるを以て政府の保護獎勵が必要。

二〇四、鐵 線 索

鐵線索は數條の鐵線を撚合せて索となしたるものにして、電鍍線を以て製作せるもの多く、その強靱性を利用して艦船の綱具、土木建築及運搬用等に供せらる。

◎主要生産者

- 東京製綱株式会社 (東京)
- 東洋製綱株式会社 (大阪)
- 關西製綱株式会社 (兵庫)
- 横濱製綱株式会社 (横濱)

◎主要輸出者

- 東京製綱株式会社 (東京)
- 横濱製綱株式会社 (横濱)
- 東洋製綱株式会社 (大阪)
- 關西製綱株式会社 (兵庫)
- 乾鐵線株式会社 (兵庫)

此の外本品は大部分生産者が直接輸出し、本品専門の輸出者として特掲すべきものがない。

◎外國競争者

主として英國産品、獨逸産品及び米國産品等にして、是等諸國の生産額及び各國への輸出額は頗る多く、國産品の到底及ばざる所である。

年次	國 産 額		輸 出 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—	7,266,414圓	13,882擔	482,376圓
11	—	4,277,957	8,538	313,860
12	—	4,990,620	6,521	221,316
13	—	5,747,708	7,753	254,418
14	—	4,472,426	12,642	278,575
昭和1	—	7,144,956	11,482	337,895
2	—	2,911,457	12,805	377,168
3	—	6,595,868	15,638	520,771
4	—	6,487,286	18,915	621,882
5	—	6,894,533	21,736	671,596

(鋼索の産額)

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
神奈川	—	3,386,568圓
大 阪	—	1,362,475
兵 庫	—	172,711
福 岡	—	1,671,414

主要國別輸出額

國 名	數量	價 額
支 那	1,143擔	33千圓
關 東 州	8,137	273
香 港	583	15
海峽殖民地	238	6
露領アジア	4,808	168

◎輸出の主要原因

本品の國內生産額は未だ國內需要を充すに足らざる状態である。故に多額の輸入をなして國內消費を充しつゝあるに拘はらず、一方に於て輸出されつゝあるは寧ろ奇現象と見做すべく、その理由としては、爲替關係、相場の變動その他特殊の取引關係に基くものにして、輸出さるべき當然の理由に因るものでない。

◎外國品と國産品の優劣

國産鐵線索は品質優良にして外國品に比して殆んど遜色を認められないうが、生産量少く、且つ生産設備に於て英、米、獨等の諸國の大規模なるに及ばざるため、勢ひ生産費の高價を免れない。

◎國産振興の主要處置

品質の改善、生産費の低下に努め且つ大規模組織に依つて大量生産し先づ防遏し、更に輸出に轉ずることが急務であ。

二〇五、鐵 筒 及 鐵 管

鐵製筒及管には、鐵板を圓管狀に巻きて接合せるものと、一定の型に依つて鑄造し従つて繼目なきものとの二種がある。水道管等に使用されるものは大分部鑄造に屬し、汽管及瓦斯管等に使用されるものは大分部

出 額	價 額
1,164,326圓	
888,074	
844,667	
518,095	
751,055	
666,129	
541,389	
792,571	
805,611	
1,241,586	

出 額	價 額
管	83千圓
	517
	155
	29

◎輸出の主要原因

- フォニックス會社 (獨逸)
- マンネスナン會社 (シ)
- サイース會社 (シ)

本品の海外輸出地に於ける競争者

乾鐵線株式會社 (兵庫)
此の外本品は大部分生産者が直接輸出し、本品専門の輸出者として特掲すべきものがない。

◎外國競争者
主として英國産品、獨逸産品及び米國産品等にして、是等諸國の生産額及び各國への輸出額は頗る多く、國産品の到底及ばざる所である。

二〇五、鐵筒及鐵管

鐵製筒及管には、鐵板を圓管狀に巻きて接合せるものと、一定の型に依つて鑄造し従つて繼目なきものとの二種がある。水道管等に使用されるものは大分部鑄造に屬し、汽管及瓦斯管等を使用されるものは大分部接合製である。

◎主要生産者

- 日本鋼管株式會社 (東京)
- 釜石鑛山株式會社 (シ)
- 住友伸銅鋼管株式會社 (大阪)
- 合資會社栗本鐵工所 (シ)

◎主要輸出者

- 瓦斯管販賣株式會社 (東京)
- 日本鋼管株式會社 (シ)
- 齋藤商店 (シ)
- 石橋商店 (シ)
- 梅岡商店 (シ)
- 岡谷商店 (大阪)
- 酒井商店 (シ)
- 野口商店 (シ)
- トキワ商店 (シ)

◎外國競争者

ナシヨナルチユーブ會社(米國)

	國 産 額		輸 出 額	輸 出 額	
	數量	價 額		數量	價 額
大正10	—貫	—圓	65,815擔	1,164,326圓	
11	—	—	75,657	888,074	
12	2,346,060	7,897,274	75,996	844,667	
13	9,561,978	9,944,974	32,453	518,095	
14	10,323,976	10,822,809	49,644	751,055	
昭和 1	22,196,232	15,334,781	42,506	666,129	
2	2,931,494	11,174,457	38,232	541,389	
3	22,165,344	20,331,676	53,038	792,571	
4	22,179,355	20,541,086	61,522	805,611	
5	26,874,565	24,945,087	102,490	1,241,586	

(筒鐵の産額)

年	國 産 數量	價 額
大正10	—	7
11	—	4
12	—	4
13	—	5
14	—	4
昭和 1	—	7
2	—	2
3	—	6
4	—	6
5	—	6

(鋼索の産額)

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
神奈川	14,236,702貫	8,894,373圓
大 阪	4,951,257	7,035,637
兵 庫	2,927,775	2,898,931

主要國別輸出額

國 名	數量	價 額
支 那	5,300擔	83千圓
關 東 州	39,346	517
露領アジア	7,512	155
北 米	561	29

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
神奈川	—	3,38
大 阪	—	1,36
兵 庫	—	17
福 岡	—	1,67

品質の改善、生産費の低下に努め且つ大規模組織に依つて大量生産し先づ防遏し、更に輸出に轉ずることが急務であ。

◎國産振興の主要處置

品質の改善、生産費の低下に努め且つ大規模組織に依つて大量生産し先づ防遏し、更に輸出に轉ずることが急務であ。

- フオニックス會社 (獨逸)
- マンネスナン會社 (シ)
- サイース會社 (シ)

◎輸出の主要原因

本品の海外輸出地に於ける競争者は前記諸會社製品にして、獨逸産品は主として瓦斯管、米國製品は主として石油管であるが、國産品は價格に於て米國産品よりも廉價なるため歓迎される。然れどもその輸出地は主として關東州及支那方面にして、輸出額は未だ微々たるものである。

◎外國品と國産品の優劣

外國品は鍛接鋼管を主とし、國産品は引拔鋼管を主として競争の地位に在るが、國産品は品質に於て外國品よりも概して優良である。但し價格は外國品が低廉である。

◎國産振興に關する施設

政府は大規模製造者に對して營業稅、收益稅、所得稅等を免除し、又造船用鋼管に對しては關稅に相當する額の獎勵金を交附し、斯業の發達を助長しつゝある。

二〇六、屑鐵及故鐵

屑鐵は各種鐵材の斷片、及び鐵並に鐵製品製造の際に生じたる切り屑等を總稱し、故鐵は鐵材、鐵製品等の一度使用して破損摩滅し、使用に堪えざるに至れるものを謂ふ。屑鐵及故鐵は地金として改造用に供せられ、海外に輸出又は海外より輸入される屑及故鐵の主たるものは、鐵板の斷片、鐵線の切屑、故鐵、紡績用錘の故物、難破船或は老朽船の解體鐵材等である。

◎主要生産者

鐵道省、陸海軍工廠、造船所、鐵工所及機械工場等。

本品は特に生産するものにあらずるを以て、上記の如く常に多量の鐵材を使用し、或は製鐵業を盛んに營むものを本品の主要生産者と見做すの外なし。

◎主要輸出者

本品はその輸出額少く、各製鐵業者、鐵製品の製造者等が時々輸出するに過ぎざる状態である。故に之を専門に取扱ふ輸出業として特掲すべき者はなし。

年次	國 産 額		輸 出 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	451,427噸	15,799,945圓	142,097擔	717,023圓
11	454,614	15,911,490	177,353	851,568
12	430,308	15,060,780	176,510	685,080
13	494,352	17,302,320	450,288	1,504,453
14	565,565	19,794,775	438,555	1,445,491
昭和 1	456,219	17,156,717	170,915	562,165
2	448,546	16,859,298	145,023	457,161
3	496,577	16,989,226	279,573	882,718
4	541,295	17,326,644	259,378	842,651
5	532,165	16,991,147	160,961	480,189

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
東 京	—	1,246,542圓
大 阪	—	3,568,216
兵 庫	—	2,124,544
愛 知	—	568,296
福 岡	—	1,588,592
神奈川	—	1,146,824

主要國別輸出額

國 名	數量	價 額
支 那	172,415擔	551千圓
關東州	105,535	326
香 港	1,028	3
和 蘭	503	1

◎外國競争者

製鐵業の盛大なる國には當然本品の産出多く、各自國內に於て消費せる餘は海外に輸出されることもあるが、大部分は自國內に於て消費するため輸出競争は激甚ならず、競争品と認むべきものは殆んどない。

◎輸出の主要原因

國內に於ける屑鐵の産額は需要を充すに足らず、海外より多額の輸入を見つゝある。故に本品の輸出は特殊の事情に基くものにして、爲替關係、相場の變動等に依つて國內に賣却するよりも有利なる場合を選んで輸出するに過ぎざる状態である。

◎外國品と國産品の優劣

品質に於ては殆んど相違なく、價格に於ては國産品が低廉である。但し本邦へ輸入されるものは運賃等の關係上優良品のみが輸入されるため國産品よりも優良である。

◎國産振興の主要處置

本品の如きは國産振興の要なし。

二〇七、銅

(塊及錠)

塊銅及び錠銅は銅鑛を分拆して鑄造したる儘のものである。その形状は鑄造に用ひる鑄型の形状に依つて種々ある。本品は貨幣、各種銅器、銅材等の材料として用途廣し。

出 額	價 額
6,465,933圓	
331,737	
283,086	
274,941	
231,386	
116,805	
52,400	
93,598	
1,782,561	
12,053,611	

額

價 額
87千圓
5

グツゲンヘイム系 (米國)

アメリカン・クフアイニング

マンドスメルテング會社(シ)

此の外米國、智利、アフリカ等には著名なる産銅業者あり、何れも海

るを以て、上記の如く常に多量の銅材を使用し、或は製鐵業を盛んに營むものを本品の主要生産者と見做すの外ない。

◎主要輸出者

本品はその輸出額少く、各製鐵業者、鐵製品の製造者等が時々輸出するに過ぎざる状態である。故に之を専門に取扱ふ輸出業として特掲すべき者はない。

1107、銅

(塊及錠)

塊銅及び錠銅は銅鑛を分折して鑄造したる儘のものである。その形状は鑄造に用ひる鑄型の形状に依つて種々ある。本品は貨幣、各種銅器、銅材等の材料として用途廣し。

◎主要生産者

- 三菱鑛業株式会社 (東京)
- 日本産業株式会社 ()
- 古河鑛業株式会社 ()
- 釜石鑛山株式会社 ()
- 大倉鑛業株式会社 ()
- 藤田鑛業株式会社 (大阪)
- 住友伸銅鋼管株式会社 ()

◎主要輸出者

- 三井物産株式会社 (東京)
- 三菱商事株式会社 ()
- 日本産業株式会社 ()
- 古河鑛業株式会社 ()
- 釜石鑛山株式会社 ()
- 大倉鑛業株式会社 ()
- 藤田鑛業株式会社 (大阪)
- 住友合資会社 ()

◎外國競争者

- アナコンダ系 (米國)

	國 産 額			輸 出 額	
	數量	價 額		數量	價 額
大正10	—	—	151,634擔	6,465,933圓
11	—	—	6,912	331,737
12	126,032佛屯	17,872,152圓	6,019	283,086
13	12,682	7,449,429	5,434	274,941
14	12,115	10,525,463	4,464	231,386
昭和1	25,113	11,376,756	2,270	116,805
2	28,505	12,472,448	1,244	52,400
3	12,641	10,305,142	1,944	93,598
4	29,498	13,578,439	35,567	1,782,561
5	30,742	14,482,050	322,115	12,053,611

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
栃 木	435佛屯	89,019圓
東 京	754	562,676
京 都	226	180,907
大 阪	11,526	9,472,540

主要國別輸出額

國 名	數量	價 額
支 那	1,809擔	87千圓
關東州	131	5

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
東 京	—	1,246
大 阪	—	3,568
兵 庫	—	2,124
愛 知	—	568
福 岡	—	1,588
神奈川	—	1,146

◎外國品と國産品の優劣

品質に於ては殆んど相違なく、價格に於ては國産品が低廉である。但し本邦へ輸入されるものは運賃等の關係上優良品のみが輸入されるため國産品よりも優良である。

◎國産振興の主要處置

本品の如きは國産振興の要なし。

◎輸出の主要原因

グツゲンヘイム系 (米國)
アメリカン・クフアイニング
マンドスマルテング會社()
此の外米國、智利、アフリカ等には著名なる産銅業者あり、何れも海外に多額の輸出をなすを以て、國産品に對する競争者である。

◎外國品と國産品の優劣

國産品は産額も相當に多く、又品質に於ても海外諸國産品に比して遜色なきため、支那その他歐米より近距離の地方へ主として輸出さる。

◎輸出振興の主要處置

生産費の低下に努めれば將來相當に有望であるが、塊銅又は錠銅のまま輸出するよりも銅線、銅板等に製作して輸出する方が有利である。

二〇八、銅

板

銅板は銅を壓展して製したるものにして厚板即ちプレートと、薄板即ちシートとに區別され、主として他の金屬を用ふれば水氣のために腐蝕の虞れあるものに用ひらる。即ち汽罐製作用、船舶用等を始め蒸溜釜、庖厨用具等に歡迎されるが、建築材料、細工物材料等にも用ひられて其の用途は甚だ廣い。

◎主要生産者

- 古河電氣工業株式會社 (東京)
- 横濱工業株式會社 (横濱)
- 大阪電氣分銅株式會社 (大阪)
- 合名會社山中製煉所 (〃)
- 佐渡島製銅所 (〃)
- 藤田鑛業株式會社 (〃)
- 住友伸銅鋼管株式會社 (〃)
- 三谷伸銅株式會社 (京都)
- 岡田伸銅所 (〃)
- 園田伸銅所 (〃)
- 株式會社神戸製鋼所 (神戸)
- 三菱鑛業株式會社 (東京)
- 日本産業株式會社 (〃)
- ◎主要輸出者
- 三井物産株式會社 (東京)

年次	國産額		輸出額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—貫	—圓	13,158擔	878,239圓
11	—	—	6,622	429,719
12	3,533,801	13,219,234	9,373	540,665
13	2,533,944	10,807,116	10,662	493,348
14	3,140,979	12,287,472	8,252	496,446
昭和1	3,014,005	11,818,981	9,958	561,641
2	3,388,599	12,947,336	11,177	605,409
3	4,415,684	16,783,566	10,067	563,246
4	4,685,982	16,998,745	21,148	1,245,707
5	5,009,463	18,732,000	8,685	429,842

主要府縣別生産額

縣名	數量	價額
栃木	219,747貫	956,864圓
千葉	43,200	191,700
東京	200,297	729,647
神奈川	85,617	345,142
京都	730,109	2,383,904
大阪	2,698,096	10,312,831
福岡	429,798	1,828,318

主要國別輸出額

國名	數量	價額
支那	8,217擔	453千圓
關東州	1,372	83
香港	393	22
蘭領印度	27	1

◎外國競争者

- 三菱商事株式會社 (東京)
- 古河電氣工業株式會社 (〃)
- 住友伸銅鋼管株式會社 (大阪)
- 藤田工業株式會社 (〃)
- 横濱工業株式會社 (横濱)
- ムンツ・メタル (英國)
- エリオット (〃)
- ウイリアム・フォスター (〃)
- ネービル・ドルウス (〃)
- オーレン・エベレット (〃)
- アーム・ストロング (〃)
- デットマン (獨逸)
- クルーサンス (〃)

◎輸出の主要原因

國産銅板は英、獨、米等諸國品よりも品質優良にして價格亦低廉なるが故である。

◎輸出増加の主要處置

生産原價の低下に努め、同業者間の分業及共同設備に依つて製造能力の増進を圖り、當業者が團結して共同輸出をなし、且つ政府に於て適當の保護をなすことが必要である。

二〇九、銅

線

銅線は電氣の良導體であるため電信電話及電燈線等に用ひられる外、建築用、細工物用等として廣く需要さる。その製法は鐵線と同様鋼板の細孔を通して引延したるものにして亞鉛、ニッケル、真鍮等を鍍金した

出額	價額
673,495圓	
629,522	
766,806	
1,494,132	
1,509,720	
1,377,494	
1,385,714	
1,599,011	
2,178,748	
2,081,178	

出額	價額
354千圓	
970	
50	
94	
113	
5	

及び南米等の各地にして、支那に於ては獨逸及米國産品、南洋に於ては獨逸及英國産品、印度濠洲に於ては英國産品、南米に於ては米國産品等が夫々競争者である。

- ◎主要輸出者
- 藤田鑛業株式會社 (〃)
 - 住友伸銅管株式會社 (〃)
 - 三谷伸銅株式會社 (京都)
 - 岡田伸銅所 (〃)
 - 園田伸銅所 (〃)
 - 株式會社神戸製鋼所 (神戸)
 - 三菱鑛業株式會社 (東京)
 - 日本産業株式會社 (〃)
 - 三井物産株式會社 (東京)

二〇九、銅

銅線は電氣の良導體であるため電信電話及電燈線等に用ひられる外、建築用、細工物用等として廣く需要さる。その製法は鐵線と同様鋼板の細孔を通して引延したるものにして亞鉛、ニッケル、真鍮等を鍍金したるものがある。

◎主要生産者

- 古河電氣工業株式會社 (東京)
- 東京製線株式會社 (〃)
- 藤倉電線株式會社 (〃)
- 株式會社日立製作所 (〃)
- 株式會社住友電線製造所(大阪)
- 日本電線製造株式會社(尼ヶ崎)
- 津田電線合名會社 (京都)
- 東海電線株式會社 (三重)

◎主要輸出者

- 三井物産株式會社 (東京)
- 日本電線株式會社 (〃)
- 古河電氣工業株式會社 (〃)
- 日本電線製造株式會社(尼ヶ崎)
- 株式會社住友電線製造所(大阪)

◎外國競争者

本品の主要輸出先は支那南洋印度

年次	國産		輸出	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—貫	—	12,416擔	673,495圓
11	—	—	11,154	629,522
12	3,533,801	13,210,000	14,263	766,806
13	2,533,944	10,800,000	26,513	1,494,132
14	3,140,979	12,280,000	27,974	1,509,720
昭和1	3,014,005	11,810,000	27,326	1,377,494
2	3,388,599	12,940,000	30,952	1,385,714
3	4,415,684	16,780,000	33,269	1,599,011
4	4,685,982	16,990,000	39,019	2,178,748
5	5,009,463	18,730,000	44,516	2,081,178

線

年次	國産		輸出	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—	—	12,416擔	673,495圓
11	—	—	11,154	629,522
12	8,255,123貫	26,034,299圓	14,263	766,806
13	7,605,080	29,600,045	26,513	1,494,132
14	9,211,137	31,879,984	27,974	1,509,720
昭和1	10,848,539	36,583,521	27,326	1,377,494
2	7,775,101	24,995,810	30,952	1,385,714
3	7,236,056	25,496,359	33,269	1,599,011
4	8,126,974	26,029,456	39,019	2,178,748
5	8,325,435	26,798,803	44,516	2,081,178

主要府縣別生産額

縣名	數量	價額
栃木	6,358,855貫	22,531,697圓
東京	131,970	422,497
京都	399,040	1,344,650
大阪	340,765	1,180,176

主要國別輸出額

國名	數量	價額
支那	7,225擔	354千圓
關東州	20,366	970
香港	1,053	50
英領印度	1,972	94
蘭領印度	2,366	113
其他亞細亞諸國	121	5

主要府縣別生産額

縣名	數量	價額
栃木	219,747貫	956,000
千葉	43,200	191,000
東京	200,297	729,000
神奈川	85,617	345,000
京都	730,109	2,383,000
大阪	2,698,096	10,312,000
福岡	429,798	1,828,000

國産銅板は英、獨、米等諸國品よりも品質優良にして價格亦低廉なるが故である。

◎輸出増加の主要處置

生産原價の低下に努め、同業者間の分業及共同設備に依つて製造能力の増進を圖り、當業者が團結して共同輸出をなし、且つ政府に於て適當の保護をなすことが必要である。

◎輸出の主要原因

及び南米等の各地にして、支那に於ては獨逸及米國産品、南洋に於ては獨逸及英國産品、印度濠洲に於ては英國産品、南米に於ては米國産品等が夫々競争者である。

◎外國品と國産品の優劣

米國は本品の主要産地として知られ、國産銅線も大部分米國産銅を原料として製造されつゝある。故に米國産品とは到底尋常に競争し難き状態に在るが、米國よりも巨離近き東洋諸地方への輸出は、運賃その他の關係上國産品の方が有利なる立場に在る。従つて國産品の輸出先きは大部分地理に依つて決せられる。

◎輸出増進の主要處置

輸入銅を原料とする製品の輸出に對すると同様、國産銅を原料とするものゝ輸出に對しても相當額の補助金を交附する事が必要である。

二一〇、銅條及銅竿

銅製の條及竿は銅塊を壓延して細長くしたるものにして、その大なるものを條、小なるものを竿と總稱す用途は兩者共に建築材料、造船材料等が主たるものである。

◎主要生産者

- 三菱鑛業株式会社 (東京)
- 日本産業株式会社 (〃)
- 古河電氣工業株式会社 (〃)
- 藤田鑛業株式会社 (大阪)
- 住友伸銅鋼管株式会社 (〃)
- 尼ヶ崎伸銅鋼管株式会社(尼ヶ崎)
- 株式會社神戸製鋼所 (神戸)

◎主要輸出者

- 三井物産株式会社 (東京)
- 三菱商事株式会社 (〃)
- 古河電氣工業株式会社 (〃)
- 住友伸銅鋼管株式会社 (大阪)

◎外國競争者

獨逸産品、英國産品及米國産品等にして、就中米國産品はアナコンダ系統及グツゲンヘイム系統の各社に依つて盛んに輸出され、國産品の如きは輸出量に於て到底對抗し難き状

	國 産 額		輸 出 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—貫	—圓	3,826擔	233,906圓
11	—	—	2,668	151,457
12	468,911	1,470,627	1,665	124,144
13	313,389	1,256,923	2,854	181,758
14	278,273	1,118,816	2,602	173,803
昭和 1	348,778	1,416,186	1,524	111,057
2	1,399,059	4,557,943	1,468	96,253
3	328,837	1,359,051	1,445	94,568
4	347,689	1,409,789	1,326	78,456
5	456,074	1,498,653	1,116	72,168

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
栃 木	166,565貫	710,284圓
東 京	10,157	48,073
京 都	24,000	89,000
大 阪	56,350	249,547
奈 良	45,065	160,547
福 岡	26,700	101,600

主要國別輸出額

國 名	數量	價 額
支 那	526擔	27千圓
關 東 州	412	23
蘭 領 印 度	43	2
香 港	31	1

態である。

◎輸出の主要原因

米國産品が大々的に輸出される地方へ對しては、輸出の望み殆んどなく、東洋及南洋の一部に輸出されるに過ぎない。而してその理由は東洋及南洋に對しては米國よりも我國の方が遙かに近巨離に在り、従つて運賃等の關係上米國品に對抗し得る一縷の望みあるが爲めである。されど米國品は生産費低廉なるため多額の運賃を加へても尙ほ且つ國産品より安き場合多きため、國産品の輸出は頗る困難である。

◎外國品と國産品の優劣

米國及英、獨等が東洋及南洋方面に輸出しつゝあるものに比較すれば國産品と略同等であるが、内地に於て使用しつゝある高級品に對比すれば、國産品は遜色あるを免れぬ。

◎輸出増進の主要處置

本品は内地に於て供給過剰に悩みつゝあるを以て、極力輸出の増進を圖ることが急務である。

二一一、銅

管

銅製筒管は銅を引延したるもの又は狭き銅板を巻きて圓管となし、鑷にて接合せるものにして、亞鉛又は錫を鍍金したるものに然らざるものとあり。その用途に應じて大小長短

額	價 額
233,903圓	
151,457	
132,703	
204,170	
182,927	
165,454	
132,459	
13,557	
98,596	
63,157	

價 額
23千圓
2
1

◎輸出の主要原因

本品の國産額は國內需要を充して尙ほ少なからざる過剰あるため、内地生産者は過剰品の處分を海外輸出

◎**外國競争者**
 本品の輸出は歐米よりの輸出に不便なる東洋各地方及南洋方面を主とするものであるが、而も歐米品は是等の地方にまで盛んに輸出され、就中獨逸産品、英國産品及米國産品は最も大々的にして國産品は常に壓倒され勝ちである。

- ◎**主要輸出者**
 三井物産株式会社 (東京)
 三菱商事株式会社 (東京)
 古河電気工業株式会社 (東京)

- ◎**主要生産者**
 住友伸銅鋼管株式会社 (大阪)
 尼ヶ崎伸銅株式会社 (尼ヶ崎)
 株式会社神戸製鋼所 (神戸)
 古河電気工業株式会社 (東京)

銅製筒管は銅を引延したるもの又は狭き銅板を巻きて圓管となし、鋸にて接合せるものにして、亜鉛又は錫を鍍金したるものに然らざるものとあり。その用途に應じて大小長短種々あり、水管、汽管その他に用途廣し。

二二一、銅

	國 産 額		輸 出 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—	—	3,826擔	233,903圓
11	—	—	2,668	151,457
12	5,875,414貫	6,375,421圓	1,802	132,703
13	468,509	2,268,134	3,174	204,170
14	451,877	2,206,709	2,738	182,927
昭和 1	495,042	2,403,964	2,568	165,454
2	724,769	3,134,277	2,146	132,459
3	794,455	3,519,771	2,011	133,557
4	801,253	3,764,253	1,569	98,596
5	822,275	3,827,597	1,034	63,157

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
大 阪	468,518貫	2,001,492圓
兵 庫	55,265	227,971
福 岡	270,672	1,290,308

主要國別輸出額

國 名	數量	價 額
支 那	503擔	23千圓
關 東 州	54	2
英領印度	36	1

◎**輸出増進の主要處置**
 品質の向上を圖り歐米品と同等のものと同以下に價格に於て供給することに意を注ぐと共に、主要輸出地に商品陳列館を設置し商品の紹介及取引紹介をなす必要がある。

◎**外國品と國産品の優劣**

歐米各國の高級品に比すれば、國産品は品質稍劣等であるが、東洋及南洋方面へ歐米より輸出される普通品に比すれば略同程度である。

◎**輸出の主要原因**

本品の國産額は國內需要を充して尙ほ少なからざる過剩あるため、内地生産者は過剰品の處分を海外輸出に依つて解浪するの外なき状態にある。然るに一方海外各地に於ては米國品及英、獨品が潤歩し、その數量の豊富なる點に於て、又その價格の低廉なる點に於て國産品は到底競争の位置に立ち得ざるを以て、成るべく犠牲程度の低き南洋及東洋方面、即ち運賃の比較的安き地方に販路を求めらるのである。

◎**外國競争者**
 獨逸産品、英國産品及米國産品等にして、就中米國産品はアナコンダ系統及グツゲンヘイム系統の各社に依つて盛んに輸出され、國産品の如きは輸出量に於て到底對抗し難き狀況

	國 産 額	
	數量	價 額
大正10	—貫	—
11	—	—
12	468,911	1,470,
13	313,389	1,256,
14	278,273	1,118,
昭和 1	348,778	1,416,
2	1,399,059	4,557,
3	328,837	1,359,
4	347,689	1,409,
5	456,074	1,498,

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
栃 木	166,565貫	710,28
東 京	10,157	48,07
京 都	24,000	89,00
大 阪	56,350	249,54
奈 良	45,065	160,54
福 岡	26,700	101,60

◎**輸出増進の主要處置**

本品は内地に於て供給過剩に悩みつゝあるを以て、極力輸出の増進を圖ることが急務である。

◎**外國品と國産品の優劣**

米國及英、獨等が東洋及南洋方面に輸出しつゝあるものに比較すれば國産品と略同等であるが、内地に於て使用しつゝある高級品に對比すれば、國産品は遜色あるを免れぬ。

二二二、鉛

鉛は硫化鉛より製するものにして、強靱性には乏しいが可展性に富めるを以て薄板及管に製造すること頗る容易である。而して鉛管は水壓法に依つて製したるものにして、水管、瓦斯等に最適し、飲水用水道管には内面に錫鍍法をなせるものが多い。熱に弱き缺點はあるが、性柔軟にして作業容易なるため熱の憂ひなきものに用途頗る廣し。

◎主要生産者

- 日本鉛管製造所 (東京)
- 東京鉛板株式會社 (シ)
- 古河電氣工業株式會社 (シ)
- 泉鉛管製造所 (大阪)
- 東海鉛管株式會社 (横濱)

◎主要輸出者

- 三井物産株式會社 (東京)
- 三菱商事株式會社 (シ)
- 古河鑛業株式會社 (シ)
- 日本鉛管製造所 (シ)
- 泉鉛管株式會社 (大阪)
- 東海鉛管株式會社 (横濱)
- 株式會社岩井商店 (神戸)
- ブランナーモンド商會 (シ)

管

年次	國 産		輸 出	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—	562,993圓	—	—
11	—	601,970	—	—
12	—	591,993	—	—
13	—	956,183	—	—
14	—	1,256,194	—	—
昭和1	—	1,233,269	—	—
2	—	1,304,568	—	—
3	—	1,299,564	9,462斤	165,246圓
4	—	1,302,183	9,994	186,118
5	—	1,256,146	9,893	178,054

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
東 京	—	125,004圓
大 阪	—	186,532
岐 阜	—	15,056
福 岡	—	24,656
山 口	—	49,896
香 川	—	69,568

主要國別輸出額

國 名	數量	價 額
支 那	1,566斤	28千圓
關 東 州	7,724	133
香 港	91	1
露領アジア	52	1
比律賓諸島	20	0

◎外國競争者

本品の輸出額は僅少にして、英領印度、米國、濠洲、加奈陀等外國産品が各方面に行渡り、國産品の如きはその壓迫裡に輸出されるに過ぎざる状態である。

◎輸出の主要原因

本邦には鉛鑛の産出少く、従つて本品の如きも多年輸入を仰ぎつゝあつたが、近年漸く内地に於ける生産發達し、海外輸出を見るに至つた。而してその主なる原因は、品質に於ても外國製品に比して大なる遜色を見ず、價格は爲替關係その他特殊の事情に依つて海外品よりも割安なる場合あるを以て、かゝる際に少額ながら輸出される。

◎外國品と國産品の優劣

品質に於ても價格に於ても、外國品と大差がない。

◎輸出増進の主要處置

政府が内地の鑛石産出に對して保護獎勵を講ずることが急務である。

二二三、錫

箔

錫箔は錫を厚さ一〇ミリ乃至二〇ミリの板に鑄造し、之を小片に切断し展延機にて漸次展延して一定の厚さに達したるものを、更に切断して數十枚乃至數百枚重ね、大理石或は

年次	價 額
501,644圓	
743,770	
759,646	
271,305	
309,494	
68,372	
89,166	
121,209	
80,113	
69,856	

年次	價 額
28千圓	
92	

◎外國競争者

認めたる場合に限り隨時輸出するものである。従つて輸出額も少く、輸出業者として特掲すべき者がない。

◎主要輸出者

三井物産株式会社	(東京)
三菱商事株式会社	(〃)
古河鑛業株式会社	(〃)
日本鉛管製造所	(〃)
泉鉛管株式会社	(大阪)
東海鉛管株式会社	(横濱)
株式会社岩井商店	(神戸)
ブランナーモンド商會	(〃)

國産

大正10	—
11	—
12	—
13	—
14	—
昭和1	—
2	—
3	—
4	—
5	—

主要府縣別生産額

縣名	數量
東京	—
大阪	—
岐阜	—
福岡	—
山口	—
香川	—

◎外國品と國産品の優劣
品質に於ても價格に於ても、外國品と大差がない。

◎輸出増進の主要處置

政府が内地の鑛石産出に對して保護獎勵を講ずることが急務である。

二二三、錫

箔

錫箔は錫を厚さ一〇ミリ乃至二〇ミリの板に鑄造し、之を小片に切斷し展延機にて漸次展延して一定の厚さに達したるものを、更に切斷して數十枚乃至數百枚重ね、大理石或は花崗石を以て製したる砧石に載せ、鐵製又は木製の槌を以て打延し、所要の厚さとなしたるものにして、主として煙草、菓子、食料品、石鹼等の包装用に供せらる。一枚の大きさは普通横九吋、縦十二吋にして厚さは〇・一五ミリ乃至〇・〇〇五ミリである。

◎主要生産者

(機械製)	
東海鉛管株式会社	(大阪)
(手打製)	
福田重商店	(京都)
天野商店	(〃)
青山商會	(〃)

◎主要輸出者

本品は一般貿易品の如く常時海外市場に輸出されるものでなく、大阪及神戸等に於ける對支貿易業者が、海外の註文に依り、又は輸出有利と

國産	輸出額	
	數量	價額
大正10	15,935擔	501,644圓
11	22,410	743,770
12	22,241	759,646
13	7,583	271,305
14	6,522	309,494
昭和1	1,787	68,372
2	1,822	89,166
3	2,909	121,209
4	1,406	80,113
5	1,794	69,856

主要府縣別生産額

縣名	數量	價額
大阪	—	345,269圓
京都	—	296,574
東京	—	165,324
愛知	—	75,168
福岡	—	132,456

主要國別輸出額

國名	數量	價額
支那	535擔	28千圓
關東州	1,769	92

◎外國競争者
エー・エス・フオイル會社 (米國)
レーメーア・シュワルツ會社(〃)
米國産品が最も有力なる競争者にして、右兩者はその代表的の輸出者であるが、此の外英國産品、獨逸産品も亦競争者として逸す可らざるものである。

◎輸出の主要原因

本品の主要輸出地は支那方面にして、國産品中就中手打製品は品質劣等であるが價格亦頗る安價なるため支那人に歡迎さる。

◎外國品と國産品の優劣

外國製品は大規模工場に於て製造されるため品質均整であるが、國産品は品質不統一である。

◎輸出増進の主要處置

機械を用ひ大量生産して品質の均整を圖ることが急務である。

二一四、アンチモニー

アンチモニーは普通硫化物即ち輝安鑛として産出するが、天然に金屬状態を有して産出するものもある。輝安鑛よりアンチモニーを製するに、鑛石に少量の木炭を加へ熱して硫化アンチモニーとなしたる後、更に鐵屑を加へて精製す。精製アンチモニーは青白色を帯びて美しき光輝を有し、其の質は固くして脆く、細粉となすこと頗る容易である。不純なるものは大なる菱形面をなし、純粹なるものほど小さき菱形面をなし破砕面は顆粒状を呈す。比重は六・七二、熔融點は攝氏四六五度にして常温に於ては酸化せざれども、赤熱すれば酸化して酸化アンチモニーとなり、白熱すれば揮散す。本品はタイプナタル、ブリタニアメタル等の合金材料及び錫、鉛等と混じ、食卓用器、灰皿、茶器、置物等の鑄造に用ひらる。

◎主要生産者

市川鑛業株式會社 (大阪)
鈴木仁十郎 (〆)

此の外生産者多數あるも概ね小規模である。

年次	國産額		輸出額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—	—	2,293擔	42,466圓
11	—	—	2,126	30,952
12	—	—	1,176	18,794
13	69,600斤	973圓	1,410	27,200
14	—	—	1,393	30,200
昭和1	—	—	1,787	68,266
2	—	—	1,624	43,080
3	—	—	2,147	46,997
4	89疋	15,067圓	1,876	42,659
5	92	15,978	1,231	23,017

(大正十三年以前及十四年ヨリ昭和三年迄ハ産額僅少ニシテ統計ナシ)

主要府縣別生産額

縣名	數量	價額
兵庫	4疋	298圓
愛媛	73	14,649
熊本	12	120

主要國別輸出額

國名	數量	價額
支那	709擔	15千圓
關東州	121	3
香港	334	6
英領印度	769	16
暹羅	63	1

◎主要輸出者

本品の輸出額は僅少にして、主として横濱、大阪、神戸等に於ける對支貿易業者が註文に應じて隨時輸出するに過ぎず。従つて専門輸出者として特掲すべきものがない。

◎外國競争者

支那長洲方面には本品の生産多く支那各地に販賣されつゝあるを以て國産品の輸出に對する競争者と見做すべきである。

◎輸出の主要原因

本邦に於ける本品の需要は、内地生産額を以て不足を告げ海外より輸入を仰ぎつゝある然るに一方支那方面に輸出されるは、品質優良にして支那内地品に優る故である。

◎外國品と國産品の優劣

支那産品よりは品質優良である。

◎輸出増進の主要處置

産額不足なるを以て特に輸出増進を圖る必要を認めない。

二一五、眞鍮及黄銅

(條及竿)

眞鍮及黄銅の條竿は、眞鍮及黄銅塊を反射爐に入れて熱したるものを轉壓機に依つて展延したるものにして、長さは普通十二呎乃至十五呎内外である。スチムタービン用條竿は

出額	價額
90,651圓	
78,507	
85,996	
139,667	
691,158	
505,804	
719,102	
1,217,950	
532,187	
386,660	

價額
922千圓
218
6
65
4

◎輸出の主要原因

競争者と認むべきものはない。

本品は諸外國製品に比して遜色なく、價格は寧ろ外國品よりも低廉に

イブナタル、ブリタニアメタル等の合金材料及び錫、鉛等と混じり、食卓用器、灰皿、茶器、置物等の鑄造に用ひらる。

◎主要生産者

- 市川鑛業株式會社 (大阪)
- 鈴木仁十郎 (〳)

此の外生産者多數あるも概ね小規模である。

二一五、眞鍮及黄銅 (條及竿)

眞鍮及黄銅の條竿は、眞鍮及黄銅塊を反射爐に入れて熱したるものを轉壓機に依つて展延したるものにして、長さは普通十二呎乃至十五呎内外である。スチムタービン用條竿は普通の條竿と製法異り、又タービンの種類に依つて形狀を異にしてゐるが、長さは普通三吋乃至十吋に切断せるものが多い。スチムタービン用以外の條竿は建築用、造船用、各種器物製造用等に用ひらる。

◎主要生産者

- 住友伸銅鋼管株式會社(大阪)
- 古河電氣工業株式會社(東京)
- 株式會社神戸製鋼所(神戸)
- 尼ヶ崎伸銅株式會社(尼ヶ崎)

◎主要輸出者

- 三井物産株式會社(東京)
- 三菱商事株式會社(〳)
- 古河電氣工業株式會社(〳)
- 住友伸銅鋼管株式會社(大阪)
- 株式會社神戸製鋼所(神戸)

◎外國競争者

本品の主要仕向地は支那にして、

	國 産 額		輸 出 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—	—	1,712擔	90,651圓
11	—	—	1,577	78,507
12	1,749,751貫	2,952,991圓	1,752	85,996
13	835,433	2,803,050	2,774	139,667
14	936,783	3,227,276	18,815	691,158
昭和1	1,245,444	3,726,532	12,002	505,804
2	1,644,455	4,910,548	18,582	719,102
3	1,642,256	4,989,130	27,825	1,217,950
4	1,665,428	5,001,237	13,714	532,187
5	1,698,728	5,037,896	13,727	386,660

(眞鍮條竿の産額)

	國 産 數量
大正10	—
11	—
12	—
13	69,600斤
14	—
昭和1	—
2	—
3	—
4	89担
5	92

(大正十三年以前及十四年三年迄ハ産額僅少ニシテ)

主要府縣別生産額			主要國別輸出額		
縣 名	數量	價 額	國 名	數量	價 額
栃 木	99,319貫	450,958圓	支 那	20,844擔	922千圓
埼 玉	25,900	82,855	關 東 州	4,944	218
東 京	55,000	165,700	香 港	140	6
神奈川	70,000	200,550	英領印度	1,770	65
大 阪	405,143	1,239,245	露領アジア	89	4
兵 庫	441,232	1,199,601			
福 岡	529,662	1,998,121			

主要府縣別生産額	
縣 名	數量
兵 庫	4担
愛 媛	73
熊 本	12

入を仰ぎつゝある然るに一方支那方面に輸出されるは、品質優良にして支那内地品に優る故である。

◎外國品と國産品の優劣
支那産品よりは品質優良である。

◎輸出増進の主要處置
産額不足なるを以て特に輸出増進を圖る必要を認めない。

競争者と認むべきものはなし。

◎輸出の主要原因

本品は諸外國製品に比して遜色なく、價格は寧ろ外國品よりも低廉にして、加ふるに支那方面に對しては近距離にありて種々の便利がある爲めである。

◎外國品と國産品の優劣

國産品は化學的成分に於て又物理的性能に於て、外國品に比して遜色がない。

◎輸出増進の主要處置

本品の輸出増進を圖る手段としては、生産者が共同して販路の開拓に努める事、同業者が一致共同して製法の改善をなし生産費の低下に努める事、政府は本品の輸出に對して運賃の補助をなす事當業者又は政府が外國市場に於ける本品の需給状態を調査する事等が急務である。

◎政府の特別施設

政府は生産の免稅輸出の保護等を規定して奨勵しつゝある。

二二六、真鍮板及黃銅板

本品は真鍮又は黃銅塊を厚き板狀に鑄造したる後、更に熱して展延したるものにして、厚薄種々あり。極く薄板は轉壓に依つて一定の厚さとなしたるものを、更に鏈を以て打延したるものである。薄板は主として船底被覆に用ひられるが、その他のものは建築、造船、兵器、彈藥莢或は諸細工物の材料に供せらる。

◎主要生産者

- 住友伸銅管株式會社 (大阪)
- 大阪電氣分銅株式會社 (〃)
- 合名會社山中製煉所 (〃)
- 佐渡島製銅所 (〃)
- 藤田鑛業株式會社 (〃)
- 古河電氣工業株式會社 (東京)
- 株式會社神戸製鋼所 (神戸)
- 三谷伸銅株式會社 (京都)
- 岡田伸銅所 (〃)
- 園田伸銅所 (〃)
- 三井物産株式會社 (東京)
- 三菱商事株式會社 (〃)
- 古河電氣工業株式會社 (〃)
- 住友伸銅管株式會社 (大阪)

◎主要輸出者

- (大阪)

年次	國 産 額		輸 出 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—	—	16,442擔	851,752圓
11	—	—	20,793	1,039,929
12	2,473,701貫	6,523,701圓	23,058	1,126,997
13	3,075,872	10,686,756	31,648	1,606,992
14	3,884,850	13,375,812	70,858	3,543,584
昭和1	4,266,973	13,968,038	79,566	3,812,342
2	4,086,892	12,674,471	86,220	3,643,985
3	4,008,844	13,431,233	86,230	3,827,249
4	4,019,768	13,694,581	76,674	3,635,141
5	4,109,846	13,776,432	75,430	3,068,950

(真鍮板産額)

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
栃 木	40,924貫	197,458圓
東 京	304,973	992,332
神奈川	33,276	125,824
愛 知	119,187	350,111
京 都	775,554	2,342,734
大 阪	2,389,208	7,613,677
福 岡	301,116	1,666,357

主要國別輸出額

國 名	數量	價 額
支 那	15,688擔	745千圓
關 東 州	2,047	101
香 港	8,692	387
英領印度	59,430	2,575
暹 羅	253	11

◎外國競爭者

香港方面に於ては英、獨、米國等の產品。印度及南洋方面に於ては英、獨、米、佛、伊等の諸國產品が夫々競爭者である。

◎輸出の主要原因

國產品は品質優良にして價格も比較的低廉なるが故に、海外各地に於て好評を博してゐる。

◎外國品と國產品の優劣

化學的成分、物理的性能、價格等の各方面より觀て、國產品は外國品よりも寧ろ優秀である。

◎輸出増進の主要處置

生産者の共同輸出、生産原價の引下げ、運賃に對する政府の補助、外國市場の調査等が必要である。

◎營業者の希望

政府の生産及輸出に對する保護獎勵規定は、本品の生産及輸出の振興に對して不徹底不完全である。故に之を改善されんことを望む。

二二七、真鍮線及黃銅線

建築用、細工用、電導線等に用ひられる真鍮線及黃銅線は、真鍮及黃銅塊を熱し轉壓機を以て展延し直徑四分ノ一吋以下の小竿となしたるものを、更に牽伸臺に依つて所要の大

出 額	價 額
298,300圓	
429,421	
354,299	
525,281	
610,832	
393,602	
367,234	
401,243	
583,342	
465,667	

價 額
275千圓
19
57
43
3

◎輸出の主要原因

本品の主要輸出先は支那、印度、南洋方面にして支那に對しては、歐米諸國より近距離に在るため運賃を

◎主要輸出者

株式會社神戸製鋼所	(神戸)
三谷伸銅株式會社	(京都)
岡田伸銅所	()
園田伸銅所	()
三井物産株式會社	(東京)
三菱商事株式會社	()
古河電氣工業株式會社	()
住友伸銅鋼管株式會社	(大阪)

二一七、眞鍮線及黃銅線

建築用、細工用、電導線等に用ひられる眞鍮線及黃銅線は、眞鍮及黃銅塊を熱し轉壓機を以て展延し直徑四分ノ一吋以下の小竿となしたるものを、更に牽伸臺に依つて所要の大きさに引延して製す。

◎主要生産者

藤倉電線株式會社	(東京)
古河電氣工業株式會社	()
株式會社日立製作所	()
株式會社住友電線製造所	(大阪)
日本電線製造株式會社	(尼ヶ崎)

◎主要輸出者

藤倉電線株式會社	(東京)
古河電氣工業株式會社	()
日本電線製造株式會社	(尼ヶ崎)
株式會社住友電線製造所	(大阪)
三井物産株式會社	(東京)

◎外國競争者

支那に於ては獨及米國産品、南洋に於ては獨、英及米國産品、印度及濠洲に於ては英國産品、關東州に於ては獨及英國産品、南米に於ては米國産品が夫々競争者である。

	國 産 額		輸 出 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—	—	5,338擔	298,300圓
11	—	—	8,438	429,421
12	673,312貫	1,994,521圓	7,224	354,299
13	1,167,393	3,294,133	10,203	525,281
14	845,587	2,686,211	11,271	610,832
昭和 1	1,244,987	3,473,204	8,029	393,602
2	1,315,327	3,545,697	8,350	367,234
3	1,194,129	3,546,703	8,554	401,243
4	1,210,237	3,558,640	11,886	583,342
5	1,305,764	3,587,927	12,011	465,667

(眞鍮線の産額)

國 産

	數量	價 額
大正10	—	—
11	—	—
12	2,473,701貫	6,000,000
13	3,075,872	10,000,000
14	3,884,850	13,000,000
昭和 1	4,266,973	13,000,000
2	4,086,892	12,000,000
3	4,008,844	13,000,000
4	4,019,768	13,000,000
5	4,109,846	13,000,000

(眞鍮板産額)

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
埼玉	25,500貫	15,300圓
東京	137,483	497,454
愛知	54,996	164,988
京都	107,371	334,355
大阪	867,886	2,530,484

主要國別輸出額

國 名	數量	價 額
支 那	5,773擔	275千圓
關 東 州	362	19
香 港	1,343	57
英領印度	960	43
暹 羅	96	3

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
栃 木	40,924貫	1,000,000
東 京	304,973	9,000,000
神奈川	33,276	1,000,000
愛 知	119,187	3,000,000
京 都	775,554	2,300,000
大 阪	2,389,208	7,600,000
福 岡	301,116	1,600,000

◎輸出の主要原因

本品の主要輸出先は支那、印度、南洋方面にして支那に對しては、歐米諸國より近距離に在るため運賃その他の關係上有利であり、印度及南洋方面に對しては爲替關係その他に於て比較的有利なることが、本品輸出の主因である。然れどもその根本的原因としては内地の生産過剰が逸す可らざるものである。

◎外國品と國産品の優劣

品質に於ては外國品と國産品との間に優劣がない。價格は時に依つて變動があるが、概して國産品は廉價である。

◎輸出増進の主要處置

- 一、生産費の低下。
- 二、生産者の共同輸出。
- 三、政府の運賃補助。
- 四、外國市場に於ける本品の需給關係を官民一致調査する事。
- 五、政府の保護規定を改善し、保護獎勵を徹底せしめる事。
- 六、國産品の宣傳をなす事。

◎輸出増進の主要處置

生産者の共同輸出、生産原價の引下げ、運賃に對する政府の補助、外國市場の調査等が必要である。

◎營業者の希望

政府の生産及輸出に對する保護獎勵規定は、本品の生産及輸出の振興に對して不徹底不完全である。故に之を改善されんことを望む。

二二八、眞鍮管及黄銅管

眞鍮管及黄銅管は、眞鍮及黄銅を材料とし抽出法又は鍛接法に依つて製したるものにして、小管は主として抽出法に依り、大管は主として鍛接法に依る。本品は主として蒸汽機關の冷汽管、汽灌用管、建築用等に用ひられ、錫又は亜鉛を鍍金せるものと然らざるものとあり、大小形状等も用途に依り種々ある。

◎主要生産者

- 住友伸銅鋼管株式会社(大阪)
- 尼ヶ崎伸銅株式会社(尼ヶ崎)
- 株式会社神戸製鋼所(神戸)
- 古河電氣工業株式会社(東京)

◎主要輸出者

- 三井物産株式会社(東京)
- 三菱商事株式会社(神戸)
- 古河電氣工業株式会社(神戸)
- 株式会社神戸製鋼所(神戸)
- 住友伸銅鋼管株式会社(大阪)

◎外國競争者

本品の輸出先は東洋及南洋方面にして、各地に於ける競争品としては獨逸産品、英國産品、及び米國産品

年次	國 産 額		輸 出 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—	—	941擔	60,483圓
11	—	—	1,197	73,146
12	166,100貫	705,338圓	891	71,063
13	479,005	2,362,805	1,013	77,530
14	474,147	2,274,252	2,152	153,290
昭和 1	628,409	3,063,098	1,406	104,447
2	612,042	2,488,742	4,613	234,046
3	586,702	2,704,352	1,994	130,342
4	592,275	2,912,486	4,291	252,730
5	601,539	3,004,498	4,857	257,719

(眞鍮管の産額)

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
東 京	10,000貫	7,500圓
大 阪	445,510	2,083,285
兵 庫	6,236	24,557
福 岡	124,956	589,010

主要國別輸出額

國 名	數量	價 額
支 那	1,359擔	87千圓
關 東 州	622	42

等が主たるものである。

◎輸出の主要原因

本品の生産額は國內需要を充して尙ほ過剩あるため、その處分地を海外に求めざるを得ざる状態である。然れども獨逸を始め英、米等の産品は品質優良にして價格低廉、而も輸出量亦豊富なるため、國産品は是等諸國産品と競争すること頗る困難である。故に支那及南洋等の如く近距離に在りて輸送賃安く、輸送日數少き地を選びて輸出しつゝあるが、生産原價高きため歐米品と競争するには近距離の東洋地方に於てさへ、尙ほ尠なからざる不利を免れざる状態に在る。

◎外國品と國産品の優劣

歐米産高級品に比すれば、國産品は品質に於て劣り、同程度の品質に於ては價格不廉である。従つて輸出地に於て對等の競争は困難である。

◎輸出増進の主要處置

品質の向上及び生産費の低減に努める事が肝要である。

二一九、絶縁電線

絶縁電線は各種金屬製電線の外部を絶縁物即ちゴム、糸、布帛、紙等を以て被覆せるものにして、使用の場所に依り海底電線、地下電線、架空電線、室内電線の四種に分類され

出 額	價 額
3,273,092圓	
7,816,210	
1,609,408	
1,372,821	
1,774,464	
1,863,704	
1,942,189	
2,785,974	
3,529,114	
3,626,814	

價 額
1,007千圓
1,216
89
10
89
32
291

◎外國競争者

- ヘンレール (英國)
- ヘルスビー (獨逸)
- シーメンズ (獨逸)
- トラカ (和蘭)

二一九、絶縁電線

絶縁電線は各種金屬製電線の外部を絶縁物即ちゴム、糸、布帛、紙等を以て被覆せるものにして、使用の場所に依り海底電線、地下電線、架空電線、室内電線の四種に分類され又その構造に依り、鎧装線、鉛被線、ゴム被線等の區別がある。

◎主要生産者

- 藤倉電線株式会社 (東京)
- 古河電気工業株式会社 (東京)
- 日本電線株式会社 (東京)
- 株式会社日立製作所 (東京)
- 東京製線株式会社 (東京)
- 株式会社住友電線製造所(大阪)
- 日本電線製造株式会社(尼ヶ崎)
- 津田電線合名会社 (京都)
- 東海電線株式会社 (三重)

◎主要輸出者

- 三井物産株式会社 (東京)
- 日本電線株式会社 (東京)
- 古河電気工業株式会社 (東京)
- 藤倉電線株式会社 (東京)
- 東京製線株式会社 (東京)
- 株式会社住友電線製造所(大阪)
- 日本電線製造株式会社(尼ヶ崎)

	國 産 額		輸 出 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—	30,299,998圓	42,167擔	3,273,092圓
11	—	141,836,499	81,823	7,816,210
12	—	56,390,153	22,654	1,609,408
13	—	54,691,792	20,274	1,372,821
14	—	49,628,679	26,637	1,774,464
昭和 1	—	78,025,372	27,583	1,863,704
2	—	77,611,760	32,299	1,942,189
3	—	92,808,367	43,374	2,785,974
4	—	88,709,468	54,704	3,529,114
5	—	93,165,002	82,382	3,626,814

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
茨 城	—	4,937,602圓
東 京	—	23,037,928
神奈川	—	19,447,583
三 重	—	1,237,979
京 都	—	1,395,644
大 阪	—	33,489,293
兵 庫	—	5,960,461
福 岡	—	2,650,567

主要國別輸出額

國 名	數量	價 額
支 那	16,292擔	1,007千圓
關 東 州	19,388	1,216
香 港	1,350	89
英 領 印 度	77	10
蘭 領 印 度	1,418	89
露 領 ア ジ ア	441	32
暹 羅	3,606	291

◎外國競争者
本品の輸出先は東洋及南洋方面にして、各地に於ける競争品としては獨逸産品、英國産品、及び米國産品

年 代	數量	價 額
大正10	—	—
11	—	—
12	166,100貫	—
13	479,005	—
14	474,147	—
昭和 1	628,409	—
2	612,042	—
3	586,702	—
4	592,275	—
5	601,539	—

(眞鍮管の産額)

主要府縣別生産額

縣 名	數量
東 京	10,000貫
大 阪	445,510
兵 庫	6,236
福 岡	124,956

◎外國競争者

- ヘンレー (英國)
 - ヘルスピー (獨逸)
 - シーメンズ (獨逸)
 - トラカ (和 蘭)
 - デイカ (獨逸)
 - ファルテン (獨逸)
 - ピアリー (伊太利)
- 此の外ベルギー、米國等の産品も亦有力競争者である。

◎輸出の主要原因

國産品は品質及價格共に外國品と競争し難いが、生産過剰のため生産者は犠牲を顧みずして積極的に輸出を爲しつゝある。

◎外國品と國産品の優劣

各國夫々標準を異にしてゐるが、品質に於ては各國共に著しき相違なく、價格も略相似たるものである。

◎輸出増進の主要處置

生産組織を擴張し、能率を増進して生産費の低下に努め、粗製品の輸出を嚴禁し、政府に於て輸出に對する保護獎勵をなす事が肝要である。

◎外國品と國産品の優劣
歐米産高級品に比すれば、國産品は品質に於て劣り、同程度の品質に於ては價格不廉である。従つて輸出地に於て對等の競争は困難である。

◎輸出増進の主要處置
品質の向上及び生産費の低減に努める事が肝要である。

二二〇、農具及工具

農具は耕作用犁、鋤等を始め耙、鎌、熊手、鋏、シヨベル、スクープ等を總稱し、工具は工作に用ふる斧、鉋、鋸、錐、壓穿器、釘拔、螺子廻し、削り具、硝子切、鞆、彫刻具、軌條曲器その他を包含し、共に種類頗る多し。

◎主要生産者

- 湯淺七左衛門商店 (東京)
- 富田 商店 (東京)
- 安井健次郎商店 (東京)
- 木田山商店 (東京)
- トバタ鑄物店 (東京)
- 久保田商店 (東京)
- 東京鍛工所 (東京)
- 園池鐵工所 (東京)
- 森岡 商店 (大阪)
- 淺香 商店 (大阪)
- 岡谷合資會社 (名古屋)
- 鷺野 商店 (名古屋)
- 湯淺七左衛門商店 (東京)
- 淺香 商店 (大阪)
- 岡谷合資會社 (名古屋)
- 森岡 商店 (東京)

◎主要輸出者

- 湯淺七左衛門商店 (東京)
- 淺香 商店 (大阪)
- 岡谷合資會社 (名古屋)
- 森岡 商店 (東京)

年次	國 産 額		輸 出 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—	5,595,413圓	—	528,146圓
11	—	9,046,762	—	453,900
12	—	3,045,050	—	415,541
13	—	5,597,927	—	535,949
14	—	3,767,340	—	553,045
昭和 1	—	6,642,344	—	601,980
2	—	6,467,409	—	584,921
3	—	5,840,023	—	552,247
4	—	5,997,468	—	630,659
5	—	6,110,387	—	176,174

(農具、土工具、工匠具及双物の合計額)

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
北海道	—	154,593圓
東 京	—	1,116,111
愛 知	—	169,829
三 重	—	349,125
大 阪	—	1,149,900
兵 庫	—	1,290,311
島 根	—	396,511
香 川	—	224,694

主要國別輸出額

國 名	數量	價 額
支 那	—	143千圓
關 東 州	—	293
露領アジア	—	45
比律賓諸島	—	17
伯 刺 西 爾	—	7
布 哇	—	22

◎外國競争者

アメリカ農工會社 (米 國)
カナダ・ウエラント・ボール會社 (加奈陀)

◎輸出の主要原因

歐米諸國の農工具と東洋諸邦の農工具とは稍々その趣を異にし、支那及關東州方面に於て使用されるものは大部分國産農工具と酷似す。故に歐米國品よりも本邦品の需要多く、加ふるに國産品は歐米品に比較して價格概ね廉價なるが爲めに歡迎される従つて本品は支那、關東州其他東洋方面が主たる輸出地である。

◎外國品と國産品の優劣

特に精巧を必要とするものは歐米品に及ばないが、簡單なる種類のものに於ては何等の遜色なく、價格は國産品が概ね低廉である。

◎輸出増進の主要處置

工場設備を擴大し、優秀なる製作機械を用ひて、品種の増加及び品質の向上を圖る事が急務である。

二二一、珧瑯鐵器

珧瑯鐵器は鐵又は鋼鐵製器物の表面に珧瑯質を被せたるものにして、普通鑄物珧瑯鐵器と薄物珧瑯鐵器の二種に區別さる。鑄物珧瑯鐵器は材料器物に鑄物を用ひたるものを謂ひ薄物珧瑯鐵器は鐵板又は鋼板を材料

出 額	價 額
3,244,615圓	
4,194,229	
4,537,756	
5,621,669	
6,908,056	
5,970,328	
5,933,026	
6,444,177	
6,707,272	
4,044,779	

出 額	價 額
823千圓	
651	
384	
1,617	
274	
1,302	
640	
308	

◎主要輸出者

- 日本エナメル株式會社 (大阪)
- 岩崎 商店 (大阪)
- カルマリー商店 (大阪)
- 鴻茂 祥 (神戸)
- 下里 商店 (神戸)

◎主要輸出者

湯淺七左衛門商店 (東京)
 浅香 商店 (大阪)
 岡谷合資會社 (名古屋)
 森岡 商店 (東京)

森岡 商店 (大阪)
 浅香 商店 (大阪)
 岡谷合資會社 (名古屋)
 鷺野 商店 (名古屋)

二二一、珐瑯鐵器

珐瑯鐵器は鐵又は鋼鐵製器物の表面に珐瑯質を被せたるものにして、普通鑄物珐瑯鐵器と薄物珐瑯鐵器の二種に區別さる。鑄物珐瑯鐵器は材料器物に鑄物を用ひたるものを謂ひ薄物珐瑯鐵器は鐵板又は鋼板を材料とせるものを謂ふ。本品は常に器物を清潔ならしめ、又金屬特有の錆を防止することを目的とせるものにして、庖厨器物の如く水火に接すること頻繁なるものに最も適す。主たるものは庖厨用具、割烹用具、食卓用具、浴槽、洗面器、便器等であるが此の他各般に用ひらる。

◎主要生産者

日本エナメル株式會社 (大阪)
 大阪珐瑯株式會社 (大阪)
 伊藤珐瑯株式會社 (大阪)
 協和珐瑯工場 (大阪)
 岡本珐瑯鐵器製造所 (大阪)
 合資會社榮屋商店 (大阪)
 株式會社河野製作所 (大阪)
 合資會社宮崎商店 (大阪)
 東亞エナメル株式會社 (神戸)
 堺エナメル合名會社 (堺)
 清洲 商店 (東京)

	國 産 額		輸 出 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—	6,690,978圓	66,627梱	3,244,615圓
11	—	7,141,031	90,140	4,194,229
12	—	7,249,572	106,776	4,537,756
13	—	8,657,645	144,919	5,621,669
14	—	9,920,415	179,422	6,908,056
昭和1	—	9,028,755	—	5,970,328
2	—	7,097,221	—	5,933,026
3	—	8,814,871	18,734,362斤	6,444,177
4	—	8,927,642	20,879,776	6,707,272
5	—	9,012,587	147,380擔	4,044,779

國 産 數量

大正10	—	5
11	—	9
12	—	3
13	—	5
14	—	3
昭和1	—	6
2	—	6
3	—	5
4	—	5
5	—	6

(農具、土工具、工匠具及)

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
東京	—	456,423圓
岐阜	—	84,825
愛知	—	80,568
三重	—	506,846
大阪	—	6,824,352
兵庫	—	689,291
徳島	—	30,600
福岡	—	131,922

主要國別輸出額

國 名	數量	價 額
支 那	23,636斤	823千圓
關 東 州	18,135	651
香 港	11,186	384
英領印度	50,300	1,617
海峽殖民地	6,576	274
蘭領印度	38,292	1,302
比律賓諸島	17,485	640
暹 羅	9,436	308

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
北海道	—	15
東京	—	1,11
愛知	—	16
三重	—	34
大阪	—	1,14
兵庫	—	1,29
根川	—	39
香川	—	22

◎主要輸出者

日本エナメル株式會社 (大阪)
 岩崎 商店 (大阪)
 カルマリー商店 (大阪)
 鴻 茂 祥 (大阪)
 下里 商店 (神戸)
 大同貿易株式會社 (大阪)
 保々近藤合名會社 (大阪)
 株式會社兼松商店 (大阪)

◎外國競争者

コツカム・エナメル會社(瑞典)
 ワツパーマン・エナメル會社(獨逸)

此の外英國產品及奧國產品。

◎外國品と國産品の優劣

品質は略同等であるが、價格は國産品が概して安價である。

◎輸出の主要原因

支那方面への輸出品は品質不良であるが價格頗る低廉なる爲である。

◎輸出増進の主要處置

同業組合の輸出品検査を一層嚴重にし、優良品の安價供給を圖る事。

◎外國品と國産品の優劣

特に精巧を必要とするものは歐米品に及ばないが、簡單なる種類のものに於ては何等の遜色なく、價格は國産品が概ね低廉である。

◎輸出増進の主要處置

工場の設備を擴大し、優秀なる製作機械を用ひて、品種の増加及び品質の向上を圖る事が急務である。

二二二二、釘

類

釘には鐵製、銅製、眞鍮製、青銅製等の各種があるが、最も需要多きものは鐵釘である。鐵釘には機械製切釘、線釘、手製釘、鑄造釘の四種類あり。機械製切釘は普通斷面方形の長さ一吋以上四吋以下にして建築用及木工用に供せられ、線釘は斷面圓形にして大小長短各種あり、手製釘は手工にして鍍銀製作せるものにして形狀種々あり、鑄造釘は園藝用及靴用の平頭釘である。尙ほ釘を形狀及び用途に依つて分類すればスパイク、タックス、スプリグ、ブラツド、馬蹄釘等の各種がある。

◎主要生産者

安田製釘所 (八幡)
和氣製釘所 (大阪)
尼ヶ崎製釘所 (尼ヶ崎)
尙ほ此の外殆んど全国的に生産者があるが、大部分小規模にして特掲すべきものが尠い。

◎主要輸出者
三井物産株式會社 (東京)
安田製釘所 (八幡)
和氣製釘所 (大阪)

年次	國産		輸出	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—	3,776,890圓	—	613,635圓
11	—	4,644,137	—	575,142
12	—	5,274,591	—	544,504
13	—	6,452,549	—	919,370
14	—	6,191,640	—	753,355
昭和1	—	8,021,484	—	536,099
2	—	7,868,453	—	789,028
3	—	9,154,517	3,825,671斤	567,041
4	—	8,964,253	4,688,143	694,692
5	—	8,765,412	80,302擔	797,975

主要府縣別生産額

縣名	數量	價額
東京	—	611,193圓
富山	—	85,652
愛知	—	148,093
大阪	—	1,396,940
兵庫	—	2,164,320
奈良	—	103,335
廣島	—	218,690
福岡	—	4,351,000

主要國別輸出額

國名	數量	價額
支那	11,200斤	163千圓
關東州	22,798	334
香港	177	4
英領印度	428	9
海峽殖民地	274	6
露領アヅア	3,092	42

◎外國競争者

本品の主要輸出地は支那方面にして、獨逸産品、米國産品及びベルギー産品は何れも國産品に對する有力競争者である。

◎輸出の主要原因

國産釘は外國製釘に比して遜色なく、主要仕向地たる支那方面に對しては、我國が最も近巨離に在りて運賃その他の關係上有利なる立場に在るが爲めである。

◎外國品と國産品の優劣

米國製釘は品質の優良なる點に於て世界的に信用を博し、獨逸、ベルギー等の製品も亦頗る優良である。國産品は是等諸國品に比して品質上殆んど遜色は認められないが、その生産組織概ね小規模なるが爲め、製品の不揃ひを免れず、又價格に於ては廉價なる外國品に及ばない。

◎輸出増進の主要處置

生産設備の改善その他適策を樹立して價格低下に努むるべし。

◎外國競争者

レールは歐洲大戰後相當に輸出せられたが、爾來輸出額漸減して近來極く少額の輸出を見るに過ぎざる状態となつた。従つて輸出先に於ける

レール

レールは軟鋼又は鋼を以て製し、長さは普通三十呎乃至六十呎にして兩端に挾提板を取着ける數個の釘孔を有す。その大小は一碼に對する重量を以て定むるものにして、輕小なるものは八寸以内、重大なるものは

出 額	價 額
349,617圓	
168,472	
51,857	
264,148	
969,863	
856,219	
245,268	
46,845	
125,698	
60,259	

出 額	價 額
21千圓	
6	
9	

和氣製釘所 (大阪)
 尼ヶ崎製釘所 (尼ヶ崎)
 尚ほ此の外殆んど全国的に生産者があるが、大部分小規模にして特掲すべきものが尠い。

◎主要輸出者

- 三井物産株式會社 (東京)
- 安田製釘所 (八幡)
- 和氣製釘所 (大阪)

レール

レールは軟鋼又は鋼を以て製し、長さは普通三十呎乃至六十呎にして兩端に挾提板を取着ける數個の釘孔を有す。その大小は一碼に對する重量を以て定むるものにして、輕小なるものは八封度内外、重大なるものは百封度以上に達す。形狀に依つて頭大軌條、平底軌條、段軌條、溝軌條の四種に分類さる。頭大軌條は工字型にして汽車鐵道に用ひられ、平底軌條は汽車及電車、段軌條及溝軌條は専ら市街電車に使用さる。此の外急勾配に使用される齒軌條、及び轉轍用の尖端軌條、交叉軌條等特殊なるものがある。

◎主要生産者

- 八幡製鐵所 (八幡)
- 日本レール株式會社 (東京)
- 日本鋼管株式會社 (〃)
- 東海鋼業株式會社 (〃)
- ◎主要輸出者
- 日本レール株式會社 (東京)
- 三井物産株式會社 (〃)
- 日本鋼管株式會社 (〃)
- 東海鋼業株式會社 (〃)

	國 産 額		輸 出 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—	—	18,535擔	349,617圓
11	—	—	18,749	168,472
15	68,500貫	85,600圓	5,786	51,857
13	—	—	38,253	264,148
14	—	—	154,791	969,863
昭和1	551,078	710,355	121,324	856,219
2	135,542	505,085	29,168	245,268
3	126,750	561,669	6,294	46,845
4	135,294	584,294	18,223	125,698
5	157,326	603,283	9,654	60,259

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
東 京	35,256貫	104,669圓
大 阪	126,750	457,000

主要國別輸出額

國 名	數量	價 額
支 那	3,254擔	21千圓
關 東 州	958	6
香 港	1,358	9

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
東 京	—	61
富 山	—	8
愛 知	—	14
大 阪	—	1,39
兵 庫	—	2,16
奈 良	—	10
廣 島	—	21
福 岡	—	4,35

ギ1等の製品も亦頗る優良である。國産品は是等諸國品に比して品質上殆んど遜色は認められないが、その生産組織概ね小規模なるが爲め、製品の不揃ひを免れず、又價格に於ては廉價なる外國品に及ばない。

◎輸出増進の主要處置

生産設備の改善その他適策を樹立して價格低下に努むるべし。

◎外國競争者

レールは歐洲大戰後相當に輸出せられたが、爾來輸出額漸減して近來極く少額の輸出を見るに過ぎざる状態となつた。従つて輸出先に於ける競争も激甚でないが、國産品に對する競争者としては米國産品及び獨逸産品等が有力にして、國産品は到底之に對抗し難い。

◎輸出の主要原因

歐洲大戰直後に於ける輸出は専ら交戦諸國の輸出不振に因るものであつたが、以來歐米品が漸次出廻るに及んで國産品の需要は次第に減退し現今に於ては從來の取引關係上、僅少の輸出を見るに過ぎない。

◎外國品と國産品の優劣

特殊のものは外國品に及ばないが普通のレールに於ては殆んど遜色を認めない。

◎輸出増進の主要處置

生産不足の現状よりして、先づ輸入防遏が急務である。

二二四、刃

物

刃物類の中主要なるものはポケットナイフ、テールナイフ、剃刀、刀剣、庖丁類にして、ポケットナイフは良質の鋼を以て刀身を製し、鞘には骨角、エボナイト、セルロイド、金屬、木等を用ふ。テールナイフには餐刀、菓子及果實用刀、牛酪及乾酪用刀、魚肉用刀等の各種ありて刀身は普通鋼を以て製し、柄は木、角、骨、セルロイド、エボナイト等を以て製す。剃刀には折疊式の所謂西洋剃刀と日本剃刀、及び安全剃刀の三種あり、何れも純良なる鋼を以て刃を製し、西洋剃刀には角骨及セルロイド等の柄を附す。此の外海軍用の刀剣その他各種の刃物あり、用途に依り千差萬別である。

◎主要生産者

- 菊秀 本店 (東京)
- 伊藤刃物店 (〃)
- 兩岡刃物店 (〃)
- 株式會社十一屋商店 (〃)
- 柴田ナイフ工場 (〃)
- 東京特殊鋼器製作所 (〃)
- 池田剃刀製作所 (〃)
- 小坂 利雄 (大阪)

年次	國 産 額		輸 出 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—	3,005,342圓	152,222打	228,067圓
11	—	5,576,781	182,051	216,725
12	—	1,055,502	151,244	178,805
13	—	2,868,449	114,845	144,555
14	—	1,927,494	85,342	136,579
昭和1	—	2,252,813	58,116	93,544
2	—	2,030,866	37,900	63,440
3	—	1,985,961	121,049	415,144
4	—	2,019,749	136,976	410,310
5	—	2,125,002	116,944	299,962

(昭和一年及二年はナイフのみの輸出額)

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
東 京	—	580,594圓
新 潟	—	146,915
岐 阜	—	102,628
大 阪	—	379,732
兵 庫	—	199,560
香 川	—	182,294

主要國別輸出額

國 名	數量	價 額
支 那	60打	262千圓
關 東 州	24	63
香 港	6	14
英領印度	7	13
蘭領印度	10	17
露領アジア	4	10
比律賓諸島	3	7
布 哇	1	6

◎主要輸出者

- 堺刃物商會 (堺)
- 後藤善兵衛 (岐阜)
- 井上 新吉 (新潟)

◎外國競争者

- 湯淺七左衛門商店 (東京)
- 株式會社十一屋商店 (〃)
- ヘンケル會社 (獨逸)
- リチャード・ハーター會社 (〃)
- シングルトン會社 (英國)
- ユニバーサル會社 (米國)
- ベンゴール會社 (〃)
- ジレット (〃)
- エバレージ (〃)
- ゼ ム (〃)
- バレ 1 (英國)

◎外國品と國産品の優劣

品質は概して外國品が優秀であるが、價格は國産品が廉價である。

◎輸出増進の主要處置

本品の生産者は殆んど小規模なるを以て、先づ規模を擴張して生産増加及品質の向上を圖るべし。

二二五、縫

針

縫針には手縫針、縫衣機用針、刺繍用針、帆縫針等の各種がある。その種類に依つて形状、寸法等に多少の相違はあるが、何れも鋼を以て製し、糸孔を有す。手縫針は一番より十番まで細別され、各種縫針中需

出 額	價 額
426,179圓	
469,523	
614,739	
910,159	
1,153,197	
765,848	
689,468	
553,647	
517,741	
489,165	

出 額	價 額
363千圓	
33	
38	
84	
11	
8	

長期貸附等の方法を以て之に對抗しつゝある。

◎輸出の主要原因

獨逸は本品の世界的生産國にして歐洲大戰前に於ては殆んど世界各市

- ◎主要生産者
- 菊秀 本店 (東京)
 - 伊藤刃物店 (〃)
 - 兩岡刃物店 (〃)
 - 株式會社十一屋商店 (〃)
 - 柴田ナイフ工場 (〃)
 - 東京特殊鋼器製作所 (〃)
 - 池田剃刀製作所 (〃)
 - 小坂 利雄 (大阪)

二二五、縫

針

縫針には手縫針、縫衣機用針、刺繡用針、帆縫針等の各種がある。その種類に依つて形状、寸法等に多少の相違はあるが、何れも鋼を以て製し、糸孔を有す。手縫針は一番より十番までに細別され、各種縫針中需要最も多し。

◎主要生産者

- 田村工業株式會社 (廣島)
- 中田太一工場 (〃)
- 山本要吉工場 (〃)
- 播七製針工場 (〃)
- 高橋誠太郎工場 (〃)
- 原田謙吉工場 (〃)

◎主要輸出者

- 田村工業株式會社 (廣島)
- 三井物産株式會社 (東京)

◎外國競争者

本品の主要仕向地は支那、南洋及印度方面にして、該地方には獨逸アヘン産品を主とし獨逸産品の輸出盛んなるため、勢ひ國産品との間に競争激烈を極め、國産品は價格の低廉を以て販路獲得に努め、獨逸品は

	國 産 額		輸 出 額	
	數 量	價 額	數 量	價 額
大正10	—	683,770圓	763,433千個	426,179圓
11	—	701,065	929,194	469,523
12	—	867,483	1,385,612	614,739
13	—	1,015,471	1,980,809	910,159
14	—	1,417,846	2,500,051	1,153,197
昭和 1	—	1,015,797	1,806,758	765,848
2	—	800,742	1,746,689	689,468
3	—	763,423	1,515,811	553,647
4	—	865,297	1,602,837	517,741
5	—	923,186	1,825,577	489,165

	國 産 數 量
大正10	—
11	—
12	—
13	—
14	—
昭和 1	—
2	—
3	—
4	—
5	—

主要府縣別生産額

縣 名	數 量	價 額
東 京	—	15,000圓
富 山	—	39,860
京 都	—	14,500
廣 島	—	690,563

主要國別輸出額

國 名	數 量	價 額
支 那	989個	363千圓
關 東 州	108	33
香 港	116	38
英領印度	215	84
佛領印度支那	36	11
暹 羅	19	8

主要府縣別生産額

縣 名	數 量
東 京	—
新 潟	—
岐 阜	—
大 阪	—
兵 庫	—
香 川	—

◎外國品と國産品の優劣

品質は概して外國品が優秀であるが、價格は國産品が廉價である。

◎輸出増進の主要處置

本品の生産者は殆んど小規模なるを以て、先づ規模を擴張して生産増加及品質の向上を圖るべし。

長期貸附等の方法を以て之に對抗しつゝある。

◎輸出の主要原因

獨逸は本品の世界的生産國にして歐洲大戰前に於ては殆んど世界各市場を獨占の状態であつた。大戰勃發後その輸出杜絶を好期とし國産品は盛んに活躍して先づ支那に於ける路を全部我が掌中に收め、更に南洋及販印度方面にまで發展したが大戰終熄後獨逸は再び擡頭して舊販路の奪回に努めたるため、國産品は次第に壓迫され、輸出額漸減し以て今日に及んでゐる。

◎外國品と國産品の優劣

國産品は原料鐵線に乏しきため、品質に於て獨逸産品に及ばるもの多く、一流大生産者以外の製品は獨逸品よりも劣等である。

◎輸出増進の主要處置

粗製品の輸出を防ぐため同業者組合を設けて検査を厳にし、又無用の競争を避けるため共同輸出をなす事等は最も緊要である。

二三六、鍋及釜(鐵製)

鑄鐵製鍋及釜は魚菜を煮或は飯を炊き湯を沸す器として本邦人及東洋人の日常缺く可らざるものである。本器の製造は古昔より行はれ、埼玉縣川口町、岩手縣南部地方、山形市高岡市、廣島縣三原及尾道市、大分縣、奈良縣、滋賀縣、栃木縣等は主要産地として知られてゐる。本品は大部分國內に於て使用され、一部は在外邦人及一般東洋人の需要に依り輸出されるが、外人向きのものは内地品と形狀を異にす。

◎主要輸出者

- 山口孝太郎 (東京)
服部鑄造會社 (岡崎)
辻鑄造所 (大阪)
鍋屋鑄造所 (岐阜)
影山鑄造所 (廣島)
廣島鑄造株式會社 (福岡)
磯野鑄造所 (埼玉)
島崎平五郎 (埼玉)
矢崎 建二 (埼玉)
田中 長藏 (埼玉)
小川五郎右衛門 (川越)
太田五郎平 (栃木)
大川房次郎 (埼玉)

Table with columns: 國産額 (Quantity, Price), 輸出額 (Quantity, Price). Rows for years 大正10-14 and 昭和1-5. Total price for昭和 years is 112,567.

(鐵瓶ヲ含ム)

主要府縣別生産額

Table with columns: 縣名, 數量, 價額. Lists production values for various prefectures like 埼玉, 東京, 富山, etc.

主要國別輸出額

Table with columns: 國名, 數量, 價額. Lists export values to various countries like 支那, 關東州, 香港, etc.

- 鹽原彌治衛門 (茨城)
水田 和吉 (岩手)
雨宮鑄造所 (埼玉)
長谷川長吉 (山形)
富田惣兵衛 (高岡)

◎主要輸出者

本品の主要輸出地は支那、フィリッピン、海峽殖民地等にして、支那方面の需要は相當多額に上るを以て大阪、神戸等の輸出業者の手を経て輸出されるが、海峽殖民地及フィリッピン方面の需要は僅少にして、生産者が註文を受けて發送する外、特に輸出者と見做すべき者がない。

◎外國競争者

支那産品があるのみ。

◎輸出の主要原因

大部分は在外邦人の需要に依り、一部分は一般東洋人の需要に依る。

◎輸出増進の主要處置

各需要地の習俗を調査し、その用途を考察して適當なるものを生産すれば輸出増進は比較的容易である。

二三七、ブリキ製品

鉄力製品は薄き鐵板に錫、亜鉛、ニッケル、眞鍮等を鍍金したるものを材料として製したるものを總稱し最も需要多きは石油罐その他の罐類である。従來鍍付法に依つて製せられたが、近時自動製罐機に依つて大

Table with columns: 出額 (Price). Lists values from 869,758 to 3,347,105.

出額

Table with columns: 價額. Lists values from 307千圓 to 15.

- 吉田甚藏商店 (東京)
永井梅太郎商店 (埼玉)
山本長一郎商店 (埼玉)
武屋 商店 (埼玉)
加藤利三郎商店 (埼玉)

- 辻鑄造所 (大阪)
- 鍋屋鑄造所 (岐阜)
- 影山鑄造所 (〃)
- 廣島鑄造株式會社 (廣島)
- 磯野鑄造所 (福岡)
- 島崎平五郎 (埼玉)
- 矢崎 建二 (〃)
- 田中 長藏 (〃)
- 小川五郎右衛門 (川越)
- 太田五郎平 (栃木)
- 大川房次郎 (〃)

二三七、ブリキ製品

錫力製品は薄き鐵板に錫、亜鉛、ニッケル、眞鍮等を鍍金したるものを材料として製したるものを總稱し最も需要多きは石油罐その他の罐類である。従來錫付法に依つて製せられたが、近時自動製罐機に依つて大量生産するに至り、生産額逐年増加し品質も亦向上しつゝある。

◎主要生産者

- (石油罐)
- 日本石油株式會社 (東京)
- 小倉石油株式會社 (〃)
- 旭石油株式會社 (徳山)
- ライジングサン石油會社(神戸)
- スタンダード石油會社(神奈川)
- 藤崎齋藤製罐所 (新潟)
- 新津製油所 (〃)
- 吉澤製油所 (〃)
- 奥田製油所 (〃)
- 石崎製油所 (〃)
- 浅田製油所 (〃)
- 山岸製油所 (〃)
- 早山製油所 (〃)
- (石油罐以外のブリキ製品)
- 吉川百太夫商店 (東京)
- 高橋忠藏商店 (〃)

	國 産 額		輸 出 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—	—圓	—	869,758圓
11	—	—	—	1,202,890
12	—	3,537,382	—	850,327
13	—	5,092,450	—	1,206,174
14	—	4,706,741	—	1,221,763
昭和 1	—	6,214,666	—	1,012,933
2	—	5,769,351	—	942,741
3	—	6,728,190	—	1,359,026
4	—	6,859,420	—	2,164,054
5	—	7,056,971	—	3,347,105

	國 産 額	
	數量	價 額
大正10	—	7,700
11	—	10,800
12	—	10,100
13	—	8,400
14	—	8,900
昭和 1	—	8,000
2	—	11,000
3	—	12,000
4	—	12,500
5	—	12,100

(鐵瓶ヲ含ム)

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
北海道	—	97,845圓
東京	—	2,095,755
愛知	—	269,933
大阪	—	3,265,326
奈良	—	83,559
廣島	—	621,274
香川	—	33,800
福岡	—	38,949

主要國別輸出額

國 名	數量	價 額
支 那	—	307千圓
關 東 州	—	108
香 港	—	178
英領印度	—	297
蘭領印度	—	84
露領アジア	—	299
暹 羅	—	16
北 米	—	15

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
埼玉	—	3,216
東京	—	273
富山	—	128
長野	—	116
愛知	—	711
三重	—	493
大阪	—	3,709
福岡	—	1,163

◎輸出の主要原因

大部分は在外邦人の需要に依り、一部分は一般東洋人の需要に依る。

◎輸出増進の主要處置

各需要地の習俗を調査し、その使途を考察して適當なるものを生産すれば輸出増進は比較的容易である。

◎主要輸出者

- 吉田甚藏商店 (東京)
- 永井梅太郎商店 (〃)
- 山本長一郎商店 (〃)
- 武屋 商店 (〃)
- 加藤利三郎商店 (〃)
- 吉川百太夫商店 (東京)
- 森田 商店 (〃)
- 田島 商店 (大阪)
- 神 商 店 (〃)
- 池田國松商店 (〃)
- 河船 商店 (〃)

◎外國競争者

特掲すべきものなし。

◎輸出の主要原因

支那方面に於ては需要頗る多く、國産品は安價なるが故である。

◎外國品と國産品の優劣

優劣を比較すべき競争品なし。

◎輸出増進の主要處置

支那商人の信用程度を調査する機關を設け、且つ宣傳する事。

二三八、鑢

(鋼製)

鑢は金屬面の仕上げに用ふる鋼製工具にして、その形状には長方形を始めとし方形、三角形、圓形、半圓形等種々あり。表面に隆起せる齒の切り方に依つて双列齒、單列齒の二種に區別され、又目の精粗に依り粗目、中目、小細目、二番目、細目、油目等に區別さる。

◎主要生産者

- 福島鑢製造所 (東京)
- 細井鑢株式會社 (〃)
- 山田鑢製造所 (〃)
- 大光 鑢店 (〃)
- 相澤 鑢店 (〃)
- 東京鋼鐵製造所 (〃)
- 東洋鑢伸銅株式會社 (大阪)
- 極東鑢製造所 (吳)
- 松本卯吉鑢店 (福岡)
- ◎主要輸出者
- 東洋鑢伸銅株式會社 (大阪)
- 林 商店 (〃)
- 酒井寛三商店 (〃)
- 岩田兄弟商會 (〃)
- 細井鑢株式會社 (東京)
- 福島鑢製造所 (〃)

年次	國 産 額		輸 出 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—本	900,000圓	—不詳	—圓
11	—	1,100,000	—	—
12	—	—	—	—
13	—	—	—	—
14	6,500,000	2,000,000	—	—
昭和1	—	2,500,000	—	602,749
2	—	2,500,000	—	383,744
3	—	2,700,000	—	606,445
4	—	2,500,000	—	453,383
5	—	2,500,000	—	459,269

(推定産額) (その他を含む)

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
東 京	—	140,000圓
大 阪	—	250,000
廣 島	—	70,000
福 岡	—	120,000
愛 知	—	180,000

(推定産額)

主要國別輸出額

國 名	數量	價 額
支 那	—	170千圓
關 東 州	—	92
英領印度	—	35
蘭領印度	—	76
南洋諸島	—	110

◎外國競争者

スペアージャックソン會社(英) ニコルソン・ヤスリ會社 (米) 此の外獨逸品も亦有力なる競争者である。

◎輸出の主要原因

國産品は品質優良にして、價格も本品の輸出先に於ては運賃その他の關係上、歐米品に比して對抗し得る程度であり、且つ註文に便利なる爲めである。

◎外國品と國産品の優劣

外國品は原料鋼の製造に特殊の技能を有し、且つ安價に原料を手に入れたるため勢ひ生産費が低廉である故に本邦に隣接せる支那市場等にも優に國産品と競争し得るが、品質に於ては國産品は外國品に比して何等の遜色がない。

◎國産振興の主要處置

特殊鑢の如きは既に完全に輸入を防禦したるを以て、今後は各種鑢の生産増加に努力すべきである。

二三九、洋傘骨

本品は眞鍮及び眞鍮にニツケルを鍍金せるもの、或は鐵を以て製し、鐵製のものには錆止めのため染料を以て塗覆す生産地としては東京及大阪の二地方が有名であるが、輸出向のものは大坂地方に於て製造さ

出 額	價 額
513,578圓	
521,372	
783,742	
912,324	
721,154	
634,361	
606,610	
719,378	
665,276	
437,575	

出額	價 額
打 168千圓	
45	
115	
364	
24	

◎輸出の主要原因

リツピン方面に於ては獨逸品が殆んど唯一の競争者である。又印度方面に於ては英國産品、及び獨逸産品等が競争者である。

二二九、洋 傘 骨

本品は真鍮及び真鍮にニッケルを鍍金せるもの、或は鐵を以て製し、鐵製のものは錆止めのため染料を以て塗覆す生産地としては東京及大阪の二地方が有名であるが、輸出向のものとは大部分大阪地方に於て製造される。

泉 熊次郎 (東京)
 酒向庄次郎 (〃)
 高野貞次郎 (〃)
 青木辨次郎 (〃)
 榎本 春吉 (〃)
 中村保太郎 (〃)
 吉河 艶藏 (大阪)
 輸出品の殆んど大部分は古河艶藏外關西洋傘骨製造組合員の製造に係るものである。

◎主要輸出者

關西洋傘骨製造組合員 (大阪)
 泉 熊次郎 (東京)
 酒向庄次郎 (〃)

◎外國競争者

本品の輸出地は支那フィリッピン及び印度地方にして、支那及びフィ

國 産 額		輸 出 額	
數量	價 額	數量	價 額
大正10 平均 2,500,000打	1,250,000圓	280,009打	513,578圓
11	—	293,347	521,372
12	493,380	430,662	783,742
13	1,254,677	561,019	912,324
14	1,421,464	470,614	721,154
昭和 1	748,101	447,375	634,361
2	1,295,380	515,817	606,610
3	1,884,414	536,788	719,378
4	1,965,298	544,881	665,276
5	1,765,199	382,373	437,575

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
東 京	—	1,774,283圓
愛 知	—	45,152
大 阪	—	63,579
廣 島	—	1,400

主要國別輸出額

國 名	數量	價 額
支 那	119打	168千圓
關 東 州	19	45
香 港	94	115
英領印度	274	364
比律賓諸島	31	24

東洋鑄伸銅株式會社 (大阪)
 極東鑄製造所 (吳)
 松本卯吉鑄店 (福岡)
 ◎主要輸出者
 東洋鑄伸銅株式會社 (大阪)
 林 商 店 (〃)
 酒井寛三商店 (〃)
 岩田兄弟商會 (〃)
 細井鑄株式會社 (東京)
 福島鑄製造所 (〃)

國 産 額

數量	價 額
大正10 —本	90
11 —	1,100
12 —	—
13 —	—
14 6,500,000	2,000
昭和 1 —	2,500
2 —	2,500
3 —	2,700
4 —	2,500
5 —	2,500

(推定産額)

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
東 京	—	140,000
大 阪	—	250,000
廣 島	—	70,000
福 岡	—	120,000
愛 知	—	180,000

(推定産額)

◎國産振興の主要處置

特殊鑄の如きは既に完全に輸入を防禦したるを以て、今後は各種鑄の生産増加に努力すべきである。

能を有し、且つ安價に原料を手に入れたるため勢ひ生産費が低廉である故に本邦に隣接せる支那市場等に於ても優に國産品と競争し得るが、品質に於ては國産品は外國品に比して何等の遜色がない。

◎輸出の主要原因

リッピン方面に於ては獨逸品が殆んど唯一の競争者である。又印度方面に於ては英國産品、及び獨逸産品等が競争者である。

洋傘骨には丸骨と溝骨の二種ありて、溝骨は高級品、丸骨は下級品である。而して溝骨はリボンスチールを原料とし、内地に於ては殆んど生産されざるため高價であるが、輸出向き洋傘骨は殆んど全部丸骨の低級品にして、その原料は國産品なるが故に製品の價格も頗る低廉である。従つて支那、印度、フィリッピン等の下級民に特に歓迎需要さる。

◎外國品と國産品の優劣

高級品たる溝骨は原料輸入等の關係上外國品に比し品質粗悪にして而も高價であるが、丸骨は價格低廉にして品質も比較的優良である。

◎輸出増進の主要處置

大量生産に依つて益々生産費の低減に努めれば前途頗る有望である。

二三〇、銅製品

銅製品にはその種類多く枚舉に追
がないが、歐米その他各地へ輸出さ
れる主要なるものを挙げれば、各種
置物、鉢類、飾壺、灰皿、名刺皿、
佛器、飲食器等にして、佛器は主と
して支那その他東洋各方面へ輸出さ
れる。

◎主要生産者

- 佐山常二郎商店 (東京)
- 佐山長三郎商店 (高岡)
- 大寺幸八商店 ()
- 佐山米二郎商店 ()
- 金森藤平商店 ()
- 鹽崎利平商店 ()
- 盤若清助商店 ()
- 角羽 商會 (横濱)

◎主要輸出者

- 高岡 商店 (東京)
- 岩上 商會 (横濱)
- 加藤 商店 ()

◎外國競争者

支那方面に於ては、本邦品を模倣
せるもの少なからず、國産輸出品と
競争の地位に立つことがあるが、支

年次	國 産 額		輸 出 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—	467,527圓	—	231,763圓
11	—	798,434	—	180,658
12	—	758,669	—	186,644
13	—	1,244,814	—	144,268
14	—	852,493	—	113,435
昭和1	—	662,888	—	163,264
2	—	668,434	—	91,002
3	—	669,287	—	145,043
4	—	671,020	—	144,930
5	—	692,135	—	155,859

青銅製品を含む

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
秋 田	—	24,890圓
東 京	—	55,408
富 山	—	68,556
愛 知	—	17,236
京 都	—	78,945
大 阪	—	363,485
廣 島	—	27,753

主要國別輸出額

國 名	數量	價 額
支 那	—	22千圓
關 東 州	—	46
香 港	—	43
英領印度	—	6
海峽殖民地	—	5
露領アジア	—	11

那製模倣品は品質及技工に於て到底
國産品と競争し得ない。

◎輸出の主要原因

輸出品の大部分は東洋趣味愛好家
の需要に依るものであるが、印度、
南洋及支那方面に對しては日用品が
輸出され、腐蝕銅製の家具、抽斗の
把手、錠前の如きは相當の需要あり
て輸出有望である。

◎外國品と國産品の優劣

本品中主として觀賞用のもの例へ
ば燈籠、各種置物等の如きは、邦人
獨特の手工に屬して歐米人の模倣し
得ざるものにして、東洋趣味横溢し
雅趣翹すべきものがあつて到底外國
品の追隨を許さないが、一般日用品
に至つては外國品は大工場組織に依
つて大量生産されるため價格低廉加
ふるに製品統一し、國産品の企及し
得ざる所である。

◎輸出増進の主要處置

海外主要都市に於て品評會等を開
催して東洋趣味を喚起し、又輸出に
對し政府が補助を爲す事等が必要。

二三一、眞鍮製品

眞鍮製品には種類頗る多く、北米
を始めとし英、獨、佛蘭西等の各國
へ輸出されつゝあるが、その主たる
ものは置物、花生、灰皿、鉢類等に
して、何れも本邦獨特の製品として

出 額	價 額
1,152,024圓	
1,378,863	
1,050,796	
1,063,993	
1,210,431	
857,308	
921,830	
803,273	
908,369	
608,948	

額	價 額
179千圓	
267	
55	
76	
40	
55	
21	
33	

獨逸、支那等の製品が有力競争者に
して、獨逸製品は國産品に比して價
格に大差ないが、大工場組織に依つ
て大々的に生産されるため品質統一
の長所がある。又支那製品は工賃の
低廉との地の關係上賈各頗る安く、

角羽 商會 (横濱)

◎主要輸出者

高岡 商店 (東京)
 岩上 商會 (横濱)
 加藤 商店 (〃)

◎外國競争者

支那方面に於ては、本邦品を模倣せるもの少なからず、國産輸出品と競争の地位に立つことがあるが、支

二三一、眞鍮製品

眞鍮製品には種類頗る多く、北米を始めとし英、獨、佛蘭西等の各國へ輸出されつゝあるが、その主たるものは置物、花生、灰皿、鉢類等にして、何れも本邦獨特の製品として歓迎されてゐる。本品には鑄造製のものとして造りのものである。

◎主要生産者

佐藤市三郎商店 (東京)
 高岡 商店 (〃)
 今泉五郎右衛門商店 (高岡)
 佐山長三郎商店 (〃)
 佐山米二郎商店 (〃)
 永松 商店 (京都)
 高橋 商店 (〃)

◎主要輸出者

高岡 商店 (東京)
 永松 商店 (京都)
 高橋 商店 (〃)
 佐山長三郎商店 (高岡)
 佐山米二郎商店 (〃)

◎外國競争者

美術的製品は本邦獨特のものにして競争者が無い。日用品に對しては

	國 産 額		輸 出 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—	1,819,776圓	—	1,152,024圓
11	—	189,742	—	1,378,863
12	—	387,011	—	1,050,796
13	—	473,110	—	1,063,993
14	—	569,544	—	1,210,431
昭和1	—	433,580	—	857,308
2	—	647,908	—	921,830
3	—	1,264,668	—	803,273
4	—	1,358,062	—	908,369
5	—	1,597,243	—	608,948

	國 産 額	
	數量	價 額
大正10	—	467
11	—	798
12	—	758
13	—	1,244
14	—	852
昭和1	—	662
2	—	668
3	—	669
4	—	671
5	—	692

青銅製品を含む

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
東 京	—	29,790
神奈川	—	18,190
愛 知	—	19,504
京 都	—	703,614
大 阪	—	474,909
兵 庫	—	18,000

主要國別輸出額

國 名	數量	價 額
支 那	—	179千圓
關 東 州	—	267
香 港	—	55
英領印度	—	76
海峽殖民地	—	40
蘭領印度	—	55
北 米	—	21
濠 太 刺 利	—	33

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
秋 田	—	24,8
東 京	—	55,4
富 山	—	68,5
愛 知	—	17,2
京 都	—	78,9
大 阪	—	363,4
廣 島	—	27,7

雅趣掬すべきものがあつて到底外國品の追隨を許さないが、一般日用品に至つては外國品は大工場組織に依つて大量生産されるため價格低廉加ふるに製品統一し、國産品の企及し得ざる所である。

◎輸出増進の主要處置

海外主要都市に於て品評會等を開催して東洋趣味を喚起し、又輸出に對し政府が補助を爲す事等が必要。

獨逸、支那等の製品が有力競争者にして、獨逸製品は國産品に比して價格に大差ないが、大工場組織に依つて大々的に生産されるため品質統一の長所がある。又支那製品は工賃の低廉その他の關係上價格頗る安く、國産品の半價内外を以て供給されるため、國産品は常に壓迫を免れざる状態である。

◎輸出の主要原因

國産品は美術的價値に富むことが輸出の主因である。

◎外國品と國産品の優劣

賞觀用の美術的製品は本邦獨特のものにして、製作技術の巧妙なる點に於て、又雅趣に富む點に於て殆んど世界獨歩の觀がある。但し鍍金方法の幼稚なるは國産品の唯一の缺點とされてゐる。

◎輸出増進の主要處置

生産工程に於て優秀なる機械を可及的に多く採用し、工場組織に依つて大量生産し、以て品質の統一及向上と價格の低下を圖る事。

二三三、青銅製品

青銅製品には鑄造に因つて製したるものと鋸起に依つて製したるものとの二種がある。製品の種類は頗る多いが海外に輸出される主要なるものは諸種の置物、花生、吊花生、飾壺、植木鉢、ランプ臺、灰皿、名刺皿等である。

◎主要生産者

- 佐山長三郎商店 (高岡)
- 佐山米二郎商店 (シ)
- 大寺幸八商店 (シ)
- 佐山常二郎商店 (東京)

◎主要輸出者

本品は生産者直接に輸出する外、神戸、横濱、大阪等に於ける雜貨輸出商に於て本品の輸出を取扱はざるものは殆んどない程である。従つて専門輸出者として特掲すべきものがない。

◎外國競争者

殆んど本邦獨特の製品にして、世界的に輸出され、競争者と見做すべきものはないが、強いて挙げれば支那産品が競争者である。

年次	國産額		輸出額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—	467,527圓	—	239,937圓
11	—	798,434	—	353,219
12	—	758,669	—	550,802
13	—	1,244,814	—	544,759
14	—	852,493	—	566,472
昭和1	—	662,888	—	596,106
2	—	668,434	—	642,015
3	—	669,287	—	513,197
4	—	671,020	—	984,740
5	—	692,135	—	316,421

(銅製品を含む)

主要府縣別生産額

縣名	數量	價額
秋田	—	24,890圓
東京	—	55,408
富山	—	68,556
愛知	—	17,236
京都	—	78,945
大阪	—	368,485
廣島	—	27,753

主要國別輸出額

國名	數量	價額
關東州	—	25千圓
英吉利	—	40
佛蘭西	—	72
獨逸	—	16
和蘭	—	23
北米	—	235
亞爾然丁	—	17

◎輸出の主要原因

銅製品及び眞鍮製品等と共に、本品も亦本邦獨特の製品にして、雅趣に富み、外國に於ては類似品なきためである。

◎外國品と國産品の優劣

競争の位置に立つ支那製品を始め各國の類似品又は模造品に比し、國産品は色付、象嵌、鋸起その他の技工に於て他國製品の追隨を許さず、獨特の長所を有す。

◎輸出増進の主要處置

本品は賞翫の目的を以て輸出されるものが大部分である。故に絶えず海外各地に於ける嗜好を調査研究して、之に應ぜしむるやう考案し、新製品の宣傳をなすことが最も肝要である。

◎當業者の希望

海外の本品取扱者に本品の眞價を紹介する様、領事又は商務官等が盡力し、又外國類似品の價格等を生産者に報告されん事を希望す。

二三三、アンチモニー製品

アンチモニー製品は、アンチモニーに鉛又は錫を混じて製したる後、金、銀、ニッケル等を鍍金し、或は青銅色に着色したるものにして、花生、置物等より身邊裝飾品その他各

出額	價額
407,484圓	
370,417	
229,548	
315,730	
599,042	
1,003,031	
1,062,774	
1,420,821	
1,680,382	
1,412,121	

額	價額
20千圓	
17	
7	
7	
30	
9	
11	
935	
291	

◎外國競争者

本品は我が國の特殊産物にして海外各地に於て競争者と見做すべきものはないが、獨逸に於ては本邦品と類似せるものがあり、時に競争の位

二三三、アンチモニー製品

アンチモニー製品は、アンチモニーに鉛又は錫を混じて製したる後、金、銀、ニッケル等を鍍金し、或は青銅色に着色したるものにして、花生、置物等より身邊裝飾品その他各種類に亘り、貴金屬製品の代用品として内地に於ける需要多く、又海外諸國に輸出さる。

◎主要生産者

- 伊藤政治郎 (東京)
- 佐藤 俊夫 (〃)
- 鈴木吉五郎 (〃)
- 笠原 小八 (〃)
- 石塚 商店 (〃)
- 中島龜次郎 (〃)
- 佐久間直正 (〃)
- 小林善兵衛 (〃)
- 橋本徳三郎 (〃)
- 岡田 與吉 (〃)
- 篠原 金作 (〃)
- 笠原 小八 (東京)
- 石塚 商店 (〃)
- 伊藤政治郎 (〃)
- 佐藤 俊夫 (〃)

◎主要輸出者

年次	國 産 額		輸 出 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—	380,875圓	—	407,484圓
11	—	1,168,901	—	370,417
12	—	1,332,317	—	229,548
13	—	1,681,898	—	315,730
14	—	1,995,882	—	599,042
昭和 1	—	2,156,299	—	1,003,031
2	—	2,256,234	—	1,062,774
3	—	2,056,143	—	1,420,821
4	—	2,155,967	—	1,680,382
5	—	2,255,968	—	1,412,121

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
東 京	—	768,294圓
愛 知	—	78,265
京 都	—	413,226
福 岡	—	96,254
愛 媛	—	27,859
山 口	—	68,554
兵 庫	—	75,216

主要國別輸出額

國 名	數量	價 額
支 那	—	20千圓
關 東 州	—	17
英領印度	—	7
蘭領印度	—	7
英 吉 利	—	30
白 耳 義	—	9
瑞 典	—	11
北 米	—	935
加 奈 陀	—	291

殆んど本邦獨特の製品にして、世界的に輸出され、競争者と見做すべきものは殆んどない程である。従つて専門輸出者として特掲すべきものがない。

◎外國競争者

年次	國 産 數量	價 額
大正10	—	4
11	—	7
12	—	7
13	—	1,2
14	—	8
昭和 1	—	6
2	—	6
3	—	6
4	—	6
5	—	6

(銅製)

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
秋 田	—	24
東 京	—	55
富 山	—	68
愛 知	—	17
京 都	—	78
大 阪	—	368
廣 島	—	27

◎營業者の希望

海外の本品取扱者に本品の眞價を紹介する様、領事又は商務官等が盡力し、又外國類似品の價格等を生産者に報告されん事を希望す。

◎外國競争者

本品は我が國の特殊産物にして海外各地に於て競争者と見做すべきものはないが、獨逸に於ては本邦品と類似せるものがあり、時に競争の位置に立つ場合がある。

◎輸出の主要原因

アンチモニー製品は頗る美麗にして一見貴金屬製品の如く、而も價格は貴金屬製品よりも遙かに低廉である。特に國産品は意匠嶄新奇抜にして、價格亦獨逸製類似品等よりも廉價なるを以て、各地に歓迎さる。

◎外國品と國産品の優劣

獨逸のアンチモニー類似品とは自らその性質を異にし、その他には優劣を比較すべきものがない。

◎輸出増進の主要處置

本品は海外各地に於て歓迎されつゝあるに拘らず輸出額は少い。故に生産の増加を圖ると共に、各需要地に於ける嗜好を調査し新製品の製造に努むることが特に肝要である。

二三四、アルミニウム製品

アルミニウム製品はアルミニウムの薄板を打抜き又は壓出等の方法に依り製したるものにして、軽くして錆びず、熱を引き易きこと等の特長を利用して鍋、釜、湯沸し、鉢皿及茶碗等の如き食卓及び庖厨用器具を始めとし石鹼入れ、辨當箱、水呑、携帯用水壘等の各種日用雑具に製せられ、用途頗る廣く、内外の需要は逐年増加しつつある。尙ほ此の外に軍需用品も少くないが、輸出品は殆んど日用雜貨品である。

◎主要生産者

- 日本アルミニウム製造所 (大阪)
- 大阪アルミニウム製造所 (シ)
- 池田アルミニウム器具製造所 (シ)
- 東洋アルミニウム株式会社 (シ)
- 高木清工場 (シ)
- 橋本太吉工場 (東京)
- 那須アルミニウム器具製造所 (シ)
- 高木 清 (大阪)
- 大阪アルミニウム製作所 (シ)
- 池田アルミニウム器具製造所 (シ)
- 橋本 太吉 (東京)

◎主要輸出者

- 高木 清 (大阪)
- 大阪アルミニウム製作所 (シ)
- 池田アルミニウム器具製造所 (シ)
- 橋本 太吉 (東京)

國 産 額		輸 出 額	
數量	價 額	數量	價 額
大正10	4,775,390圓	—	301,516圓
11	4,711,240	—	568,578
12	6,717,501	—	544,161
13	8,881,636	—	678,337
14	10,439,337	—	1,339,097
昭和 1	7,793,402	—	1,063,165
2	8,534,051	—	1,088,802
3	7,362,833	—	845,078
4	7,596,294	—	858,555
5	8,166,953	—	706,620

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
東 京	—	1,674,327圓
愛 知	—	85,850
京 都	—	11,000
大 阪	—	5,506,666
兵 庫	—	78,780

主要國別輸出額

國 名	數量	價 額
支 那	—	340千圓
關 東 州	—	281
香 港	—	105
蘭 領 印 度	—	65
比 律 賓 諸 島	—	22
暹 羅	—	5
布 哇	—	7

那須アルミニウム器具製造所(シ)

◎外國競争者

本品の主要輸出先は上海方面にして、同地方に於ては獨逸、及び米國品が主たる競争者である。

◎外國品と國産品の優劣

品質に於ては外國品に比して遜色はないが、仕上げ技術に於て外國製に及ばず、外國製品に見るが如き美麗なる光澤がない。

◎輸出の主要原因

生産費に於ては外國製品と國産品の間の大なる相違はないが、支那方面に對して我國は近距離に在るため運賃その他の關係上價格安く、從つて盛んに輸出さる。

◎輸出増進の主要處置

製造技術の進歩に努め、需要地の嗜好に適する新製品の製出に常に留意し、輸出組合法を利用すること等が急務とされてゐるが、政府が輸出品の生産者に對し戻税、及び獎勵金を交付する事も必要である。

二三五、掛時計及置時計

掛時計にはその構造上輪振時計と

下げ振時計の二種あり。外匣は金屬

製又は木製にして圓形、長方形、六

角形、八角形或は長振時計等の各種

價 額
950,736圓
1,421,853
1,295,865
1,564,233
1,724,606
1,765,682
2,076,505
1,741,457
2,054,547
462,865

價 額
798千圓
420
222
160
61
16
24

◎主要輸出者

- 服部時計店 (東京)
- 東京時計製造株式会社 (シ)
- 合名會社萬谷商店 (名古屋)

- 池田アルミニウム器具製造所(シ)
 東洋アルミニウム株式會社(シ)
 高木清工場 (シ)
 橋本太吉工場 (東京)
 那須アルミニウム器具製造所(シ)
 高木 清 (大阪)
 大阪アルミニウム製作所 (シ)
 池田アルミニウム器具製造所(シ)
 橋本 太吉 (東京)

◎主要輸出者

二三五、掛時計及置時計

掛時計にはその構造上輪振時計と下げ振時計の二種あり。外匣は金屬製又は木製にして圓形、長方形、六角形、八角形或は長振時計等の各種あり、外匣には裝飾を施せるものが多い。置時計は機械の構造掛時計と略同様にして、外匣は胡桃、榉、マホガニー、黒檀等の木製、鐵、ニツケル、眞鍮、青銅等の金屬製、或は硝子製、大理石製等の各種あり又その用途に依り枕時計、眼覺し時計、携帯用時計等に區別さる。

◎主要生産者

- 精工舎 (東京)
 東京時計製造株式會社 (シ)
 英工舎 (シ)
 東洋時計製造所 (シ)
 村松時計製造所 (シ)
 愛知時計株式會社 (名古屋)
 尾張時計株式會社 (シ)
 合資會社高野時計製造所(シ)
 名古屋商事株式會社 (シ)
 明治時計製造合資會社 (シ)
 タイン時計製造株式會社(大阪)
 此の外名古屋、東京及大阪地方に製造者多數あり。

	國 産 額		輸 出 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	213,113個	2,040,286圓	200,909個	950,736圓
11	1,227,049	4,681,778	292,582	1,421,853
12	665,105	3,541,805	261,133	1,295,865
13	725,595	4,143,294	273,875	1,564,233
14	1,128,358	4,688,193	327,946	1,724,606
昭和1	1,421,776	6,298,874	364,823	1,765,682
2	1,670,006	5,456,862	440,377	2,076,505
3	1,561,015	5,219,525	415,691	1,741,457
4	1,588,296	5,124,685	531,842	2,054,547
5	1,663,245	5,255,173	444,724	462,865

	國 産 數量	價 額
大正10	—	4,77
11	—	4,71
12	—	6,71
13	—	8,88
14	—	10,43
昭和1	—	7,79
2	—	8,53
3	—	7,36
4	—	7,59
5	—	8,16

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
東 京	914,352個	2,146,196圓
愛 知	645,793	3,062,656
大 阪	870	10,673

主要國別輸出額

國 名	數量	價 額
支 那	196個	798千圓
關 東 州	96	420
香 港	60	222
英領印度	32	160
海峽殖民地	15	61
佛領印度支那	3	16
暹 羅	5	24

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
東 京	—	1,674,
愛 知	—	85,
京 都	—	11,
大 阪	—	5,506,
兵 庫	—	78,

◎輸出増進の主要處置

製造技術の進歩に努め、需要地の嗜好に適する新製品の製出に常に留意し、輸出組合法を利用すること等が急務とされてゐるが、政府が輸出品の生産者に對し戻税、及び獎勵金を交付する事も必要である。

◎主要輸出者

- 服部時計店 (東京)
 東京時計製造株式會社 (シ)
 合名會社萬谷商店 (名古屋)

◎外國競争者

- ユングハウス會社 (獨逸)
 キンツレ會社 (シ)
 アンソニヤ會社 (米國)
 ヴォータベリー會社 (シ)
 ニューヘブン會社 (シ)

◎輸出の主要原因

國産品は價格低廉にして、且つ支那及南洋方面より近距離に在りて注文に便利なること等が主因である。

◎外國品と國産品の優劣

品質に於て外國品に劣らず、而も價格は低廉である。

◎輸出増進の主要處置

大量生産に依つて生産原價を低下する事、需要地の嗜好及流行等を調査する事、輸出組合法を利用する事、製造工場に獎勵法を適用する事等。

二三六、醫 療 器

醫療器は外科、産科、齒科、眼科、耳鼻咽喉科、婦人科、獸醫科、畸形治療用、その他内科用器械器具類、生理學試驗用器、診察用、胃腸治療用等各種の醫療に要する機械器具類の總稱である。

◎主要生産者

野田 徳松 (東京)
 いわしや松本機械店 (シ)
 酒井 信正 (シ)
 株式会社堂坂醫療機械店(シ)
 本品の主産地は東京にして、東京醫科器械同業組合に屬する生産者二百數十名に達し、國産醫療器の大半は東京に於て生産さる。

◎主要輸出者

岩本藤吉商店 (東京)
 武田長兵衛商店 (大阪)
 美濃文製作所 (名古屋)
 株式會社兼松商店 (神戸)

◎外國競争者

本品の輸出先は支那、關東州その他本邦より近距離に在り輸出に便利なる地方に限られてゐる。是れ即ち

年次	國 産 額		輸 出 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—	871,019圓	—	530,515圓
11	—	1,086,198	—	387,225
12	—	827,680	—	268,358
13	—	1,397,253	—	303,654
14	—	1,090,725	—	422,002
昭和1	—	1,405,402	—	485,818
2	—	1,827,135	—	468,116
3	—	1,826,025	—	566,681
4	—	1,835,189	—	702,050
5	—	1,980,764	—	454,172

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
北海道	—	7,735
東 京	—	874,147
愛 知	—	15,195
京 都	—	521,400
大 阪	—	398,248
福 岡	—	8,750

主要國別輸出額

國 名	數量	價 額
支 那	—	186千圓
關 東 州	—	142
香 港	—	53
英領印度	—	26
海峽殖民地	—	29
北 米	—	41
布 哇	—	15

運賃その他に於て歐米品との競争に比較的有利なるが爲めであるが、而も獨逸産品米國産品等は是等の各地方にまで輸出され、國産品は常にならざるの壓迫に苦しみつゝある。

◎輸出の主要原因

國産品は近時頗る進歩せるも、尙ほ歐米品に比肩し得ざる點少なからず、從つて國産品が輸出される場合は、距離近くして短時日に輸出し得る地方へ、比較的廉價なるものを供給するに過ぎざる状態である。

◎外國品と國産品の優劣

國産品中には鋼材料の品質不良のため、外觀は美なるも耐久力に乏しく、往々使用中に破損するが如きもの少なからず。又本邦品の多くは歐米品の模造にして形態上の模造を以て足れりとせる爲め、使用に堪えざるもの尠なからずして、未だ歐米品に遠く及ばない。

◎輸出増進の主要處置

資本の合同を計り大量生産をなすこと、製作者と需要者との連絡を強固ならしむる事等が急務である。

二三七、樂 器

樂器にはその種類頗る多く枚舉に追ないが、輸出樂器の主たるものは蓄音器、ピアノ、オルガン、手風琴及絃樂器に屬するマンドリン、ギター、ハープ、支那の琴瑟、月琴提琴、胡

額	價 額
459,133圓	
333,844	
249,722	
250,697	
510,279	
594,070	
480,344	
553,537	
651,180	
411,314	

價 額
81千圓
266
41
18
27
59
16

◎外國競争者

ベシユタイン (獨逸)
 ユリウスフェンリツヒ (シ)
 ホーアコフ (シ)

◎主要輸出者

岩本藤吉商店 (東京)
 武田長兵衛商店 (大阪)
 美濃文製作所 (名古屋)
 株式會社兼松商店 (神戸)

◎外國競争者

本品の輸出先は支那、關東州その他本邦より近距離に在り輸出に便利なる地方に限られてゐる。是れ即ち

一三七、樂器

樂器にはその種類頗る多く枚擧に追ないが、輸出樂器の主たるものは蓄音器、ピアノ、オルガン、手風琴及絃樂器に屬するマンドリン、ギター、ハープ、支那の琴瑟、月琴提琴、胡琴、或はバイオリン、バイオラ等である。又部分品としては蓄音器の樂譜板、蘇音器、原動機、喇叭管、發音用針、及びオルガンリード、ピアノピン等がその主要なるものである。

◎主要生産者

日本樂器製造株式會社 (濱松)
 鈴木政吉 (名古屋)
 小林鶯聲社 (東京)
 眞野トンボハーモニカ製造所 (〃)
 株式會社日本蓄音器商會 (〃)
 合同蓄音器株式會社 (〃)
 日東蓄音器株式會社 (大阪)
 合資會社内外蓄音器商會 (〃)

◎主要輸出者

日本樂器製造株式會社 (濱松)
 三本樂器店 (大阪)
 外國ピアノ輸入商會 (東京)
 三菱商事株式會社 (〃)

	國 産 額		輸 出 額	
	數 量	價 額	數 量	價 額
大正10	—	2,922,604圓	—	459,133圓
11	—	2,174,459	—	333,844
12	—	2,539,440	—	249,722
13	—	4,453,756	—	250,697
14	—	3,638,169	—	510,279
昭和1	—	3,087,683	—	594,070
2	—	4,507,583	—	480,344
3	—	5,187,348	—	553,537
4	—	5,342,003	—	651,180
5	—	5,459,788	—	411,314

	國 産 額	
	數 量	價 額
大正10	—	8
11	—	1,0
12	—	8
13	—	1,3
14	—	1,0
昭和1	—	1,4
2	—	1,8
3	—	1,8
4	—	1,8
5	—	1,9

主要府縣別生産額

縣 名	數 量	價 額
東 京	—	814,394圓
神奈川	—	913,350
靜 岡	—	2,961,000
愛 知	—	411,026
兵 庫	—	20,000
廣 島	—	58,753

主要國別輸出額

國 名	數 量	價 額
支 那	—	81千圓
關 東 州	—	266
香 港	—	41
海峽殖民地	—	18
蘭領印度	—	27
北 米	—	59
布 哇	—	16

主要府縣別生産額

縣 名	數 量	價 額
北海道	—	7,
東 京	—	874,
愛 知	—	15,
京 都	—	521,
大 阪	—	398,
福 岡	—	8,

◎外國競争者

ベシユタイン (獨逸)
 ユリウスフェンリツヒ (〃)
 ホーアコフ (〃)
 グロトリアン・ステエンウエー (〃)
 ステインウエー (米國)
 カレース (伊太利)
 コラード・エンド・コラード (英國)
 ムアー・アンド・ムアー (〃)

◎輸出の主要原因

輸出樂器中主たるものはオルガン、ハーモニカ、バイオリン、マンドリン、及びピアノ低級品等にして國産品は品質に於て外國製に及ばざるも價格低廉なるが故に歓迎さる。

◎外國品と國産品の優劣

高級品は外國産品に及ばないが、普通品は遜色がなく。

◎輸出増進の主要處置

本品の輸出は中間取扱業者が餘りに利益を貪るため振興を阻害する傾向がある。故に此の弊を矯め安價供給に努めれば前途有望である。

く、往々使用中に破損するが如きもの少なからず。又本邦品の多くは歐米品の模造にして形態上の模造を以て足れりとせる爲め、使用に堪えざるもの尠なからずして、未だ歐米品に遠く及ばない。

◎輸出増進の主要處置

資本の合同を計り大量生産をなすこと、製作者と需要者との連絡を強固ならしむる事等が急務である。

二三八、人力車

内地に於ける人力車の需要は逐年漸減しつつあるが、海外輸出は現在も尚ほ相當盛んである。輸向人力車には一人乗及び二人乗の兩種ありて、兩種共箱は黒無地又は蒔繪を施せるものである。輪にはゴム輪が漸次増加しつつあるが、木輪のものも尚ほ少くない。本品の主要生産地は東京及大阪にして、輸出主要仕向地は英領印度、支那その他東洋各地及びアフリカ等である。

◎主要生産者

- 伊東竹三郎商店 (東京)
- 要屋製車店 (〃)
- 山木正次郎商店 (〃)
- 川本乙二郎商店 (横濱)
- 山本諦二商店 (大阪)
- 金谷桑吉商店 (〃)
- ◎主要輸出者
- 伊東竹三郎商店 (東京)
- 山木正二郎商店 (〃)
- 要屋製車店 (〃)
- 金谷桑吉商店 (大阪)
- 山本諦二商店 (〃)
- 徳和號 (横濱)

年次	國産額		輸出額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	— 臺	347,775圓	—	685,741圓
11	—	177,250	—	539,734
12	2,200	204,830	—	443,651
13	2,316	258,770	—	717,848
14	1,536	153,510	—	571,958
昭和1	1,277	85,900	—	684,123
2	363	46,775	—	461,671
3	950	92,110	—	497,996
4	1,040	79,875	—	373,173
5	936	85,530	—	312,078

主要府縣別生産額

縣名	數量	價額
東京	500臺	40,000圓
富山	10	2,500
大阪	420	49,310

主要國別輸出額

國名	數量	價額
支那	—	78千圓
關東州	—	40
香港	—	7
英領印度	—	298
海峽殖民地	—	73

◎外國競争者

人力車は本邦獨特の純國産品であるが、アフリカ方面に於てはフランス製高級品が國産品と競争の地位にあり。支那に於ては支那人經營の製造工場多く、車輪のみを本邦より輸入する者が少くない。而して是に對し獨逸製車輪は頗る安價に供給して國産品の販路を漸次蠶食しつつあるその他の地方には競争者と認むべきものがない。

◎輸出の主要原因

本邦の特産品にして、主要仕向地に於ては中流以上の階級者が外出用として歓迎する爲めである。

◎外國品と國産品の優劣

體裁優美、耐久力に富み而も廉價なるは國産品の特徵にして、外國品に優る。

◎輸出増進の主要處置

製車原料たるリノリウム、防水布漆等の製造を盛んならしめ、且つ販路の維持に全力を注ぐことを要す。

二三九、自轉車

自轉車には原動力を有する自動自轉車と、之を有せざる普通自轉車とあり。又二輪車と三輪車、及び男子用、婦人用、兒童用等の區別があるが、需要の大部分を占めるものは男

出額	價額
395,669圓	
440,935	
460,078	
745,250	
2,295,753	
1,959,869	
1,879,213	
2,557,460	
3,429,684	
2,901,488	

額	價額
924千圓	
371	
29	
206	
148	
829	
17	

◎主要輸出者

- 合資會社宮田製作所 (東京)
- 株式會社石丸商會 (〃)
- 岡本自轉車自動車製作所(名古屋)
- 中村商會 (大阪)

◎主要輸出者

山本諦二商店	(大阪)
金谷桑吉商店	(大阪)
伊東竹三郎商店	(東京)
山木正二郎商店	(大阪)
要屋製車店	(大阪)
金谷桑吉商店	(大阪)
山本諦二商店	(大阪)
徳和號	(横濱)

二三九、自 轉 車

自轉車には原動力を有する自動自轉車と、之を有せざる普通自轉車とあり。又二輪車と三輪車、及び男子用、婦人用、兒童用等の區別があるが、需要の大部分を占めるものは男子用二輪自轉車である。自轉車部分品としてはタイヤ、リム、スポーク、ニツプルマツドガード、ハンドル、バー、サドル、ペダル、コースターブレーキ、チェーン、ハツプ、ギアケース、バルブ等が主たるものである。

◎主要生産者

合資會社宮田製作所	(東京)
大日本自轉車株式會社	(大阪)
帝國輸業株式會社	(大阪)
ゼブラ自轉車製作所	(大阪)
岡本自轉車自動車製作所(名古屋)	(名古屋)
日英自轉車製造株式會社(神戸)	(神戸)
帝國鐵工株式會社	(大阪)
大阪自轉車製造株式會社(大阪)	(大阪)
宇佐見自轉車製作所(名古屋)	(名古屋)
名城自轉車製作所	(名古屋)
株式會社名古屋自轉車製作所	(名古屋)
モーター商會	(東京)
猿山自轉車店	(大阪)

	國 産 額		輸 出 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—	15,889,540圓	—	395,669圓
11	—	13,374,210	—	440,935
12	69,677臺	2,891,460	—	460,078
13	92,172	2,751,270	—	745,250
14	38,229	864,796	—	2,295,753
昭和1	41,382	1,112,621	—	1,959,869
2	89,629	3,093,083	—	1,879,213
3	125,588	3,323,999	—	2,557,460
4	148,549	3,597,426	—	3,429,684
5	185,600	4,078,752	—	2,901,488

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
埼玉	1,000臺	18,000圓
東京	54,148	717,445
石川	2,400	16,800
愛知	23,373	1,580,255
大阪	30,163	515,727
兵庫	14,244	469,287

主要國別輸出額

國 名	數量	價 額
支 那	—	924千圓
關 東 州	—	371
香 港	—	29
英領印度	—	206
海峽殖民地	—	148
蘭領印度	—	829
暹 羅	—	17

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
東京	500臺	40
富 山	10	2
大 阪	420	45

◎外國品と國産品の優劣

體裁優美、耐久力に富み而も廉價なるは國産品の特徵にして、外國品に優る。

◎輸出増進の主要處置

製車原料たるリノリウム、防水布漆等の製造を盛んならしめ、且つ販路の維持に全力を注ぐことを要す。

◎主要輸出者

合資會社宮田製作所	(東京)
株式會社石丸商會	(大阪)
岡本自轉車自動車製作所(名古屋)	(名古屋)
中村商會	(大阪)
株式會社横山商會	(大阪)

◎外國競争者

ジエービー・ブルック商會(英國)	(英國)
ゼコベントリーチエイン商會	(英國)
ビー・エス・エー・サイクル商會	(英國)
ラレーサイクル商會	(英國)
ピアレスボール商會	(英國)
ハイレッドビッドソン商會	(英國)
ヘンデー商會	(英國)

◎外國品と國産品の優劣

高級品は原料輸入のため外國品より高價であるが、低級品は廉價にして品質も外國品に劣らない。

◎國産振興の主要處置

本品は外國より輸入の必要を認めざるを以て、輸入に高率の税を課し國産品愛用を奨励すると共に、大いに海外輸出を保護すべし。

二四〇、ゴムタイヤ

自轉車、自動車、人力車その他の車輛の外周に嵌めるゴムタイヤには、内管と外覆の別あり、内管は通常チユーブと稱せられ柔軟なる純ゴム製の薄き管にして吹き入れられたる空気を保ち、外覆は内管の破裂を防ぐ丈夫なる被覆にして布帛を混入せるゴム、又は厚ゴムを塗りたる布帛を以て製す。内側の車輛に取付ける部分には、普通金屬線を挿入し、又外側の地面に觸れる部分は耐久堅牢のため顆粒狀網形又は波線を附するもの多し。

◎主要生産者

- 高砂ゴム工業株式會社 (東京)
- 東京護謨株式會社 (〃)
- 東京護謨工業株式會社 (〃)
- 共同ゴム株式會社 (〃)
- 大日本自轉車株式會社 (〃)
- 横濱ゴム製造株式會社 (〃)
- 赤菱タイヤ商會 (〃)
- 角一ゴム合資會社 (大阪)
- 陸田ゴム株式會社 (〃)
- 東神ゴム工業株式會社 (神戸)
- ダンロップ極東護謨會社 (〃)
- 太平ゴム株式會社 (〃)

國 産 額		輸 出 額	
年 次	價 額	年 次	價 額
大正10	14,240,804圓	22,049擔	4,478,426圓
11	6,761,435	31,945	5,999,150
12	17,299,963	29,152	3,899,949
13	14,979,109	25,926	3,238,936
14	13,274,972	68,270	9,469,840
昭和 1	16,715,994	34,610	4,736,427
2	19,874,465	40,915	4,942,001
3	21,475,293	51,303	5,724,861
4	23,504,673	56,377	6,300,669
5	25,978,440	49,649	5,273,677

主要府縣別生産額

縣 名	數 量	價 額
東 京	—	3,782,717
神奈川	—	290,300
愛 知	—	109,289
大 阪	—	1,549,048
兵 庫	—	15,383,251
岡 山	—	180,000
廣 島	—	92,348

主要國別輸出額

國 名	數 量	價 額
支 那	21,528擔	2,340千圓
關 東 州	5,841	472
香 港	1,944	229
英 領 印 度	731	80
海峽殖民地	7,888	934
蘭 領 印 度	12,661	1,581
佛領印度支那	385	44
比律賓諸島	302	37

◎主要輸出者
前記生産者は直接輸出し、又一般貿易業者も之を取扱ふ者多し。

◎外國競争者
獨逸産品、英國産品等は有力競争者である。又自動車用タイヤの大部分を生産及輸出するダンロップ極東護謨株式會社は外人經營なるが故に純國産品と稱し難い。

◎輸出の主要原因
主として價格低廉なるためにして自轉車及人力車用タイヤは品質も亦良好である。

◎外國品と國産品の優劣
自動車はダンロップ製品の外、外國品に及ばず。自轉車及人力車用は外國品に比し遜色がない。

◎國産振興の主要處置
技術の向上、能率増進に因る生産費の低下等が最も急務である。

二四一、汽 船

汽船は船體を構成する材料の種類に依つて、木船、鋼鐵船、鐵骨木被船等に區別され、又推進機の構造に依つて外輪汽船、單暗汽船、双暗汽船、タービン汽船、ディーゼル汽船等に區別され、更に使用の目的に依

出 額	價 額
3,138,151圓	
1,046,728	
369,355	
52,688	
1,920,270	
113,586	
1,131,305	
2,465,695	
5,229,071	
2,879,218	

出 額	價 額
32千圓	
2,220	
212	

日進海運商會 (神戸)
株式會社佐藤勇太郎商店(〃)
新造船の輸出は貿易業者の手を経ず生産者直接に輸出するのが通例であるが、古船は日進海運商會、佐藤勇太郎商店等の手を経て各方面へ輸